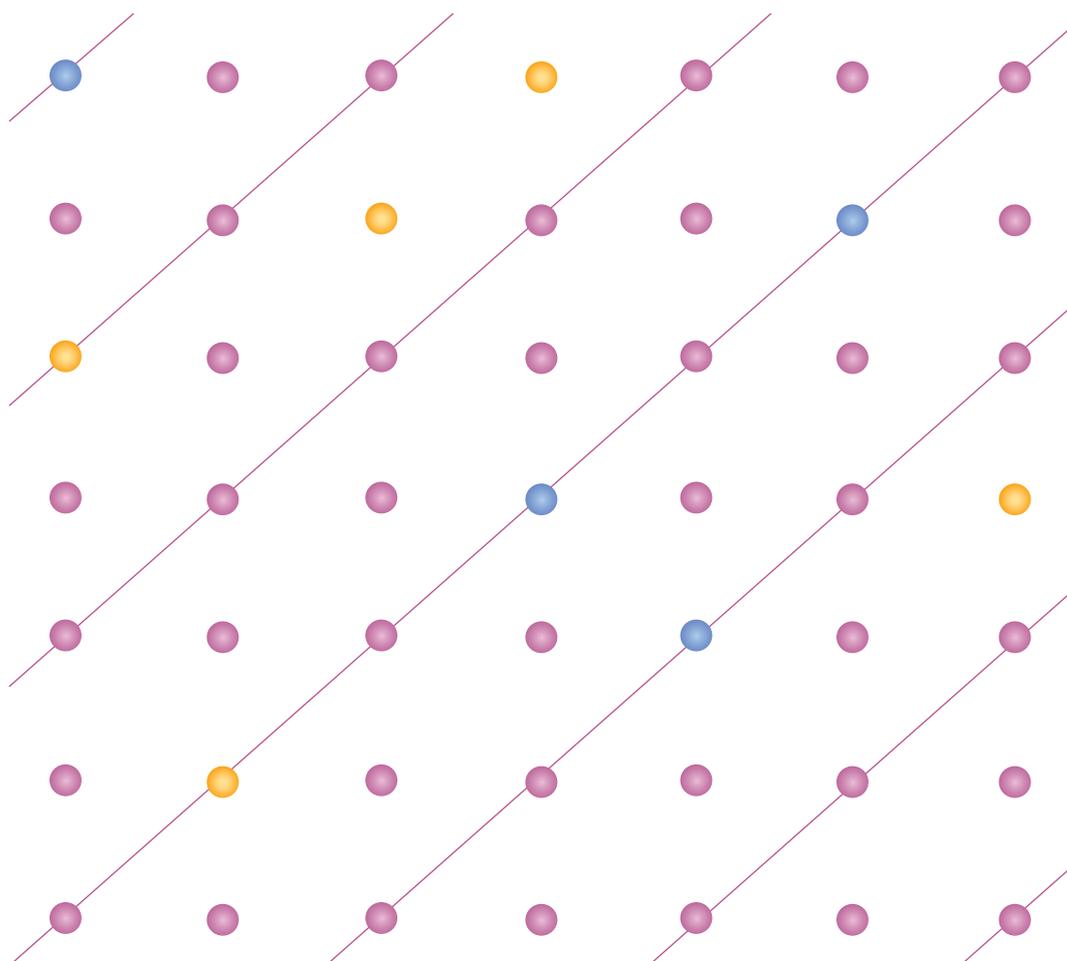


シラバス

2023年度

看護学科

2023年度入学生



平成医療短期大学

Heisei College of Health Sciences

建学の精神

「誠意と親切と広い心」を理念に、医療の基本的精神である科学と人間愛に基づき、医療の知識と技術向上に努め、地域医療福祉等に貢献できる人材を養成する。

教育目的

1 全学

本学は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に基づき、「誠意と親切と広い心」を理念に、豊かな一般教養の上に実践的な学問及び技術を深く教授し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成することを目的とする。

2 看護学科

看護学科は、深い人間愛をもち、高い倫理観の上に、高度化・多様化する保健・医療・福祉に相応し得る知識・技術及び実践力をもつ看護師の養成を目的とする。

3 リハビリテーション学科

リハビリテーション学科理学療法専攻、作業療法専攻及び視機能療法専攻は、深い人間愛をもち、高い倫理観の上に、高度化・多様化する保健・医療・福祉に相応し得る知識・技術及び実践力をもつ理学療法士、作業療法士及び視能訓練士の養成を目的とする。

教育目標

1 看護学科

- ①科学的根拠に裏づけされた看護領域の専門知識、技術及び実践力を有する看護師
- ②高度化、多様化する医療環境の変化等に主体的に対応できる実践力を有する看護師
- ③生命の尊重と人間に対する全人的な深い理解に基づく対象者への看護の実践及び多種職と連携・協働しながら看護を提供できる良好な人間関係を築く能力と態度を有する看護師
- ④生涯にわたり、主体的かつ能動的に学習する意志をもつ看護師

2 リハビリテーション学科理学療法専攻

- ①医学の基礎知識、理学療法領域の専門知識、技術及び実践力を有する理学療法士
- ②対象者や保健・医療・福祉領域に関わる従事者との信頼関係を醸成できるコミュニケーション能力と態度を有する理学療法士
- ③生涯にわたり、主体的かつ能動的に学習する意志を有する理学療法士

3 リハビリテーション学科作業療法専攻

- ①医学の基礎知識、作業療法領域の専門知識、技術及び実践力を有する作業療法士
- ②対象者や保健・医療・福祉領域に関わる従事者との信頼関係を醸成できるコミュニケーション能力と態度を有する作業療法士
- ③生涯にわたり、主体的かつ能動的に学習する意志を有する作業療法士

4 リハビリテーション学科視機能療法専攻

- ①科学的根拠に裏づけされた視機能療法領域の専門知識・技術及び実践力を有する視能訓練士
- ②対象者や医療・保健・福祉領域に関わる従事者との信頼関係を築くために必要なコミュニケーション能力と態度を有する視能訓練士
- ③生涯にわたり、主体的かつ能動的に学習する意志を有する視能訓練士

学習成果

1 全学

教養・倫理・責任感及びコミュニケーション能力の修得

2 看護学科

- (1) 看護職に求められる教養・倫理観・責任感・コミュニケーション能力及び主体的に研鑽する態度の修得
- (2) 看護の専門基礎知識の修得
- (3) 看護の専門知識・技術の修得
- (4) 看護の対象者を全人的にとらえ、科学的判断・倫理的判断を基に対象者に応じた看護を行う実践力の修得
- (5) 看護学に関わる課題を解決するための科学的思考力と問題解決能力を身につけ、向上心と探求心を持ち、知識・技術の修得や学術研究活動を推進することができる能力の修得

3 リハビリテーション学科理学療法専攻

- (1) 豊かな教養と人間愛に基づき、対象者と信頼関係を構築できるコミュニケーション能力の修得
- (2) 医学の基礎的知識、理学療法領域の専門知識・技術及び実践力の修得
- (3) 地域の保健・医療システムにおいて理学療法士の役割をはたす能力の修得
- (4) 対象者にとって最良かつ安全な理学療法を実践できる能力の修得
- (5) 課題解決のための論理的な思考力と柔軟な発想力及び向上心と探求心を持ち、知識・技術の修得や学術研究活動を推進することができる能力の修得

4 リハビリテーション学科作業療法専攻

- (1) 豊かな教養と人間愛に基づき、対象者と信頼関係を構築できるコミュニケーション能力の修得
- (2) 医学の基礎的知識、作業療法領域の専門知識・技術及び実践力の修得
- (3) 地域の保健・医療システムにおいて作業療法士の役割をはたす能力の修得
- (4) 対象者にとって最良かつ安全な作業療法を実践できる能力の修得
- (5) 課題解決のための論理的な思考力と柔軟な発想力及び向上心と探求心を持ち、知識・技術の修得や学術研究活動を推進することができる能力の修得

5 リハビリテーション学科視機能療法専攻

- (1) 視能訓練士として全人的医療を実践し、社会に貢献するために必要な人間性と教養、責任感と倫理観、対象者と信頼関係を構築できるコミュニケーション能力の修得
- (2) 視機能療法学の土台となる人間科学領域の知識と技術の修得
- (3) 視機能療法学の各分野における基礎的・理論的な知識と技術の修得
- (4) 視機能療法学の各分野における発展的な知識と技術、実践力の修得
- (5) チーム医療における視能訓練士の役割の理解と実践力の修得
- (6) 視機能療法に関わる課題解決のための論理的な思考力と柔軟な発想力及び向上心と探求心を持ち、知識・技術の修得や学術研究活動を推進することができる能力の修得

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1 全学方針

科学と人間愛を教育の根本として、一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を修得し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成することを教育目的として、次の能力を身につけるよう教育課程を編成する。この教育課程における所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。

- (1) 全学共通の教養科目の履修を通して、社会的責任感、良好な人間関係、コミュニケーション能力、倫理観など、医療人として求められる教養を身につける。
- (2) 学習を通して、専門職として求められる専門知識、技術及び実践力を修得し、地域医療福祉等に貢献できる力を身につける。
- (3) 学科・専攻課程の教育目的に基づく学習を通して、人間、保健医療福祉問題等を科学的、論理的に思考し、柔軟な発想による課題発見、解決のための知識、技術等を身につける。

2 看護学科

看護学科の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

- (1) 豊かな人間性と教養を身につけ、看護師としての責任感や倫理観など、医療人として求められる能力と態度を身につけている。
- (2) 看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を身につけ、対象者を全人的にとらえ、科学的判断・倫理的判断を基に、対象者に応じた看護を實踐できる。
- (3) 看護の対象者及び医療チーム間における円滑なコミュニケーション能力を身につけ、互いを尊重した人間関係を構築できる。
- (4) 生涯にわたり向上心と探究心をもち続け、看護専門職として主体的に研鑽できる。

3 リハビリテーション学科理学療法専攻

リハビリテーション学科理学療法専攻の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

- (1) 広い視野と豊かな教養を身につけ、理学療法士としての社会的責任感や倫理観を身につけている。
- (2) 身体の構造及び心身の機能を理解した上で、科学的根拠に基づいた理学療法を實踐するために必要な知識並びに技術を身につけている。
- (3) 対象者と円滑なコミュニケーションを図ることができ、相手の立場を尊重した人間関係を構築することができる。また、地域の保健・医療システム、特に地域包括ケアにおける理学療法士としての役割を理解し、多職種と連携・協働して諸問題に対処することができる。
- (4) 学術研究活動を通じて理学療法に関わる課題を解決するための科学的思考を身につけ、理学療法の質の向上のため、生涯にわたり主体的かつ能動的に知識・技術の修得や学術研究活動を推進することができる。

4 リハビリテーション学科作業療法専攻

リハビリテーション学科作業療法専攻の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

- (1) 広い視野と豊かな教養を身につけ、作業療法士としての社会的責任感や倫理観を身につけている。
- (2) 身体の構造及び心身の機能を理解した上で、科学的根拠に基づいた作業療法を實踐するために必要な知識並びに技術を身につけている。
- (3) 対象者と円滑なコミュニケーションを図ることができ、相手の立場を尊重した人間関係を構築することができる。また、地域の保健・医療システム、特に地域包括ケアにおける作業療法士としての役割を理解し、多職種と連携・協働して諸問題に対処することができる。

- (4) 学術研究活動を通じて作業療法に関わる課題を解決するための科学的思考を身につけ、作業療法の質の向上のため、生涯にわたり主体的かつ能動的に知識・技術の修得や学術研究活動を推進することができる。

5 リハビリテーション学科視機能療法専攻

リハビリテーション学科視機能療法専攻の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

- (1) 視能訓練士として求められる社会的責任感、良好な人間関係を築くコミュニケーション能力、倫理観などの教養を身につけている。
- (2) 身体の構造及び心身の機能を理解した上で、科学的根拠に基づいた視機能療法を実践するために必要な専門知識並びに技術を身につけている。
- (3) 対象者と円滑なコミュニケーションを図ることができ、相手の立場を尊重した人間関係を構築することができる。
- (4) 地域の保健・医療システムにおける視能訓練士としての役割を理解し、多職種と連携・協働して諸問題に対処することができる。
- (5) 視機能療法に関わる課題を解決するための科学的思考を身につけ、視機能療法の質の向上のため、生涯にわたり探求心をもち続け、学術研究活動を推進し、主体的・能動的に研鑽できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1 全学方針

人間愛と社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を修得し、医療技術者としての専門知識、実践力及び課題解決能力を身につける。

- (1) 社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を身につけるため、全学に総合教育科目を配置する。
- (2) 専門教育科目は、専門職の基礎知識である人体、疾病などの専門基礎を学び、それぞれの学科・専攻課程ごとに、次のとおり専門知識・技術及び実践力を修得する科目を配置する。

2 看護学科

- (1) 豊かな人間性と教養及びコミュニケーション能力を身につけ対象者を全人的に深く理解するため、人間と科学・人間と社会・コミュニケーション等の総合教育科目を配置する。
- (2) 看護の専門基礎知識を修得するため、人体の理解・疾病の成り立ちと回復の促進・社会の構造と環境の専門基礎科目を配置する。
- (3) 看護の領域ごとに、健康生活を支えるための看護の原理と基礎・健康生活を支えるためのライフサイクル別看護活動の専門科目を配置し、専門知識・技術実践力を段階的に高めるように配置する。
- (4) 看護の領域ごとに、看護職としての科学的判断・倫理的判断を基に、対象者に応じた看護を実践するための実習科目を段階的に配置する。
- (5) 看護学に関わる課題を解決するための科学的思考力と問題解決能力を身につけ、それを生涯に渡り高める態度とチーム医療・多職種連携における看護の役割を果たすために統合科目を配置する。

3 リハビリテーション学科理学療法専攻

- (1) 地域社会に貢献するために理学療法士として必要な教養と人間性、責任感や倫理観、コミュニケーション能力を身につけるため、人間と科学・コミュニケーション等の総合教育科目を配置する。

- (2) 身体の構造及び心身の機能を理解するための専門基礎科目を配置し、その上で運動や物理的手段を用いて疾病や障害の予防、そして疾病に伴う障害から生じる身体機能及び基本動作能力の回復・改善を促す理学療法専門知識と技術を身につけるため、理学療法専門科目を配置する。
- (3) 地域の保健・医療システム、特に地域包括ケアにおける理学療法士の役割、生活環境面に対する具体的支援方法について理解するとともに、障害の有無や年代にかかわらず、全ての人々が住み慣れた地域で生活できるように支援するための能力を身につけるため、専門基礎科目と理学療法専門科目を配置する。
- (4) 臨床実習指導者の監督、指導の下、専門基礎科目や専門科目で学んだ専門知識と技術を統合し、対象者にとって最良かつ安全な理学療法を実践できる能力を身につけるため、理学療法専門科目（臨床実習）を配置する。
- (5) 科学者としての目と心を育み、理学療法に関わる課題を解決するための科学的思考力と問題解決能力、それを生涯に渡り高める態度を身につけるため、専門基礎科目と理学療法専門科目を配置する。

4 リハビリテーション学科作業療法専攻

- (1) 地域社会に貢献するために作業療法士として必要な教養と人間性、責任感や倫理観、コミュニケーション能力を身につけるため、人間と科学・コミュニケーション等の総合教育科目を配置する。
- (2) 身体の構造及び心身の機能を理解するための専門基礎科目を配置し、その上でひとが営んでいる作業活動を用いて疾病や障害を予防すること、そして疾病に伴う障害から生じる日常生活動作ならびに社会適応能力の回復・改善を促すための科学的根拠に基づいた作業療法の知識と技術を身につけるため、作業療法専門科目を配置する。
- (3) 地域の保健・医療システム、特に地域包括ケアにおける作業療法士の役割、生活環境面に対する具体的支援方法について理解するとともに、障害の有無や年代にかかわらず、全ての人々が住み慣れた地域で生活できるように支援するための能力を身につけるため、専門基礎科目と作業療法専門科目を配置する。
- (4) 臨床実習指導者の監督、指導の下、専門基礎科目や専門科目で学んだ専門知識と技術を統合し、対象者にとって最良かつ安全な作業療法を実践できる能力を身につけるため、作業療法専門科目（臨床実習）を配置する。
- (5) 科学者としての目と心を育み、作業療法に関わる課題を解決するための科学的思考力と問題解決能力、それを生涯に渡り高める態度を身につけるため、専門基礎科目と作業療法専門科目を配置する。

5 リハビリテーション学科視機能療法専攻

- (1) 地域社会に貢献するために視能訓練士として必要な教養と人間性、責任感や倫理観、コミュニケーション能力を身につけるため、人間と科学・コミュニケーション等の総合教育科目を配置する。
- (2) 視機能療法学の基盤である人間科学を修得させる科目として、人体の構造と機能及び心身の発達、疾病の成り立ち及び回復過程の促進、視覚機能の基礎と検査機器及び保健医療福祉と視機能障害のリハビリテーションの理念に関する専門基礎科目を配置する。
- (3) 視機能療法学の確かな専門知識・技術を修得させる科目として、基礎的視機能療法学の科目を配置する。
- (4) 視機能療法学の確かな専門知識・技術を臨床現場において適切に実践し得る能力を身につけるために、視機能療法学領域の各系統における発展的科目と分野横断的科目を配置する。
- (5) 対象者に応じた視機能療法の実践及びチーム医療の在り方を了知させるために、臨床実習を配置する。
- (6) 視機能療法に関わる課題を解決するための科学的思考力と問題解決能力、それを生涯に渡り高める態度を身につけるため、医療情報と実験研究に関する科目を配置する。

履修要領

看護学科

2023年度入学生

履修要領

1. 教育課程の編成の基本的方針

本学は、知識、技能両面において教養ある医療技術者を育成すると共に、多様化する社会に順応できるよう、人間、社会、文化、語学といった観点における学問を学び、また、医療に携わるものとして不可欠なコミュニケーション能力や、社会人としての基盤構築のための科目を編成しています。

さらに、各専門分野の科目についても学術的に編成した上で細分化し、それぞれが体系的な学問として学ぶことができる配置となっています。

これにより、一人の社会人として、そして医療に携わるものとしての資質と技術を磨き、専門性に富んだ医療に適応できる医療技術者の育成を目指しています。

本学の教育課程は「総合教育科目」と「専門教育科目」に大別し、「総合教育科目」は「教養教育科目」と「基礎教育科目」に、「専門教育科目」は「専門基礎科目」「専門科目」「統合科目」に区分して、科目群による教育が有機的かつ系統的にすすむように編成しています。

2. 「総合教育科目」の考え方

「総合教育科目」は、大半の科目について両学科学生が合同で受講できるよう科目立てして、配慮しています。職種は違うが同じ医療人との観点から捉えた場合、両職種に共通した知識として蓄えたい分野があることから、それらに関する科目を配置しています。

まず「教養教育科目」には、現代社会を取り巻く様々な要素について考察する力を養うために、また看護師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士として、保健、医療、福祉の分野で貢献するための基礎となる科目を配置しています。医療技術者として活躍するためには、社会の多様な事象や考え方に対して理解を深め、受け止めつつ自らの考えを確立し、なおかつ相手の立場に立って考えることが出来る感性と、洞察力が求められます。よってこれらに関する科目を配置し、人間を科学と社会に関連付けながら学べるように編成しています。

次に、「基礎教育科目」には、「専門教育科目」を学び、理解を深めるための基盤となる社会の仕組みを理解することや、思考力の形成、コミュニケーション能力の育成に主眼を置いた科目群を配置しています。

3. 「専門教育科目」の考え方

「専門教育科目」は、両学科がそれぞれ独自性をもった科目群で構成しています。

看護学科に配置した「専門基礎科目」には、看護の専門領域を学ぶ前段階として基礎医学に関する科目群を配置し、看護学の専門性を高める基盤となるよう配慮しています。また、看護を取り巻く社会の構造と環境についても、系統的に科目立てをしています。

「専門科目」には、看護の各領域に関する学問を系統立てて配置し、それぞれの領域が融合しながら看護学を学び、人間、健康、環境の面から看護を考え、看護の実践ができるよう考慮しています。

「統合科目」は、各領域を統合させた看護の提供ができる能力を養うために、「看護学の発展」的な位置付けとして科目立てしています。

本学の教育課程及び授業科目は、次表のとおりです。

<看護学科> 2023年度入学生

区分		授業科目	単位数		卒業要件		
			必修	選択			
総合教育科目	教養教育科目	人間と科学	生物学	1		3	
		看護と情報	2				
		化学		2			
		人間工学		2			
	人間と社会	環境と人間		2	2		
		社会学		2			
		人間関係論		2			
		教育学		2			
	基礎教育科目	コミュニケーション	心理学		2	2	
			生命倫理学	2			
			基礎演習	1			
			文章表現法	1			
	外国語		コミュニケーション学	1		3	
			英語Ⅰ(教養英語)	1			
英語Ⅱ(日常英会話)				1			
英語Ⅲ(専門英語)				1			
専門基礎科目	人体の構造と機能	ドイツ語		1	1		
		中国語		1			
		解剖生理学Ⅰ	2				
		解剖生理学Ⅱ	2				
	疾病の成り立ちと回復の促進	生活者の解剖生理	1		7		
		生化学	1				
		栄養学	1				
		疾病論Ⅰ	1				
		疾病論Ⅱ	1				
		疾病論Ⅲ	1				
	健康支援と社会保障制度	微生物学	1		9		
		公衆衛生学	1				
		薬理学	1				
		病態心理学	1				
	リハビリテーション概論	1		6			
	カウンセリング論	1					
	保健統計学	1					
	看護と法律	1					
専門教育科目	健康生活を支えるための看護の原理と基礎	共生社会と福祉	1		6		
		医療と経済	1				
		社会福祉学	2				
		看護学概論	1				
	健康生活を支えるための看護の原理と基礎	基礎看護技術Ⅰ	2		14		
		基礎看護技術Ⅱ	2				
		基礎看護技術Ⅲ	2				
		基礎看護技術Ⅳ	2				
		フィジカルアセスメントⅠ	1				
		フィジカルアセスメントⅡ	1				
		基礎看護学実習Ⅰ	1				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				
		健康生活を支えるためのライフサイクル別看護活動	地域・在宅看護概論	1			46
			地域・在宅看護活動論Ⅰ	2			
地域・在宅看護活動論Ⅱ	1						
地域・在宅看護活動論Ⅲ	1						
地域・在宅看護活動論Ⅳ	1						
地域・環境実習Ⅰ	2						
地域・環境実習Ⅱ	2						
地域・在宅看護論実習	2						
成人看護学概論	1						
成人看護活動論Ⅰ	1						
成人看護活動論Ⅱ	2						
成人看護活動論Ⅲ	2						
成人看護学実習	1						
高齢者看護学概論	1						
高齢者看護活動論Ⅰ	2						
高齢者看護活動論Ⅱ	1						
成人・高齢者看護学実習Ⅰ	3						
成人・高齢者看護学実習Ⅱ	2						
小児看護学概論	1						
小児看護活動論Ⅰ	2						
小児看護活動論Ⅱ	1						
小児看護学実習	2						
母性看護学概論	1						
母性看護活動論Ⅰ	2						
母性看護活動論Ⅱ	1						
母性看護学実習	2						
精神看護学概論	1						
精神看護活動論Ⅰ	2						
精神看護活動論Ⅱ	1						
精神看護学実習	2						
看護の統合と実践	課題研究	1		7			
	安全管理論	1					
	災害・国際看護論	1					
	総合判断育成演習	2					
		看護の総合実習	2				
合計					103		

4. 履修方法等

1) 学期

学年は、4月1日から3月31日までで、その学年は、次の学期に分かれています。

前学期	4月1日から9月30日まで
後学期	10月1日から3月31日まで

2) 授業

① 授業時間割

授業時間割表は、毎月初旬に翌月分を Classroom で配信します。

なお、授業時間割表の変更、休講、補講等がある場合は、その都度 Classroom で配信しますので始業前等には必ず確認してください。

② 授業時間

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15

③ 集中授業

集中授業は、原則として夏季休業中及び冬季休業中に行われます。具体的な開講日・時限等は、授業時間割表にて確認してください。

④ 休講

大学又は担当教員のやむを得ない理由により、休講することがあります。休講の場合は、その都度 Classroom で連絡します。また、休講の連絡がなく、始業時刻から 15 分を経過しても担当教員が教室にこない場合は、事務室に連絡し指示を受けてください。

⑤ 補講

休講した授業科目は、補講を行うことがあります。補講は Classroom で連絡しますので、履修者は通常の授業と同様に受講してください。

3) 履修方法

学則、教育課程表及び授業時間割表の定めるところに従い、各自が履修計画を検討し計画的に各科目を履修しなければなりません。

<履修上の注意事項>

- ア. 必修科目、選択必修科目を含めて、卒業に必要な単位数以上を履修登録、修得してください。
- イ. 同一時限に複数の授業科目を履修することはできません。
- ウ. 既に単位を修得した授業科目は、再び履修することはできません。

4) 履修登録

学生は、各年度の各学期に履修する選択科目について、本学の定める期日までに履修登録届を提出し、承認を得なければなりません。必修科目については、自動的に履修登録されますので、履修登録届は不要です。

履修登録がされていないと、授業に出席しても試験の受験資格が得られませんから、十分に注意してください。

学生は、履修登録をして承認を得た後においては、任意に履修科目を変更し、又は届け出た科目の履修を放棄することはできません。

<履修登録の上限単位数 (CAP 制) >

CAP 制とは、授業科目の単位修得に必要な学修時間を確保する観点から、各学年において履修登録できる単位数の上限を定めた制度です。

本学では、全学科・全専攻において1年間に履修登録できる単位数の上限を 55 単位としています。

5) 授業の出・欠席の取り扱い

- ① 原則として、授業開始前に出・欠席の確認を行います。
- ② 出欠席の取り扱いは次の各号によります。
 - ア. 出席は、本学の定めた出席すべき日時に本学授業に出席した場合をいいます。
 - イ. 欠席は、本学の定めた出席すべき日時に本学授業に出席しなかった場合をいいます。
 - ウ. 欠課は、本学授業に出席した日のうちで、各授業時間において遅刻並びに早退に該当する範囲を超えた場合をいいます。
 - エ. 遅刻は、授業開始時刻、本学行事の日にあつては定められた登校時刻又は集合時刻の 20 分以内の遅れをいいます。
 - オ. 早退は、授業終了前、本学行事の日にあつては定められた解散時刻前の 20 分以内に退出した場合をいいます。
 - カ. 同一科目において遅刻、早退 2 回をもって 1 時限の欠課となります。
- ③ 公認の取り扱いは、次の各号によりますが、公認願を事務室へ提出し学長が認めた場合に限ります。
 - ア. 授業中の負傷・病気に伴う治療の場合
 - イ. 忌引きによる場合

父母	兄弟姉妹	祖父母	伯叔父母
7 日	5 日	3 日	2 日

ただし、遠隔地に赴く場合は、必要最低限の日数を認めることができる。

 - ウ. 伝染病発生並びに罹患による登校停止の場合。
 - エ. 本人の責めによらない不可抗力の場合
 - オ. その他学長が特に必要と認める場合

※ 公欠は本学が欠席事由を認めたものではあるが、授業の出席とみなすものではありません。
なお、公欠として認められたものは、授業開講数には含みません。
- ④ 公認願は事前に提出するものとし、やむを得ず事後に提出する場合は、遅くとも 3 日（土・日・祝含まず）以内に事務室へ提出しなければなりません。

5. 選択科目の履修人数について

選択科目のうち、次に掲げる科目については、授業方法の形態及び教室の座席数の関係上、履修人数の制限を設けます。履修希望者が制限人数を超えた場合は、学内での抽選により履修者を決定します。

その他の選択科目についても教室の座席数等の事情により、人数調整の上履修者を決定します。

科目名	制限の人数
英語Ⅱ（日常英会話）A	40名
英語Ⅱ（日常英会話）B	60名
英語Ⅲ（専門英語）	60名
ドイツ語	40名
中国語	40名

6. 臨地・臨床実習科目の履修に関する条件

実習科目を履修するためには、次表のとおり履修前提条件を満たしている必要があります。

履修前提条件を満たしていない人は、履修できませんので注意してください。

<看護学科実習科目の履修前提条件> 2023年度入学生に適用

区分	授業科目	時期	履修条件		
			単位修得済み科目	当年度履修登録済み科目	
専門教育科目	健康を 支える ための 基礎	基礎看護学実習Ⅰ	1前		看護学概論 基礎看護技術Ⅰ
		基礎看護学実習Ⅱ	2前	1年次の[専門基礎]全科目 看護学概論 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ フィジカルアセスメントⅠ 基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護技術Ⅲ 基礎看護技術Ⅳ フィジカルアセスメントⅡ
	健康 生活を 支える ための ライフ サイク ル別 看護 活動	地域・環境実習Ⅰ	1後	1年前学期の[専門基礎]全科目 看護学概論 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護技術Ⅱ フィジカルアセスメントⅠ 地域・在宅看護概論 高齢者看護学概論
		地域・環境実習Ⅱ	2後	1年次の[専門基礎]全科目 看護学概論 地域・在宅看護概論 高齢者看護学概論 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ フィジカルアセスメントⅠ 基礎看護学実習Ⅰ 地域・環境実習Ⅰ	基礎看護技術Ⅲ 基礎看護技術Ⅳ フィジカルアセスメントⅡ 地域・在宅看護活動論Ⅰ
		地域・在宅看護論実習	3前	【看護の原理と基礎】全科目 地域・在宅看護概論 地域・在宅看護活動論Ⅰ 地域・在宅看護活動論Ⅱ 地域・在宅看護活動論Ⅲ	地域・在宅看護活動論Ⅳ
		成人看護学実習	3前	【専門基礎科目】【看護の原理と基礎】全科目 成人看護学概論 成人看護活動論Ⅰ 成人看護活動論Ⅱ 成人看護活動論Ⅲ	
		成人・高齢者看護学実習Ⅰ	2後	【看護の原理と基礎】全科目 成人看護学概論 成人看護活動論Ⅰ 成人看護活動論Ⅱ 高齢者看護学概論 高齢者看護活動論Ⅰ	成人看護活動論Ⅲ 高齢者看護活動論Ⅱ
		成人・高齢者看護学実習Ⅱ	3前	【看護の原理と基礎】全科目 成人看護活動論Ⅲ 高齢者看護活動論Ⅱ 成人・高齢者看護学実習Ⅰ	
		小児看護学実習	2後	【看護の原理と基礎】全科目 小児看護学概論 小児看護活動論Ⅰ	小児看護活動論Ⅱ
		母性看護学実習	2後	【看護の原理と基礎】全科目 母性看護学概論 母性看護活動論Ⅰ	母性看護活動論Ⅱ
		精神看護学実習	3前	【看護の原理と基礎】全科目 精神看護学概論 精神看護活動論Ⅰ	精神看護活動論Ⅱ
		看護の統合と実践	看護の統合実習	3後	【看護の原理と基礎】【ライフサイクル別看護】全科目 安全管理論 成人看護学実習 成人・高齢者看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 地域・在宅看護論実習

※表中の【看護の原理と基礎】とは、「専門科目」の「健康生活を支えるための看護の原理と基礎」の科目を示す。
 ※「健康生活を支えるためのライフサイクル別看護活動」の2年次後期にある実習については、2年次前期までの【専門基礎】科目すべてを単位履修済みであること。
 ※「看護の統合と実践」の3年次後期にある「看護の統合実習」については、3年次前期までの【専門基礎】科目すべてを単位履修済みであること。

7. 試験、成績評価及び単位の授与

1) 試験の種類

試験は、原則として下記の種類があります。ただし、科目によっては授業時間中に随時期間外試験を行うことがあります。

試験は各授業科目の担当教員が行い、試験を受けることができる者は、当該授業科目の授業時間数の3分の2以上出席した者とします。

① 定期試験

前学期、後学期授業終了後に行います。

② 期間外試験

前学期試験、後学期試験の期間以外に行うことがあります。

③ レポート試験

上記の試験に代わり、レポート提出を求められることがあります。詳細は担当教員の指示に従ってください。

④ 追試験

病気、その他正当な理由により試験を受けられなかった場合、願い出が認められた者に対し追試験を実施します。

⑤ 再試験

試験及び追試験に不合格となった者について、授業担当教員は1回に限り再試験を行うことができます。

2) 追試験の手続き

追試験の受験を希望する者は、当該試験の終了から5日以内（休日含まず）に、受験できなかった理由がわかる書類（病気やけがの場合は医師の診断書、その他忌引きや事故等による場合は証明できる書類等）を付した追試験願を事務局学務課に提出しなければなりません。

願い出が認められた場合は、担当教員の指示に従って受験することとなります。

なお、追試験を欠席した場合は、特別な事情がない限りその後の追試験は行いません。

3) 再試験の手続き

再試験を希望する者は、定められた期日までに再試験願に再試験料（1科目につき3,000円）を添えて申請し、学長の承認を得なければなりません。

なお、再試験を欠席した場合は、特別な事情がない限りその後の再試験は行いません。

4) 受験上の注意

ア. 座席は、別途指定された席についてください。

イ. 学生証は本人確認のため、写真の面を上にして通路側の机の上に置いてください。なお、学生証を携帯していない者、有効期限の切れた学生証持参の者は受験できません。ただし、当日事務室にて当日のみ有効の受験特別許可証を発行します。手数料は1,000円です。

ウ. 試験に必要な筆記用具、消しゴム等以外のものを机の上に置かないでください。

エ. 監督者の指示に従ってください。指示に従わない者には退場を命じ、その試験は無効とします。

オ. 遅刻は、試験開始後30分までを認め、それ以後の入室は認めません。

カ. 退室は、試験開始後30分経過するまでは認めません。

キ. 試験実施中は、スマホ・携帯電話及び腕時計のアラーム等の電源を切ってください。

ク. 不正行為を行った者には退室を命じ、当該科目または以後の全科目の受験を認めません。また、当該学期の履修科目の一部または全部の単位を認定しません。詳細は学生便覧の「平成医療短期大学試験等における不正行為に対する取扱基準」でご確認ください。

また、不正行為と見なされてしまう可能性のある行為（例：筆記用具や消しゴムの貸し借り等）は、決して行わないでください。

5) 成績評価

成績の評価は次のとおりです。(学則第26条第2項)

成績は、本人に秀、優、良、可、不可、失格の評価をもって通知します。

成績評価が合格の者に対して、所定の単位を与えます。各試験の評価は、次のとおりです。

評価	前学期、後学期、期間外、及びレポート試験等	追試験	再試験
秀	100点～90点	100点～90点	なし
優	89点～80点	89点～80点	なし
良	79点～70点	79点～70点	なし
可	69点～60点	69点～60点	100点～60点
不可	60点未満	60点未満	60点未満
失格	受験資格なし	—	—

<実習科目>

出席が当該実習科目の授業時間数の5/6以上を対象とし、成績評価は、秀、優、良、可、不可、失格とします。出席が当該実習科目の授業時間数の5/6に満たない場合は、補習実習を認める場合があります。

この場合は本学所定の申請用紙により、補習実習願を事務室に提出し、実習担当教員と学長の承認を得なければなりません。

<GPA> *グレード・ポイント・アベレージ

GPAとは、「秀」を4、「優」を3、「良」を2、「可」を1、「不可・失格」を0として各科目の成績を一定の基準で換算して、全体成績を数値で表記したものです。

[GPA算出方法] *小数第三位四捨五入

$$\frac{([\text{秀}] \text{ 修得単位数} \times 4) + ([\text{優}] \text{ 修得単位数} \times 3) + ([\text{良}] \text{ 修得単位数} \times 2) + ([\text{可}] \text{ 修得単位数} \times 1) + ([\text{不可}] \text{ 修得単位数} \times 0)}{\text{総修得単位数} + (\text{不可} \cdot \text{失格}) \text{ 単位数}}$$

*GPAには、各期のGPAと入学からその時点までの通算GPAがあり、各期の成績表には両方のGPAが掲載されます。

*不可・失格について再履修で単位修得した場合は、過去の不可・失格の評価は通算GPAには算入されません。

*GPAは履修登録されたすべての科目が対象になります。よって、選択科目を必要単位数以上に履修申請した場合も、すべて対象になります。

*入学前既修得単位(単位認定科目)はGPA対象外です。

<GPAに基づく個別指導、退学勧告>

成績不振の基準を、学期GPA1.5未満とし、該当する学生には次の各号により個別面談・指導等を行います。

- ① 学期GPAが1.5未満の場合は、指導教員による個別面談・指導を行います。
- ② 2期連続GPAが1.5未満の場合は、保護者同席のうえ指導教員による個別面談・指導を行います。
- ③ 3期連続または通算4学期のGPAが1.5未満の場合は、学長が退学勧告できます。

6) 成績発表

原則成績表を手渡しすることで発表とします。その際は必ず学生証を持参してください。

発表日時、場所等は時間割表に記載の上 Classroom にてお知らせします。

なお、再試験の申し込みは成績発表の当日以降に行います。時間、場所等は Classroom にてお知らせします。

8. 単位について

1) 単位の計算方法

学則第24条により、次のように定めています。

第24条 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

二 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、15時間の授業をもって1単位とする。

三 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

四 講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により授業を行う場合にあっては、その組み合わせに応じ、次の表の換算時間により計算した総時間数が45時間となる授業をもって1単位とする。

授業の種類	授業1時間当たりの換算時間
講義	3時間
演習	1.5時間
実習・実験・実技	1時間

2) 単位の考え方

1) に記載されているように、1単位の学修時間を45時間としながら、実際の講義については15時間(30時間)で1単位としています。これは、45時間の中に講義以外の事前・事後学習の時間が含まれるとする考え方によるものです。

9. 卒業要件、学位の授与及び国家試験

1) 卒業要件

本学を卒業するためには、本学に3年以上在学し、本学学則の別表1に卒業要件として示す単位を修得しなければなりません。

2) 学位の授与及び国家試験

所定の単位を修得すると、「短期大学士(看護学)」(英訳名: Associate of Science in Nursing)の学位が授与され、看護師国家試験の受験資格が得られます。

この国家試験は、厚生労働省により年1回実施されます。

<看護学科の卒業要件単位数>

区 分		必 修	選 択	合 計	
総 教 育 科 目	教養教育科目	人間と科学	3 単位	2 単位以上	5 単位以上
		人間と社会	2 単位	2 単位以上	4 単位以上
	基礎教育科目	コミュニケーション	3 単位	—	3 単位
		外国語	1 単位	1 単位以上	2 単位以上
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目	人体の構造と機能	7 単位	—	7 単位
		疾病の成り立ちと回復の促進	9 単位	—	9 単位
		健康支援と社会保障制度	6 単位	—	6 単位
	専門科目	健康生活を支えるための看護の原理と基礎	1 4 単位	—	1 4 単位
		健康生活を支えるためのライフサイクル別看護活動	4 6 単位	—	4 6 単位
		看護の統合と実践	7 単位	—	7 単位
合計		9 8 単位	5 単位以上	1 0 3 単位以上	

カリキュラムマップ<看護学科> 2023年度入学生

建学の精神

「誠意と親切と広い心」を理念に、医療の基本的精神である科学と人間愛に基づき、医療の知識と技術向上に努め、地域医療福祉等に貢献できる人材を養成する。

教育目的

全学 … 教育基本法の精神に則り、学校教育法に基づき、「誠意と親切と広い心」を理念に、豊かな一般教養の上に実践的な学問及び技術を深く教授し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成することとする。

教育目標

看護学科…深い人間愛をもち、高い倫理観の上に、高度化・多様化する保健・医療・福祉に相応し得る知識・技術及び実践力をもち看護師の養成を目的とする。

教育目標

①科学的根拠に裏づけられた看護領域の専門知識、技術及び実践力を有する看護師
②高度化、多様化する医療環境の変化等に主体的に対応できる実践力を有する看護師
③生命の尊重と人間に対する全人的な深い理解に基づき対象者への看護の実践及び多職種と連携・協働しながら看護を提供できる良好な人間関係を築く能力と態度を有する看護師
④生涯にわたり、主体的かつ能動的に学習する意思を持つ看護師

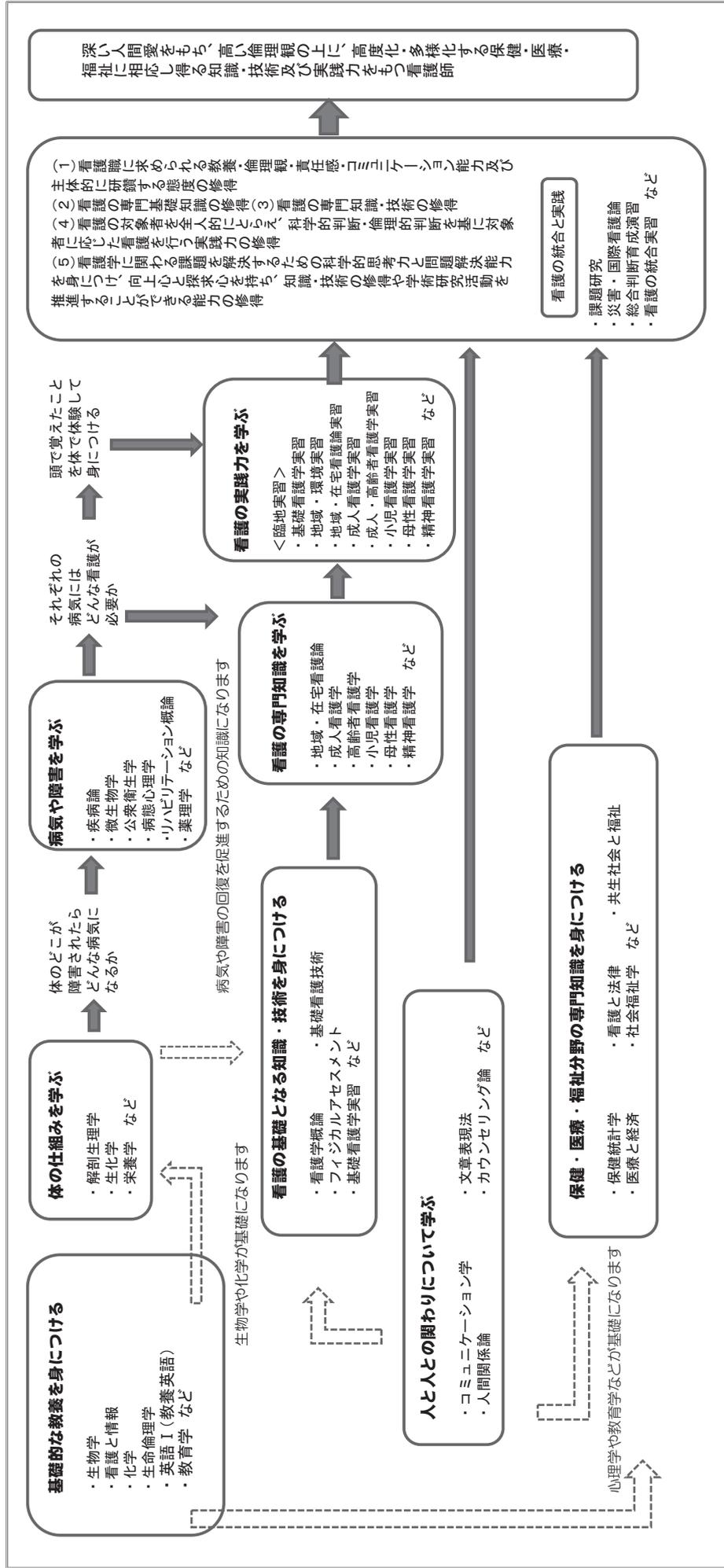
全学方針	教育目的に基づくカリキュラム・ポリシー		看護学科方針		項目		1年次		2年次		3年次		学習成果	全学方針	ディプロマ・ポリシー	看護学科		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
(1) 社会生活に求められる教養、倫理・責任感及びコミュニケーション能力の修得を目的として、全学に総合教育科目を配置する。	人間と科学	人間と社会	コミュニケーション	外国語	人間と科学	人間と社会	コミュニケーション	外国語	人間と科学	人間と社会	コミュニケーション	外国語	(1) 豊かな人間性と教養を身につけた看護師としての責任感や倫理観など、医療者としての求められる能力と態度を身につけている。	(1) 全学共通の教養科目の履修を通して、社会的責任感、良好な人間関係、コミュニケーション能力、倫理観など、医療者としての求められる教養を身につける。				
(2) 看護の専門基礎知識を修得するため、人体の理解・疾病の成り立ちと回復の促進・社会の構造と環境の専門基礎科目を配置する。	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	基礎生理学Ⅰ 基礎生理学Ⅱ 生化学	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 生化学	環境と人間	教育心理学	英語Ⅰ(敬語英語) 英語Ⅱ(日常英会話) 英語Ⅲ(専門英語) ドイツ語	疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅲ 公衆衛生学 薬理学 微生物学 社会福祉学	基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ フィジカルアセスメントⅠ 地域・在宅看護概論	基礎看護技術Ⅲ 基礎看護技術Ⅳ フィジカルアセスメントⅡ 地域・在宅看護活動Ⅰ 成人看護活動Ⅰ 成人看護活動Ⅱ 高齢者看護活動Ⅰ 小児看護活動Ⅰ 母性看護活動Ⅰ 精神看護学概論	基礎看護技術Ⅱ 基礎看護技術Ⅲ 基礎看護技術Ⅳ 地域・在宅看護活動Ⅱ 成人看護活動Ⅱ 成人看護活動Ⅲ 高齢者看護活動Ⅱ 小児看護活動Ⅱ 母性看護活動Ⅱ 精神看護活動Ⅱ	基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護技術Ⅲ 基礎看護技術Ⅳ 地域・在宅看護活動Ⅰ 成人看護活動Ⅰ 成人看護活動Ⅱ 高齢者看護活動Ⅰ 小児看護活動Ⅰ 母性看護活動Ⅰ 精神看護活動Ⅰ	(2) 看護の専門基礎知識を修得し、地域医療福祉等に貢献できる力を身につける。	(2) 学習を通して、専門知識、技術及び実践力を修得し、地域医療福祉等に貢献できる力を身につける。	(2) 看護の専門基礎知識の修得	(2) 看護の専門基礎知識の修得		
(3) 看護の領域ごとに、健康を支えるための看護の原理と基礎 健康生活を支えるための看護活動 ライフサイクル別看護活動	健康生活を支えるための看護の原理と基礎	健康生活を支えるための看護活動	基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅲ	基礎看護学実習Ⅳ	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅲ 基礎看護学実習Ⅳ	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅲ 基礎看護学実習Ⅳ	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅲ 基礎看護学実習Ⅳ	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅲ 基礎看護学実習Ⅳ	(3) 看護の対象者及び医療チーム間における円滑なコミュニケーション能力を身につける。	(3) 増補・専攻課程の教育目的に基づく学習を通して、専門知識・技術を体系的に修得し、科学的・倫理的に看護を実践できる。	(3) 看護の対象者及び医療チーム間における円滑なコミュニケーション能力を身につける。	(3) 看護の対象者及び医療チーム間における円滑なコミュニケーション能力を身につける。		
(4) 看護の領域ごとに、看護職としての科学的判断・倫理的判断を基に、対象者に応じた看護を実践するための実習を配置する。	専門領域別実習	看護の統合と実践	基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅲ	基礎看護学実習Ⅳ	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅲ 基礎看護学実習Ⅳ	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅲ 基礎看護学実習Ⅳ	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅲ 基礎看護学実習Ⅳ	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅲ 基礎看護学実習Ⅳ	(4) 生涯にわたり向上心と探求心をもち続け、看護専門職として主体的に研鑽できる。	(4) 生涯にわたり向上心と探求心をもち続け、看護専門職として主体的に研鑽できる。	(4) 生涯にわたり向上心と探求心をもち続け、看護専門職として主体的に研鑽できる。	(4) 生涯にわたり向上心と探求心をもち続け、看護専門職として主体的に研鑽できる。		

※ディプロマ・ポリシーの番号はP3の該当番号

科目関連図

各科目がどのように関連しているかを理解して学習をすすめる。

<看護学科> 2023年度入学生



到達目標評価項目(学習成果)および評価基準

<看護学科> 2023年度入学生

※学習成果の番号はカリキュラムマップ・関連図の該当番号

評価項目 学習成果	評価基準			適用科目	学校としての学習成果の評価
	3 (非常に優れている)	2 (優れている)	1 (基準に達している)		
(1)看護職に求められる教養・倫理観・責任感・コミュニケーション能力及び主体的に研鑽する態度の修得	当該分野のGPA 2.50～4.00	当該分野のGPA 2.00～2.49	当該分野のGPA 1.00～1.99	生物学 看護と情報 化学 人間工学 環境と人間 社会学 人間関係論 教育学 心理学 生命倫理学 基礎演習 文章表現法 コミュニケーション学 英語Ⅰ(教養英語) 英語Ⅱ(日常英会話) 英語Ⅲ(専門英語) ドイツ語 中国語	当該分野の学生のGPA平均値が左記1～3のいずれに該当するかにより評価。
(2)看護の専門基礎知識の修得	当該分野のGPA 2.50～4.00	当該分野のGPA 2.00～2.49	当該分野のGPA 1.00～1.99	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 生活者の解剖生理 生化学 栄養学 疾病論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 微生物学 公衆衛生学 薬理学 病態心理学 リハビリテーション概論 カウンセリング論 保健統計学 看護と法律 共生社会と福祉 医療と経済 社会福祉学	当該分野の学生のGPA平均値が左記1～3のいずれに該当するかにより評価。
(1)看護職に求められる教養・倫理観・責任感・コミュニケーション能力及び主体的に研鑽する態度の修得 (3)看護の専門知識・技術の修得 (4)看護の対象者を全人的にとらえ、科学的判断・倫理的判断を基に対象者に応じた看護を行う実践力の修得 (5)看護学に関わる課題を解決するための科学的思考力と問題解決能力を身につけ、向上心と探求心を持ち、知識・技術の修得や学術研究活動を推進することができる能力の修得	当該分野のGPA 2.50～4.00	当該分野のGPA 2.00～2.49	当該分野のGPA 1.00～1.99	看護学概論 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ フィジカルアセスメントⅠ・Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 地域・在宅看護概論 地域・在宅看護活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 地域・環境実習Ⅰ・Ⅱ 地域・在宅看護論実習 成人看護学概論 成人看護学実習 高齢者看護学概論 高齢者看護学実習Ⅰ・Ⅱ 成人・高齢者看護学実習Ⅰ・Ⅱ 小児看護学概論 小児看護活動論Ⅰ・Ⅱ 小児看護学実習 母性看護学概論 母性看護活動論Ⅰ・Ⅱ 母性看護学実習 精神看護学概論 精神看護活動論Ⅰ・Ⅱ 精神看護学実習 課題研究 安全管理論 災害・国際看護論 総合判断育成演習 看護の統合実習	当該分野の学生のGPA平均値が左記1～3のいずれに該当するかにより評価。

シラバス

看護学科

2023年度入学生

◎ 看護学科
◆ 総合教育科目 ◆

科目区分		科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ
教養教育科目	人間と科学	生物学	1年次前学期	江村正一	22
		看護と情報	1年次前学期	福岡大輔、三品弘司、森岡菜穂子、佐々木智恵	24
		化学	1年次前学期	武藤吉徳	26
		人間工学	1年次前学期	山田宏尚	28
		環境と人間	1年次後学期	大藪千徳	30
	人間と社会	社会学	1年次前学期	伊原亮司	32
		人間関係論	1年次前学期	神戸博一	34
		教育学	1年次後学期	益川優子	36
		心理学	1年次後学期	大井修三	38
		生命倫理学	3年次前学期	塚田敬義、熊田ますみ	40
基礎教育科目	コミュニケーション	基礎演習	1年次前学期	松野ゆかり、古田弥生	42
		文章表現法	1年次前学期	遠藤明日香	44
		コミュニケーション学	1年次後学期	近藤ひろえ	46
	外国語	英語Ⅰ(教養英語)	1年次前学期	ミルボド・セイエド・モハマド	48
		英語Ⅱ(日常英会話)A	1年次後学期	ジャマリ・マルジャン	50
		英語Ⅱ(日常英会話)B	1年次後学期	ミルボド・セイエド・モハマド	52
		英語Ⅲ(専門英語)	1年次後学期	ミルボド・セイエド・モハマド	54
		ドイツ語	1年次後学期	安藤彰浩	56
	中国語	1年次後学期	橋本永貢子	58	

◎ 看護学科
◆ 専門教育科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ
専門基礎科目	人体の理解	解剖生理学Ⅰ	1年次前学期 佐竹裕孝	60
		解剖生理学Ⅱ	1年次前学期 佐竹裕孝	62
		生活者の解剖生理	1年次後学期 眞田正世、加藤清人	66
		生化学	1年次前学期 亀山泰永	68
		栄養学	1年次後学期 久保和弘	70
	疾病の成り立ちと回復の促進	疾病論Ⅰ	1年次後学期 武内康雄、山本容正	72
		疾病論Ⅱ	1年次後学期 近藤直実、松井永子、山本容正	74
		疾病論Ⅲ	1年次後学期 武内康雄、細江英夫、多田晃司、平野聡子、塩谷滝雄、大江直行、中山則之	76
		微生物学	1年次後学期 林 将大	78
		公衆衛生学	1年次後学期 和田恵子	80
		薬理学	1年次後学期 足立哲夫	82
		病態心理学	2年次前学期 武藤恭昌、大井一高、蔵満彩結実、野瀬早織、高井健太郎、藤兼大輔、藤田浩司、村上拓紀	84
		リハビリテーション概論	2年次前学期 長谷部武久	86
	カウンセリング論	2年次前学期 古田信宏	88	
	健康支援と社会保障制度	保健統計学	3年次後学期 眞田正世	90
看護と法律		3年次後学期 皮野さよみ	92	
共生社会と福祉		3年次前学期 加藤清人	94	
医療と経済		3年次後学期 塩野美里	96	
社会福祉学		1年次後学期 木林 勉	98	

◎ 看護学科
◆ 専門教育科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ	
健康生活を支えるための 看護の原理と基礎	看護学概論	1年次前学期	眞田正世	100	
	基礎看護技術Ⅰ	1年次前学期	眞田正世、長屋江見、佐々木智恵、坂本裕子	102	
	基礎看護技術Ⅱ	1年次後学期	長屋江見、眞田正世、佐々木智恵、坂本裕子	105	
	基礎看護技術Ⅲ	2年次前学期	長屋江見、眞田正世、佐々木智恵、坂本裕子	107	
	基礎看護技術Ⅳ	2年次前学期	眞田正世、長屋江見、佐々木智恵、坂本裕子	110	
	フィジカルアセスメントⅠ	1年次後学期	眞田正世、長屋江見、佐々木智恵、坂本裕子	112	
	フィジカルアセスメントⅡ	2年次前学期	眞田正世、河合克尚、長屋江見、佐々木智恵、坂本裕子	114	
	基礎看護学実習Ⅰ	1年次前学期	眞田正世、長屋江見、佐々木智恵、坂本裕子	116	
	基礎看護学実習Ⅱ	2年次前学期	眞田正世、長屋江見、佐々木智恵、坂本裕子	118	
	健康生活を支えるための ライフサイクル別看護活動	地域・在宅看護概論	1年次後学期	越納美和、山田剛司	120
		地域・在宅看護活動論Ⅰ	2年次前学期	越納美和、堀 信宏、清水美智子、中川幸代、塚原稔世、山田剛司	122
		地域・在宅看護活動論Ⅱ	2年次後学期	熊田ますみ、松野ゆかり、古田弥生、岩瀬桃子、三輪陽子、飯沼温美、山田剛司	124
		地域・在宅看護活動論Ⅲ	2年次後学期	越納美和	126
		地域・在宅看護活動論Ⅳ	3年次前学期	越納美和、福井郁子、鈴木留理子	128
		地域・環境実習Ⅰ	1年次後学期	越納美和、熊田ますみ、三品弘司	130
		地域・環境実習Ⅱ	2年次後学期	熊田ますみ、出口睦雄、三輪陽子、村上秀和、坂本裕子	132
		地域・在宅看護論実習	3年次前学期	越納美和、岩瀬桃子、清水ゆかり	134
		成人看護学概論	1年次後学期	古田弥生	136
成人看護活動論Ⅰ		2年次前学期	古田弥生、森岡菜穂子、林 宗典	138	
成人看護活動論Ⅱ		2年次前学期	古田弥生、森岡菜穂子、林 宗典、古林 晃	140	
成人看護活動論Ⅲ		2年次後学期	古田弥生、森岡菜穂子、林 宗典、粥川誠至	143	
成人看護学実習		3年次前学期	古田弥生、森岡菜穂子、林 宗典	145	
高齢者看護学概論		1年次後学期	熊田ますみ	147	
高齢者看護活動論Ⅰ		2年次前学期	熊田ますみ、三輪陽子、加藤清人、川崎葉子、中川幸代	149	
高齢者看護活動論Ⅱ		2年次後学期	熊田ますみ、三輪陽子	151	
成人・高齢者看護学実習Ⅰ		2年次後学期	古田弥生、熊田ますみ、三輪陽子、森岡菜穂子、林 宗典	153	
成人・高齢者看護学実習Ⅱ		3年次前学期	熊田ますみ、古田弥生、三輪陽子、森岡菜穂子、林 宗典	155	
小児看護学概論		1年次後学期	松野ゆかり	157	
小児看護活動論Ⅰ		2年次前学期	松野ゆかり、岩瀬桃子、近藤富雄、遠藤絹代、岡本知美、白木大輔、中川みのり	159	
小児看護活動論Ⅱ		2年次後学期	松野ゆかり、岩瀬桃子	161	
小児看護学実習		2年次後学期	松野ゆかり、岩瀬桃子 他	163	
母性看護学概論		1年次後学期	皮野さよみ	165	
母性看護活動論Ⅰ		2年次前学期	皮野さよみ、清水ゆかり、田中季香、平野聡子	167	
母性看護活動論Ⅱ		2年次後学期	皮野さよみ、清水ゆかり、田中季香	169	
母性看護学実習		2年次後学期	皮野さよみ、清水ゆかり、田中季香	171	
精神看護学概論		2年次前学期	三品弘司	173	
精神看護活動論Ⅰ		2年次後学期	三品弘司、出口睦雄、小森あゆみ、川崎友香、森敏幸	175	
精神看護活動論Ⅱ		3年次前学期	三品弘司、出口睦雄	178	
精神看護学実習		3年次前学期	三品弘司 他	180	
看護の統合と実践		課題研究	3年次後学期	熊田ますみ、皮野さよみ、眞田正世、三品弘司	182
		安全管理論	2年次後学期	眞田正世	184
	災害・国際看護論	3年次後学期	松田好美、縮田朋弥、杉山清美、山下浩司	186	
	総合判断育成演習	3年次後学期	熊田ますみ、皮野さよみ、眞田正世、三品弘司	188	
	看護の統合実習	3年次後学期	熊田ますみ 他	190	

専門科目

授業科目名		担当教員				
生物学		江村 正一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 前学期	2単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
すべての生物の基本構造である「細胞」についての理解をもとに、遺伝、発生、生命の進化と多様性などについて学び「生命」とは何かを考える。生物学で得た知識と理解が、将来、医療に携わるために修めなければならない、他の多くの科目の基礎となる。特に解剖学と生理学の学習にとって直接関係のある事象が多く出て来ますので、その部分については特に理解を深めてください。						
学修の到達目標						
① 細胞・組織・器官について説明できる。 ② 遺伝・発生について説明できる。 ③ 進化・多様性について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	細胞とその構造について	①			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
2	細菌・ウイルスについて	①			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
3	染色体異常について	②			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
4	血液型について	②			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
5	ヒトの遺伝と先天性異常について	②			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
6	生殖について	②			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
7	発生について	②			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
8	免疫について	①			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
9	知覚について	①			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	記憶について	①			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
11	脳神経について	①			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
12	生命の誕生について	③			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
13	生命の進化について	③			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
14	ヒトの起源と進化について	③			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
15	生物多様性について	③			授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。(120分)
	定期試験 (レポート)					
評価基準・評価方法						
課題に対するレポート提出 (100%)						
使用教科書						
系統看護学講座 生物学 / 高畑ほか.--第10版--医学書院, 2022年, 978-4-260-03189-9						
参考図書						
適宜、参考資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	課題に対する質問をメールでも受け付ける。 E-mail:s.emura@heisei-iryu.ac.jp					
備考						

授業科目名		担当教員				
看護と情報		福岡 大輔・三品 弘司・森岡 菜穂子・佐々木 智恵 (代表教員 福岡 大輔)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	1年 前学期	2単位(30時間)		講義		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)の達成に寄与している。		三品弘司(看護師)、森岡菜穂子(看護師)、佐々木智恵(看護師)				
授業概要						
<p>情報通信技術 (ICT) の発展により、本学の学習で必要となるパソコンの使用方法、メールの送受信方法と文章の作り方、クラスルームの使用方法、Web 情報検索、文書作成ソフト (Word、Excel) 及びプレゼンテーションソフト (Power Point) が使用できるように学習する。また学習に必要な検索方法を 知る。 情報の概念及び、インターネット上の様々な情報を活用する上での情報倫理や安全性について理解する。そして、情報科学において基礎となるデジタル化とネットワークによる情報の蓄積・交換を中心として、情報社会の姿を描きつつ情報システムやビックデータを活用した業務や生活の変革について検討する。さらに、医療分野をはじめとした情報通信技術や人工知能の活用について調査し、レポートやプレゼンテーションを作成する過程を通して、問題解決に情報手段を活用するための情報活用能力を身につける。このために、本学が整備しているgoogleのclassroomをはじめとした各種サービスを利用する。</p>						
学修の到達目標						
<p>①情報の概念及び、インターネット上の様々な情報を活用する上での情報倫理や安全性について述べることができる。 ②パソコンの使用方法、メールの送受信方法と文章の作り方、クラスルームの使用方法、Web 情報検索、文書作成ソフト (Word、Excel) 及びプレゼンテーションソフト (Power Point) が使用できる。 ③情報社会の特徴を理解し、将来の社会像や働き方、生活等を具体的に描いて論述できる。 ④情報手段を効果的に活用して協働学習を行い、課題解決を効果的に推進することができる。 ⑤本学の提供するgoogle classroomをはじめとした各種サービスを活用する基礎技能を習得する。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	パソコンの使用方法・メールの送受信方法、文書作成ソフト (Word、Excel) 及びプレゼンテーションソフト (Power Point) の使い方	②	三品	演習	文書作成ソフト及びプレゼンテーションソフトの使い方を調べてくる (120分)	文書作成ソフト及びプレゼンテーションソフトの使い方をまとめる (120分)
2	情報の概念及びインターネット上の様々な情報を活用する上での情報倫理や安全性、Web 情報検索の方法と留意点	① ②	福岡	講義	情報の定義、情報管理に関する法律を調べてくる (120分)	情報の定義、情報管理に関する法律についてまとめる (120分)
3	プレゼンテーションソフト (Power Point) の活用及びメールの文章の作り方	②	佐々木 森岡 三品	講義	作成したプレゼンテーションの見直しをする (120分)	メールの送受信方法と文章の作り方についてまとめる (120分)
4	情報技術基礎 (値の表現、論理回路、コンピュータのしくみ)	③ ⑤	福岡	講義	配布資料を読み情報通信への理解を深める (120分)	配布資料を読みまとめる (120分)
5	情報通信技術と社会インフラ (通信ネットワークのしくみ)	③	福岡	講義	配布資料を読み情報技術への理解を深める (120分)	配布資料を読みまとめる (120分)
6	Society 5.0が描く情報社会の現在と未来を知る	③	福岡	講義	Society5.0について事前調査 (120分)	Society5.0を説明できるようにまとめる (120分)
7	医療分野における情報化の進展及び情報通信技術の活用	③	三品 森岡	講義	医療現場における情報システム、情報通信技術の活用について事前調査 (120分)	配布資料を読みまとめる (120分)
8	情報通信技術を活用したこれからの医療	② ③ ④	三品 森岡 佐々木	演習	レポート課題の内容検討 (120分)	Wordでレポートを作成する (120分)
9	医療における情報システムの活用とセキュリティ	③	福岡	講義	配布資料を読み情報技術への理解を深める (120分)	配布資料を読みまとめる (120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	医療におけるデータ活用と人工知能技術	③	福岡	演習	人工知能の仕組みについて調査(120分)	専門用語の意味を説明できるようにまとめる(120分)
11	情報通信技術を活用したマルチアクセス環境における文書作成(文書作成ソフトの利用)	④ ⑤	福岡	演習	レポートのアウトライン作成(120分)	レポートの修正・加筆(120分)
12	データの集計と分析(表計算ソフトの利用)	④ ⑤	福岡	演習	調査結果のまとめ方の事前検討(120分)	演習内容を実用できるように復習する(120分)
13	フォームによるデータ収集とテキストマイニング	④ ⑤	福岡	講義	調査課題の事前検討・アウトライン検討(120分)	講義内容を実用できるように復習する(120分)
14	情報通信技術を活用した協働作業によるプレゼンテーション作成(プレゼンテーションソフトの利用)	④ ⑤	福岡	演習	プレゼンテーションのアウトライン作成(120分)	プレゼンテーションの修正(120分)
15	情報社会への備えに関する調査報告	④	福岡	講義	調査報告の検討(120分)	調査報告の修正(120分)
	試験		福岡三品			
評価基準・評価方法						
<p>知識・理解は、授業中の対話状況、質疑応答等での評価と数回の小レポートで評価する。(30%) ② 情報手段の活用及び態度は、classroom利用状況、課題提出、成果物で評価する。(20%) ③ 思考・判断は、授業中の対話、レポートにおける論述における批判的思考に基づく論理展開の深さで評価する。(50%)</p>						
使用教科書						
なし						
参考図書						
情報科学基礎-コンピュータとネットワークの基本, 伊東俊彦, ムイスリ出版, 2015, ISBN978-4-89641-235-2 ワード・エクセル・パワーポイント 基本の使い方がぜんぶわかる本, スタンダーズ, 2021, ISBN978-4-86636-521-3						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	授業では資料配布, 課題提出・評価等はGoogle classroomを用いて実施し, 教師と学生, 学生相互のコミュニケーションに活用する。その内容はclassroom内で公開して共有する。					
備考	授業時間以外にもコミュニケーションのためにclassroomへのアクセスが必要となる。					

授業科目名		担当教員				
化学		武藤 吉徳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
化学は「物質」を理解することを目的とする。医療技術に関わる多くの装置や薬品、そして人体など全てのものが様々な物質で構成されているので、化学の知識は医療分野の基礎としても非常に重要である。この講義では、化学の基礎的な内容が無機化学、有機化学の全般に亘ってなるべくわかり易く解説するように努める。また、医療に関連する事項をできる限り多く取り上げて、専門科目への橋渡しとなるようにしたい。						
学修の到達目標						
①生体物質や医薬品を構成する元素や化学結合の特徴が理解できる。 ②主要な有機化合物について、その構造や性質を説明できる。 ③医療の場で出会う様々な物質、薬品について科学的特性を把握できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	物質の特性	①			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
2	原子と分子	①			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
3	化学結合	①			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
4	物質の三態・溶液とコロイド	① ③			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
5	塩化物	① ③			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
6	酸・アルカリ	① ③			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
7	無機化合物	① ③			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
8	放射性元素	① ③			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
9	有機化合物概要	②			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脂肪族炭化水素	②			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
11	酸素、窒素を含む有機化合物	②			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
12	カルボン酸、その他	②			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
13	芳香族化合物	②			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
14	脂環・複素環化合物	②			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
15	生体物質	①			教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
<p>評価基準：化学物質に関する知識・理解を重要視する。 評価方法：定期試験 (100%)</p>						
使用教科書						
<p>系統看護学講座基礎分野「化学」 / 奈良雅之.--第7版--医学書院, 2018年, 978-4-260-03181-3</p>						
参考図書						
<p>舟橋弥益男・渡辺昭次 著 「炭素化合物の世界」東京教学社</p>						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	<p>提出されたレポートにコメントをつけて返却する。</p>					
備考	<p>授業中に質問の時間を取るほか、質問紙による質問には、次回の授業時に回答する。</p>					

授業科目名		担当教員				
人間工学		山田 宏尚				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
人間が普段無意識に行っている身体運動や生命維持活動は、筋肉・骨格・内臓・血管など身体の各部位に働く力やモーメントをはじめとした物理学的メカニズムによって成立している。本講義では、医療行為の具体例に基づいて、身体活動の物理学的なメカニズムを学習する。						
学修の到達目標						
①人間の身体活動に関わる物理学の基礎を身につけることができる。 ②物理的根拠に基づく治療行為を実践するための基礎を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス・モーメントの定義と働き	①			指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
2	重いものを持つにはどうしたらよいか	①			指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
3	てこの原理と計算	① ②			指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
4	看護ボディメカニクスの物理	①			指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
5	看護の物理的重点事項	① ②			指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
6	身近な圧力(1)	①			指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
7	身近な圧力(2)	① ②			指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
8	呼吸器と吸引の物理	①			指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
9	チェストドレーンバックの原理	① ②			指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	点滴静脈内注射の物理（1）	①			指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
11	点滴静脈内注射の物理（2）	① ②			指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
12	循環器の物理	①			指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
13	血圧測定の物理	① ②			指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
14	感覚器の物理	① ②			指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
15	体温制御の物理，総復習	① ②			指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準：知識の修得度と計算能力（目標①）、応用的思考能力（目標②） ・評価方法：定期試験（70%）、小テスト・宿題・授業態度（30%）で評価する。 						
使用教科書						
看護学生のための物理学 / 佐藤和良.--第6版--医学書院，2022年，978-4-260-04685-5						
参考図書						
適宜紹介する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	提出された課題について全体の総評コメントを口頭にて公開する					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で小テストを実施し、随時課題を課す。 ・オフィスアワー：講義前後の時間に非常勤講師室で待機する。 ・質問：講義中やオフィスアワーに直接、それ以外にメール（yamada@gifu-u.ac.jp）で随時受け付ける。 					

授業科目名		担当教員				
環境と人間		大藪 千穂				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)		講義		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
資源・環境問題を解決し、持続可能な社会を構築することが、21世紀最大の課題である。しかし、そのためのアプローチの方法は、まだ、見出されていない。この講義では、環境問題は人間の問題であるとの観点に立ち、環境と人間の関係を、生活と情報によってむすびつけ、環境問題を根本的にとらえなおし、環境問題の解決法を考え、持続可能な社会を展望する。また、人間の成長・発達や脳疾患のリハビリ等に対して、環境が果たす重要な役割を考察する。						
学修の到達目標						
①受講者ひとりひとりが、自分で問題解決の手がかりを、考え、見出すことができる。 ②既存の考え方や方法にとらわれることなく、自分自身の考え方をもち、発展させることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	環境問題とは何か？	①			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
2	環境問題の原点、水俣病の問題を、生産、消費、環境から考える。	①			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
3	家庭生活から環境問題の本質を探る。	① ②			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
4	衣生活から環境を考える。	①			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
5	食生活から環境を考える。	①			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
6	簡易生ゴミ分解器を製作し、その活用法を考える。	①			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
7	河川環境と人間の関係を考える。	①			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
8	情報から環境と人間を考える。	① ②			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
9	人間形成に対する情報と環境の意味を考える。	① ②			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳障害者の発達、脳疾患のリハビリを、環境と情報の観点から捉えなおす。	②			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
11	環境教育のあり方を考える。	① ②			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
12	アーミッシュと現代社会を比較する。	① ②			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
13	近代のライフスタイルを再考する。	②			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
14	生態学の意味を考える。	① ②			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
15	環境と情報から、持続可能な社会を展望する。	②			授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
	定期試験（レポート）					
評価基準・評価方法						
評価基準は、知識・理解、思考・判断、授業態度の総合であるが、特に、各自のオリジナルな思考を重視する。評価方法は、レポート（50%）、小レポート・小テスト（30%）、授業態度等（20%）による。						
使用教科書						
21世紀の情報とライフスタイル / 杉原利治.--論創社、2001年、978-4-8460-0261-9						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	毎回の授業では、開始時に、先回の授業で提出された小レポート数編をプリント配布し、それぞれの論点を評価し、それらを生かして授業を展開する。					
備考	毎回の授業では、開始時に、先回の授業で提出された小レポート数編をプリント配布し、それぞれの論点を評価し、それらを生かして授業を展開する。					

授業科目名		担当教員				
社会学		伊原 亮司				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
この講義は、現代社会のあり方について学ぶ。なかでも、ほとんどの人にとって切実なテーマである「働くこと」に焦点をあてて、現代社会のあり方を理解する。わたしたちは、人生の早い段階から「働くこと」を意識させられ、その準備をするように煽られている。しかし、働く場の実態については無知なまま、耳に優しい言葉ばかりを聞かされる。本講義は、現代社会における労働の現実を理解し、自分たちの働き方を構想することを目的とする。医療関連の仕事に就く予定である受講者は、「就活」にはさほど困らないかもしれない。しかし、働き出してから、「いじめ」、「うつ病」、「過労死」といった様々な問題に直面する可能性がある。医療従事者は「感情労働者」ともいわれ、専門知識のみならず、コミュニケーションの仕方や感情の表出の仕方など、人格に関わる側面が重視される。感情労働に付随する問題点を理解し、「うつ病」や「過労死」から自分の身を守る術を習得して欲しい。						
学修の到達目標						
①現代社会における働く場の実態を理解できる ②その際に、いかなる視点から「現実」を切り取ればいいのか、分析枠組みを理解することができる ③自分自身で職場の実態を捉えられるようになる ④「働くこと」に対する自分のスタンスを考えることができる ⑤その際、狭義の「能力」の形成に励むだけでなく、自分の「身の守り方」にも留意することができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	イントロダクションー「働くこと」とは	②			テキストの「はじめに」と「おわりに」を読み、概要を理解する(120分)	講義を踏まえた上で、テキストの全体像をイメージする(120分)
2	従来の社会と働き方ー「日本的経営」と「企業社会」	① ②			テキストの第一章を読み、概要を理解する(120分)	第一章を読み直し、ドラッカーの経営思想を復習する(120分)
3	労働社会の変容ー学校、会社、家庭の関係	① ③			テキストの第一章から、現代社会の変容の概要を理解する(120分)	戦後日本の労働社会の変容を自らたどる(120分)
4	働く場の実態Ⅰー過労死・過労自殺	① ③			テキストの第四章を読み、概要を理解する(120分)	テキストの第四章から、過労死と過労自殺の違いを復習する(120分)
5	組織や役割への過剰適応	④			テキストの第四章から、組織への「過剰適応」について頭に入れる(120分)	逸脱と過剰適応との違いを復習する(120分)
6	働く場の実態Ⅱー「うつ病」	① ③			テキストの第三章を読み、概要を理解する(120分)	第三章を読み直し、精神疾患と労働との関係を復習する(120分)
7	感情労働の特質	④			テキストの第三章から、「感情労働」の特徴をつかむ(120分)	肉体労働、知的労働との違いを理解する(120分)
8	働く場の実態Ⅲー「ハラスメント」	① ③			テキストの第二章を読み、概要を理解する(120分)	日産の事例を追いながら、いじめとハラスメントとの違いを理解する(120分)
9	経営合理化と過度のプレッシャー	④			テキストの第二章から、相互扶助と相互監視のメカニズムを理解する(120分)	職場における過度のプレッシャーが生じる理由を考える(120分)。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	働く場の実態Ⅳ－職場秩序の悪化	① ③			職場秩序の悪化のメカニズムについて、概要を理解する (120分)	現在の職場における「秩序」の崩壊理由を整理する (120分)
11	非正規雇用の増大	① ③			雇用規制の緩和と非正規雇用の増大の実態について理解する (120分)	非正規雇用が増大した契機・時期・理由を整理する (120分)
12	新しい働き方とは	① ④			テキストの第六章を読み、概要を理解する (120分)	「日本的経営」から新自由主義に基づく経営への推移を整理する (120分)
13	社会貢献という働き方	① ④			テキストの第七章を読み、概要を理解する (120分)	「社会貢献」の問題点について整理する (120分)
14	働くということを考え直す	④ ⑤			テキストの第七章を読み、<働く>ということを考え直す (120分)	賃労働とは何かを考え直す (120分)
15	労働を規制する、勤勉さを相対化する	④ ⑤			テキストの第八章を読み、概要を理解する (120分)	講義を踏まえた上で、自らの働き方を構想する (120分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業への参加態度 (20%)、レポート (20%)、テスト (60%) などから総合的に評価。						
使用教科書						
私たちはどのように働かされるのか / 伊原亮司. --こぶし書房, 978-4-87559-299-0						
参考図書						
講義中に適宜紹介する。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバックの方法	講義前に、予習時にわからなかったことを聞く。また、講義の最後に、理解が不十分な点を意見してもらおう。					
備考						

授業科目名		担当教員				
人間関係論		神戸 博一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
この講義では、日常生活や職場、家族、医療の現場などで起こる様々な人間関係について理解し、より良い人間関係を築くために学びます。まず人間関係の基本的な意義・視点から、職場での人間関係論、生涯にわたる人間発達と人間関係、更に人間関係を構成する自己と他者、人間関係の成立と維持、対立について学びます。次いで人間関係を円滑に進めるために、コミュニケーションの基礎・基本、マスコミ、インターネットとその諸問題なども学びます。なお、人間関係は、Human Relationなので、授業計画の中で、HRと略して使います。						
学修の到達目標						
テキストの内容について、学生自身が考え、充分に理解し、そこから実践できるレベルを目標とします。						
①人間関係の意義・視点について考えることができる。		⑥人間関係が成立し、維持するルール、葛藤・対立への対処法を学び、実践できる。				
②職場の人間関係と対処法について理解できる。		⑦コミュニケーションの基礎、基本が理解できる。				
③生涯の人間発達と人間関係について知り、応用できる。		⑧コミュニケーションの種類、その長短が理解できる。				
④人間関係の一方である自己が理解できる。		⑨マスコミの基本、影響について理解できる。				
⑤人間関係の他方である他者が理解できる		⑩インターネットと人間関係の問題について知る。				
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	シラバス(成績評価の試験、学習対策、成績評価の基準など) 第1章人間関係の中の自己と他者 A人間関係論とは	①			シラバス、①関係的存在としての人間、生理的早産について(120分)	身近なHRでは何があるか、生理的早産の意味とは何か(120分)
2	野生児について	①			フランスやインドの野生児と社会、HR(120分)	野生児の定義、特殊な「実験」の意味とその結果は(120分)
3	メーヨーのホーソン実験	②			②人間関係論のはじまりで、ホーソン実験の概要とインフォーマルグループ論について(120分)	ホーソン実験のポイント、その結論とインフォーマドコンセントとの関係(120分)
4	人間関係の発達 - エリクソンの理論	③			③人間関係の発達で、その段階と課題、HRを理解する(120分)	特に、乳児期、青年期、老年期について、子どもの虐待をデータからみる(120分)
5	B自己認知 - 自己概念	④			①自己概念で、文化による相違 ②関係的自己とは(120分)	鏡に映った自己とは西欧的自己と日本的自己との対比・比較(120分)
6	自己認知 = 自己評価	④			③自己評価で、他者との比較の仕方 ④自己呈示の意味や目的、内面化(120分)	下方比較、上方比較の相違について(120分)
7	C 対人認知 - 印象形成、バイアス	⑤			①印象形成で、断片の情報と全体像との関係 ②バイアス、偏見について(120分)	ステレオタイプの具体例を挙げる 予言の自己成就とは(120分)
8	第2章 対人関係と役割 - A 対人関係の成立	⑥			他者との関係が成立する魅力や好意の条件は6つあり、その内容を理解する(120分)	カメレオン効果、単純接触効果、錯誤帰属とは(120分)
9	B 対人関係の維持	⑥			①社会的交換で、対人関係を維持する条件の4つ ②私的利益と公的利益のジレンマ(120分)	社会的交換の4つのモデルのうち、どれが良いと考えるか 囚人のジレンマ(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	C 対人関係の葛藤と対処	⑥			①葛藤の分類で、その3つの水準 ②認知のバイアス ③不合理な思考 ④対処の方法 (120分)	原因帰属のバイアスとHR、葛藤への対処法と有効性、燃え尽き症候群 (120分)
11	第5章 A コミュニケーション - 基本	⑦			①コミュニケーションの定義 ②コミュニケーションの目標 (120分)	コミュニケーションのモデルとは (120分)
12	B 対人コミュニケーション	⑦			①コミュニケーションの機能 ②コミュニケーションのチャネル (120分)	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの特徴と種類 (120分)
13	コミュニケーションの種類 - メリット・デメリット	⑧			③口頭と書面の相違 ④コンテキストと文化 (120分)	高コンテキストと低コンテキストの比較、医療のコンテキスト (120分)
14	C マスコミュニケーション - 影響・効果	⑨			①映像メディアと活字メディア ②マスメディアの効果 (120分)	マスメディアの効果についての研究の変化 (120分)
15	D ICTの発達とコミュニケーション	⑩			①インターネットや ②SNSの利用状況、注意点 ③人間関係への影響 (120分)	SNSを利用するさいの注意点、最近の社会問題について (120分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
持ち込み物なしの筆記試験 (100%) 学んだことの理解、記憶、表現力などが評価されます。ただし、新学期の社会環境 (コロナ) によっては、オンライン授業 (資料配付) に切り替え、提出課題の点数化による評価に変えます。						
使用教科書						
系統看護学講座基礎分野 人間関係論 / 石川ひろの 他.--第3版--医学書院, 2018年, 978-4-260-03170-7						
参考図書						
特に指摘しない。教科書の章ごとに、その最後に「参考文献」一覧が提示されているので、必要に応じ、利用する。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバックの方法	講義がある程度進展した段階で小テスト (10分ぐらい) を予告し、実施します。この小テストは、持ち込みなしで実施し、次回以降の授業で小テストの答案を返却します。解答の状況、正解や解答のポイントなどについてコメント、解説します。オンライン授業になった場合は、メールでやり取りします。jiemon13@outlook.jp					
備考	教科書『系統看護学講座 基礎分野 人間関係論』(石川ひろの編) を利用し、特にその第1章と第2章、第5章を学びます。授業の前後の時間帯に非常勤講師室を訪問することをお勧めします。1年後期「コミュニケーション学」がありますが、本講義と内容的なかかわりが強く、「事前学習」と位置付けられるでしょう。					

授業科目名		担当教員				
教育学		益川 優子				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義は、人間が生き、成長・発達していく上で教育がどのような意義を持ち、社会においてどのような役割を果たすのかについて考察していきます。また、教育をとりまく現代の諸問題を多面的に捉えつつ、教育という営みの現代的意義についても考察していきます。						
学修の到達目標						
①教育の概念と機能、その役割について説明できる。 ②人間の生涯発達理論について説明できる。 ③他者とのかかわりを導く技法を使うことができる。 ④現代の教育と教育を取り巻く諸問題について自分の考えを持つことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	教育の概念	①			自身の持つ「教育」という言葉に関するイメージをノートに列挙してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
2	学ぶということ・教えるということ	①			第1回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
3	生涯発達理論①乳児期～幼児期	②			第2回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
4	生涯発達理論②児童期～青年期	②			第3回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
5	生涯発達理論③成人期～老年期	②			第4回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
6	教育の営みと教育を取り巻く諸問題	① ④			第5回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
7	他者とのかかわり	③			第6回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
8	他者とのかかわりを導く技法	③			第7回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
9	教育の目標と評価	①			第8回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	教育のデザイン	①			第9回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
11	キャリア教育	④			第10回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
12	ジェンダーとセクシュアリティ	④			第11回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
13	特別ニーズ教育・インクルーシブ教育	④			第12回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
14	生涯教育	④			第13回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
15	シティズンシップ教育	④			第14回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
	定期試験(レポート)					
評価基準・評価方法						
受講態度30%、レポート70%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介いたします。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	※定期試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。					
備考	質問等ございましたら授業終了後、気軽に声をかけてください。					

授業科目名		担当教員				
心理学		大井 修三				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
心理学を正しく理解していると、人と人が関わる場所では、相手の理解に強力な武器となる。なぜなら、①心理学は他者理解の学問だからである。医療従事者と患者さん、医療従事者同士、日常の人間関係など。しかし、「心理学」という言葉は知っていても、心理学を正しく理解している人はなかなかいない。それは、心理学をきちんと勉強した人がなかなかいないということである(授業1)。そこで本授業では、相手の心を理解するということはどういうことか(授業2, 3, 4, 5, 6, 7)、③一人一人違うということはどういうことか(授業8, 9, 10, 11)、④相手に目的に向かって動いてもらうということはどういうことか(授業12, 13, 14, 15)の3点を中心に、医療現場で他者との関係をうまく成立させることに役に立つ心理学の話をする。なるべく日常の状況に合わせた事例を紹介しながら、他者理解に必要な視点を育む。						
学修の到達目標						
これらの授業を通して、①相手の「心」を直接把握することができないこと、②相手の「心」は推測でしか扱えないこと、③同じ状況でも人によって違う心が推測されうること、④自分の心を相手にわかってもらうためには推測し易い情報を提供しなければならないこと、その上で相手との人間関係を考えなければいけないことを理解して、人間関係に活用することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	イントロダクション:「行動」を説明する「心」:授業の概要、評価の方法	①			テキストのイントロダクションを読み、PPW資料の該当部分を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
2	「心」を知る方法:直接覗くことはできない「心」	①			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
3	「心」を知る方法:「行動」から「心」を推測する	②			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
4	「心」を知る方法:「心」の推測には行動と刺激の情報が必要	②			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
5	「相手の心」は私の中に出来上がる:相手の「心」は主観的解釈	②			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
6	我々の理解とは?:現象の主観的な理解	②			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
7	科学的学問としての心理学:主観性と客観性	②			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
8	心理学の中心テーマ:個人差	③			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
9	個人差を規定する要因1:遺伝	③			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	個人差を規定する要因2：環境	③			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
11	個人差を規定する要因3：遺伝と環境の相互作用	③			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
12	要求・動因・行動とフロイト理論	④			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
13	行動を出現させるもの：動因と誘因	④			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
14	動機づけの機能	④			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
15	要求の生得性と習得性	④			前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
評価は、毎回授業で紹介される内容を理解し、自らの身近な事象に利用できるようになっているかで見ると同時に試験結果（90%）、毎回の授業で提出するコミュニケーションカード（10%）である。						
使用教科書						
教科書は特に用いない。 (授業に必要な資料は、授業開始時及び時間中に配付する。)						
参考図書						
適宜、紹介する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	毎回の授業の終わりにコミュニケーションカードを提出してもらおう。ここには授業内容のまとめと同時に授業中に解決できなかった質問も書いてよい。その質問には、翌授業回で解説する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
生命倫理学		塚田 敬義・熊田 ますみ (代表教員 塚田 敬義)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 前学期	2単位(30時間)	講義 小グループ			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)の達成に寄与している。		出口 睦雄(看護師)				
授業概要						
<p>バイオエシックス(生命倫理学)の基礎的な事項を学習する。現代の医療においては医師だけではなく、多くの医療に関係する職種が協力し、チーム医療を担っている。それぞれの職種に高い倫理観が求められている。本講義では、バイオエシックスに係る歴史的背景から最新の問題群にいたるまで、デジタル教材を活用しながら講義形式で分かり易く解説するとともに医療の現場を想定した事項のグループワークを行う。</p>						
学修の到達目標						
<p>医療専門職に不可欠な倫理観を身につけるため、バイオエシックスに係る問題群について、倫理的・法的・社会的問題として捉え、思考し行動に移せる能力を修得する。</p> <p>①バイオエシックスの歴史的背景等から、人間の尊厳の尊さを理解し、説明することができる。</p> <p>②講義の各論から、問題の本質を見極め、立場の違いを理解したうえで、解決に向けた多角的な思考ができる。</p> <p>③医療の現場を想定したグループワークを通じて、患者、家族、看護師のそれぞれの立場から倫理的な思考ができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	バイオエシックス総論①(ガイダンス、基礎概念、歴史的背景WWII以前)	①	塚田	講義	指定教科書の該当ページに目を通す(120分)	各回の授業後にその内容を説明できるようまとめる(120分)
2	バイオエシックス総論②(歴史的背景WWII以後)	①	塚田	講義	指定教科書の該当ページに目を通す(120分)	各回の授業後にその内容を説明できるようまとめる(120分)
3	自己決定と人間の尊厳(インフォームド・コンセント)①	②	塚田	講義	指定教科書の該当ページに目を通す(120分)	各回の授業後にその内容を説明できるようまとめる(120分)
4	自己決定と人間の尊厳(インフォームド・コンセント)②	②	塚田	講義	指定教科書の該当ページに目を通す(120分)	各回の授業後にその内容を説明できるようまとめる(120分)
5	生殖補助医療の問題(人工授精、体外受精、代理母)	②	塚田	講義	指定教科書の該当ページに目を通す(120分)	各回の授業後にその内容を説明できるようまとめる(120分)
6	脳死・臓器移植をめぐる問題(脳死の定義、臓器移植法、移植システム)	①	塚田	講義	指定教科書の該当ページに目を通す(120分)	各回の授業後にその内容を説明できるようまとめる(120分)
7	医療の現場で人と関わる職についての倫理	③	出口	講義	指定教科書の該当ページに目を通す(120分)	現代医療における様々な倫理的問題をまとめる(120分)
8	医療の現場で人と関わる職についての倫理的問題を考える GW①	③	出口	演習	事例を読み込み症例検討シート毎の内容についてまとめる(120分)	臨床倫理アプローチ(四分割表)について振り返る(120分)
9	医療の現場で人と関わる職について倫理的問題	③	出口	演習	事例を読み込み症例検討シート毎の内容についてまとめる(120分)	臨床倫理アプローチ(四分割表)について振り返る(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	医療・看護に関わる倫理問題	③	出口	講義	生命倫理の4原則をまとめる (120分)	授業後にその内容が説明できるようにまとめる (120分)
11	医療・看護に関わる倫理問題を考えるGW①	③	出口	演習	事例を読み込み症例検討シート毎の内容についてまとめる (120分)	授業後にその内容が説明できるようにまとめる (120分)
12	医療・看護に関わる倫理問題を考えるGW②	③	出口	演習	事例を読み込み症例検討シート毎の内容についてまとめる (120分)	授業後にその内容が説明できるようにまとめる (120分)
13	医療・看護に関わる倫理問題を考えるGW③	③	出口	演習	事例を読み込み症例検討シート毎の内容についてまとめる (120分)	課題レポートを作成し提出する (120分)
14	終末期をめぐる問題 (尊厳死、安楽死、治療中止、鎮静、緩和医療)	②	塚田	講義	指定教科書の該当ページに目を通す (120分)	各回の授業後にその内容を説明できるようにまとめる (120分)
15	広義のバイオエシックス (動物倫理、環境倫理) と研究をめぐる倫理	①	塚田	講義	指定教科書の該当ページに目を通す (120分)	各回の授業後にその内容を説明できるようにまとめる (120分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
定期試験 (60%)、グループワークでの参加度と発表 (40%) を参考に総合的に評価する。						
使用教科書						
第3版 生命倫理・医事法 / 塚田敬義ほか、--改訂版--医療科学社, 2022年, 978-4-86003-133-6 事例で学ぶ ケアの倫理 / 大北全俊・桑原英之・高橋綾、--ナーシング・サプリー編集委員会--メディカ出版, 2015年, 978-4-8404-5755-2						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバックの方法	実施する定期試験およびミニレポートについては、総評を掲示する。					
備考	適宜、補足資料を配布し、理解が深まるよう講義する。 特段、オフィスアワーは設けませんが、講義終了後に質問等について対応する (この時間を活用してください)。					

授業科目名		担当教員				
基礎演習		松野 ゆかり・古田 弥生				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)		講義		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマ・ポリシー(1) 看護ディプロマ・ポリシーの達成に寄与している。		松野ゆかり(看護師) 古田弥生(看護師)				
授業概要						
これまでの学びとは違い、大学で主体的に学ぶためのスタディスキルの習得やソーシャルスキルを磨く。また、専門職として生涯学び続けるために必要なプロフェッショナルスキルを身につけていく。						
学修の到達目標						
①大学で主体的に学ぶ必要性を述べることができる。 ②大学での学び方について理解し実践できる。 ③日々の授業での学習および、授業時間外学習の必要性について理解し、実践することができる。 ④グループワークを通して、「聞く力」「話す力」「伝え合う力」を養い、実践することができる。 ⑤卒業を目指しながら3年間の目標と課題を表現し、将来の自分の姿をイメージすることができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	看護学の学び方ー看護学生として大学で学ぶということ	① ② ⑤	松野 古田	講義 演習	高校までとは何が違うのか、教科書を読み考えをまとめる(120分)	看護学生として3年間どのように学んでいきたいかレポートにまとめる(120分)
2	看護学の学び方ーコミュニケーションスキル	② ④	松野 古田	講義 演習	コミュニケーションについて調べる(120分)	自己のコミュニケーションについて振り返る(120分)
3	看護学の学び方ースタディスキル① 学習に必要な資料等検索方法	② ③ ④	松野 古田	講義 演習	教科書の該当内容を読み疑問点などをあげる(120分)	検索資料を基に課題に取り組む(120分)
4	看護学の学び方ースタディスキル② 授業の受け方	② ③ ④	松野 古田	講義 演習	効果的な授業の受け方について調べまとめる(120分)	グループワークの意見を参考にし授業の受け方をレポートにまとめる(120分)
5	看護学の学び方ースタディスキル③ ノートの取り方	② ③ ④	松野 古田	講義 演習	効果的なノートの取り方について調べまとめる(120分)	グループワークの意見を参考にしノートの取り方をレポートにまとめる(120分)
6	看護学の学び方ースタディスキル④ プレゼンテーション	② ③ ④	松野 古田	講義 演習	プレゼンテーション資料作成(120分)	効果的な自己の学習方法についてレポートにまとめる(120分)
7	看護学の学び方ー看護師国家試験とはどのようなものか	⑤	松野 古田	講義 演習	資料を読み理解する(120分)	国家試験に向けての取り組みをレポートにまとめる(120分)
8	看護学の学び方ー実習での学び方	②	松野 古田	講義 演習	資料を読み理解する(120分)	実習への取り組みについて(120分)
	評価(レポート)					

評価基準・評価方法	
受講態度 (40%) 課題・レポート (60%)	
使用教科書	
看護学生のためのよくわかる大学での学び方 / 前原澄子 他監修. --2020年5月 刊行--金芳堂, 978-4-7653-1768-9	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	質問等は適宜受け付け、随時個人または全体へフィードバックします。
備考	課題等は随時提示していきます。

授業科目名		担当教員				
文章表現法		遠藤 明日香				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)の達成に寄与している。						
授業概要						
将来、医療や介護等の世界で働く者にとっては、患者やスタッフ等とのコミュニケーション力や文章作成力がきわめて大切なものになってくる。そこでこの講義では、自らの国語力を知り基礎学力を高めるために文章表現の基礎を学び、手紙文・公用文・作文・論説文・レポートなどの書き方を学ぶ。						
学修の到達目標						
①豊かな国語力を身につけ、場面や状況に応じた適切なコミュニケーションを理解できる。 ②自分の意見や考えを的確な文章にして表現することができる。文章作成や自分の意見や考えを表現することへの苦手意識をなくす。 ③専門科目で求められるレポートや、社会人・職業人に必要な種々の文章を作成するための基礎を理解することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	講義の内容と方法についての説明。講座の動機づけ。ことばの機能に関する概説。文章表現の基礎知識～原稿用紙の使い方	①			シラバスと教科書に目を通し、授業の意図・内容を理解しておく。(60分)	「言葉」の大切さを自分の経験から導き、認識する(100分)
2	文章を書く時の注意点～悪文の種類とその直し方 文章を書く時の注意点～間違った言葉遣い、表現 プリント配布、200字までの文章作成をする	① ②			教科書の該当ページに目を通し、設問を解いて来る。(60分)	授業内容を復習する。(100分)
3	レポート・小論文の様式～頭書き・本文・注記・文献の引用、用語と文体～話し言葉と書き言葉、常体と敬体、など	② ③			教科書の該当ページに目を通し、設問を解いて来る。(60分)	授業内容を復習する。(100分)
4	論理的な文章構成～帰納法と演繹法、頭括法と尾括法、三段構成と四段構成など	② ③			教科書の該当ページに目を通し、設問を解いて来る。(60分)	授業内容を復習する。(100分)
5	敬語の基礎～敬語の種類と用法 敬語使用上の注意点～相手との関係性と場面性 敬語の小テスト	①			教科書の該当ページに目を通し、設問を解いておく。(60分)	授業内容を復習する。(100分)
6	手紙の種類と様式～頭語と結語、前文・本文・末文など 手紙文の作成～礼状・挨拶状を書く	① ③			教科書の該当ページに目を通し、設問を解いておく。(60分)	授業内容を復習する。(100分)
7	公用文の種類と様式～案内状・会議録など 就職関係文書の書き方～履歴書・エントリーシートなど	① ③			教科書の該当ページに目を通し、設問を解いておく。(60分)	授業内容を復習する。(100分)
8	テーマ「どこの科の看護師になりたいか」小論文の作成(授業全体の総括として・就活における筆記試験対策となる)	① ② ③			課題テーマの資料・データを収集し、文章構成を考えて来る。(140分)	小論文を書き上げ、推敲する。(180分)
	筆記試験					

評価基準・評価方法	
小テスト（学習態度と基礎学力を評価）20% 提出課題小論文（学習意欲と文章表現力を評価）20% 定期試験（総合的な国語力と文章作成力を評価）60%	
使用教科書	
日本語表現法-2 1世紀を生きる社会人のたしなみ 改訂第2版 / 庄司達也ほか、--翰林書房、2019年、978-4-87737-450-1	
参考図書	
必要に応じて講義中に紹介する。別途プリント配布（敬語・担当講師作のプリント）	
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	小テストは真面目に取り組んだか否か、を評価して返却（オンライン授業の場合は何回か分をまとめて正解プリントを配布）。理解度を計りたい。作文・レポート課題については問題点をいくつか整理して、文章作成の勘所を教示する。
備考	教科書には提出用の原稿用紙が綴じ込まれているので忘れずに持ってくる。別途、プリント配布（敬語等・担当講師作のプリント）もあります。質問は随時受け付けますが、学習相談などは授業時間前後に対応します。気軽に声をかけてください。

授業科目名		担当教員				
コミュニケーション学		近藤 ひろえ				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		近藤ひろえ(人材育成研修講師)自治体・企業・大学など含めコンサルタントに年間、100件以上の研修を行う。日本認知療法学会正会員、産業カウンセラー、キャリア・コンサルタント、メンタルヘルスマネジメント検定、心理相談専門員、NLPプラクティショナー資格、など資格多数				
授業概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの重要性を理解する。 ・自分自身のコミュニケーションのスキルについて深く振り返り、医療現場において、患者さん・医療スタッフとの間でよりよい人間関係を構築するための具体的なコミュニケーション能力を身につける。 ・グループディスカッション、ペアワークなど体験、実践を中心とした講義を行う。 						
学修の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ①非言語コミュニケーションの重要性を理解し、実践できる ②年代が違う人への挨拶、返事など、日常的なコミュニケーションができる ③自分の気持ち・考えなどを明確に相手に伝えることができる ④相手の言葉の背景にある気持ちや考えを想像しコミュニケーションすることができる ⑤医療現場におけるコミュニケーションの重要性と求められているスキルを学ぶ 						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	・この授業の目的・到達目標について知る ・コミュニケーションの重要性とトレーニング方法について学ぶ	① ② ③ ④ ⑤				授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
2	・信頼関係の重要性を学び、信頼関係を築くスキルを学ぶ	① ② ③ ④ ⑤			自分の反応するスキルについて振り返る(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
3	・相手の本当に伝えたいことを受けとめるための聴き方について学ぶ	② ④ ⑤			自分は普段どのような聴き方をしているか考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
4	コミュニケーションに欠かせない他者への興味・関心力の重要性を知り、興味・関心を示すことができるような質問力について学ぶ	① ② ③ ④ ⑤			初対面の人と会話するときに困っていることを考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
5	・コミュニケーションスキルを知っていてもなぜ使えないのか、その仕組みについて学ぶ ・相手の気持ちを受けとめるための柔軟な考え方にする方法を学ぶ	② ④ ⑤			日常生活でどんなつぶやきをしているかをまとめる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
6	・自分自身への思い込みの影響力を学ぶ ・否定的な自己イメージを変える方法を学ぶ	③ ④ ⑤			どうしてそのつぶやきをするのか、その背景あるものを考えてみる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
7	なぜミスコミュニケーションが起こるのか、仕組みを学ぶ。どのように説明することが必要かを学ぶ	③			自分の伝えるスキルで改善したいところを考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
8	前回の授業の続きとして、具体的な伝え方のスキルを体験しながら学ぶ	③			学科の説明を1分間にまとめて発表できるようにする(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
9	前回の授業の続きとして、実際に説明する場面を想定してロールプレイングをする。自分の良い点や今後の課題を見つける ・緊張しないためのトレーニング方法を学ぶ	③			プレゼンの練習をしていく(60分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	・自分の気持ちを伝える、相手に言いにくいことを伝える時の表現方法を学ぶ	③ ⑤			言いにくいことを相手に伝える場合、自分はどういうような伝え方をしているか考える (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
11	・医療スタッフとして知っておかなければならない、敬語・クッション言葉などの接遇用語を学ぶ	② ③ ④ ⑤			敬語・接遇表現で知りたいことを考える (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
12	・医療現場でのコミュニケーションの重要性を学ぶ ・医療スタッフと患者さんとのギャップについて学ぶ	① ② ③ ④ ⑤			医療現場でのコミュニケーションの重要瀬について考える (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
13	・チームワークとは何かを学び、良いチームワークを発揮するためのマインド、スキルを学ぶ	① ② ③ ④ ⑤			チームでコミュニケーションを取る時に自分が何をしているか振り返る (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
14	医療場面のケーススタディを考えることで今まで学んできたことの復習をする	① ② ③ ④ ⑤			今までの授業を振り返って、質問したいことを考える (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
15	医療場面のケーススタディを考えることで今まで学んできたことの復習をする	① ② ③ ④ ⑤			今までの授業を振り返って、質問したいことを考える (30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する (30分)
	定期試験 無し					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 (授業への関わり方) 60% ・レポートの内容 (複数回レポート提出) 40% 						
使用教科書						
コミュニケーション学 ワークブック 2023年版 / 近藤ひろえ. --非売品,						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進行に伴って、その都度紹介する。 ・適宜、教材として使用するプリントなども配付する。 						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバックの方法	・コメント、口頭でフィードバック					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のコミュニケーションの問題・悩みなどなんでもいいので課題をもって授業に臨んでください。 ・Eメールアドレスは、初回講義時間内にお知らせします。 					

授業科目名		担当教員				
英語 I (教養英語)		ミロボト セイト モハマト				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
この科目は話すおよび書くことの発信力強化を目的とした科目です。今の大学生に求められる、さまざまな情報を収集し、それらを伝える力、そして自分の考えを述べる力を高めるよう構成されています。扱っている話題は、スマートフォンやアルバイト、理想のパートナーやSNS投稿、ボランティア活動、食や睡眠といった、大学生の皆さんにとって身近なものになっています。楽しみながら、積極的にクラスメイトと意見交換をして、英語での発信力を高めていってください。						
学修の到達目標						
①日常の色々な場面でよく使われる決まった言い方に慣れ、一般的な質問の仕方とその答え方を身に付ける。 ②英文雑誌記事や新聞の記事、またメールの英文に触れ、日常の話題とその英語に触れて会話力を高める。 ③英文メールに慣れ、自分でもメール文を書ける自信をつける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	・Where are you from? [Subject-Verb Agreement] (主語と動詞の一致)	① ②				その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
2	・How are you doing? [Be Verbs & Do Verbs] (Be動詞と一般動詞)	② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
3	・How many classes do you have? [Countable Nouns] (数えられる名詞)	② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
4	・Review ① (Units 1-3) (ユニット1-3の復習)	② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
5	・How much food do you need for your party? [Uncountable Nouns] (数えられない名詞)	① ② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
6	・How many people are there in your family? [There is/ There are /It is/ They are] (「ある」「いる」の表現と It is /They areとの違い)	① ② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
7	・When is your report due? [Cardinal & Ordinal Numbers] (基数, 序数)	① ② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
8	・Review ② (Units 4-6) (ユニット4-6の復習)	② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
9	・How was your weekend? [Past Tense] (過去形)	① ② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	・What time is your first class? [Time] (時間の表現)	① ② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
11	・Have you ever been to Kyoto? [Present Perfect] (現在完了形)	① ② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
12	・Review ③ (Units 7-9) (ユニット7-9の復習)	① ② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
13	・Can I ask you a favor? [Auxiliary Verbs] (助動詞)	① ② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
14	・I'm going to visit my grandparents. [Future Tense] (未来形)	① ② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
15	・I'm on the train. [Prepositions] (前置詞)	① ② ③			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
予習復習、宿題をきちんと行い、私語なく受講し、暗唱英文等の小テストを受ける授業参加度(40%)と、定期試験の結果(60%)で評価する。						
使用教科書						
Project English (アクティブに学ぶ英語コミュニケーション) / Vivian Morooka, 足立綾.--南雲堂, 9784523179368						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法						
備考		使える英語力の育成 具体的な英語の使用場面を意識しながら、inputからoutputへと進むバランスの良い活動を通して、自然な流れで英語運用能力を身につけることができる内容・構成になっています。				

授業科目名		担当教員				
英語Ⅱ（日常英会話）A		ジヤリ マルジャン				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
この科目は話すおよび書くことの発信力強化を目的とした科目です。今の大学生に求められる、さまざまな情報を収集し、それらを伝える力、そして自分の考えを述べる力を高めるよう構成されています。扱っている話題は、スマートフォンやアルバイト、理想のパートナーやSNS投稿、ボランティア活動、食や睡眠といった、大学生の皆さんにとって身近なものになっています。楽しみながら、積極的にクラスメイトと意見交換をして、英語での発信力を高めていってください。						
学修の到達目標						
①初級の基本的な日常の英語を聞いて、一定程度聞き取りができる。 ②日常の色々な場面でよく使われる決まった言い方に慣れ、一般的な質問の仕方とその答え方について学ぶ。また、Dialogue（対話）を読んだり、聞いたりして、理解できる。 ③テキストの対話文をペアで練習し、自分で積極的に発話する態度を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	Introduction Unit, Self-check, Useful Expressions	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
2	On the plane,……please, ～をお願いします、～をください。	① ② ③			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
3	At the currency Exchange I'd like to …… . ～したいのですが	① ② ③			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
4	At the Hotel 1 Could you …… ? ～していただけますか?	① ② ③			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
5	At the Hotel 2 Is / Are there ? ～ ありますか ?	① ② ③			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
6	On the Train / Bus Does this …… ? これは～しますか?	① ② ③			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
7	Sightseeing 1 Where is / are …… ? ～はどこですか	① ② ③			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
8	Review 1, Units 1-6 の復習	① ② ③			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
9	Shopping 1 May I ……? ～してもいいですか、～できますか	① ② ③			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Shopping 2 I'm looking for …… . ～を探しているのですか	① ② ③			教科書を読んで 内容を理解し声に出してよんでくること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
11	At the post office How much is / are …… ? ～はいくらですか	① ② ③			教科書を読んで 内容を理解し声に出してよんでくること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
12	Sightseeing 2 Do you have …… ? ～ はありますか	① ② ③			教科書を読んで 内容を理解し声に出してよんでくること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
13	At the Restaurant Could I have …… ? ～をもらえますか	① ② ③			教科書を読んで 内容を理解し声に出してよんでくること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
14	At the Hospital / Pharmacy I have …… . ～ (症状) です、～があります	① ② ③			教科書を読んで 内容を理解し声に出してよんでくること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
15	Review 2, Units 7-12 の復習	① ② ③			教科書を読んで 内容を理解し声に出してよんでくること (30分)	学習したことを復習し、会話練習をする (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
予習復習、宿題をきちんと行い、私語なく受講し、暗唱英文等の小テストを受ける授業参加度 (50%) と、定期試験の結果 (50%) で評価する。						
使用教科書						
My First Trip, Key Phrases for Traveling Abroad / センゲージラーニング株式会社, 978-4-86312-242-0						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバックの方法						
備考		本科目で沢山のフレーズを使いこなし、さまざまな場面において、自信を持って適切に話せるようになることを目的としています。各Unitにおいて8つのアクティビティで構成されています。前半では、ひとつの基本フレーズを学習し、そのフレーズを使ってペアワークを中心に会話の練習を行います。後半では、さまざまな話題に関して文章を読めると便利な内容や聞き取りなどの実践的なリーディングとリスニングのアクティビティに取り組みます。				

授業科目名		担当教員				
英語Ⅱ（日常英会話）B		ミロボト セイト モハマト				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では、英語によるコミュニケーション能力を総合的に向上させることをねらいとする。その際、英語の伝達的な機能のみにとどまらず、文化・社会とのかかわりについても考慮する。毎回さまざまな言語活動を行い、英語の持つ多様な機能や働きを考えることも目的の一つとする。						
学修の到達目標						
①英語の受信能力（リーディング・ライティング）だけではなく、発信能力（リスニング・スピーキング）を高める。 ②英語の伝達的な機能のみにではなく、英語と文化・社会とのかかわりなどへの理解を高め、多様な情報を様々な方向から理解・解釈する力の育成を目指す。授業終了時には英語の受信能力及び発信能力が向上し、実践することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	Week 1: Giving Directions and Helping Target: 道案内で使える英語表現	① ②				学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
2	Week 2: Talking about Yourself Target: 自己紹介で使える英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
3	Week 3: Host Family Target: 留学生などを迎える時に使える英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
4	Week 4: Commuting by Train Target: 電車の乗換説明に使える英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
5	Week 5: Taking Classes Target: 物事の描写に使える英語表現 (1)	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
6	Week 6: Talking with a Teacher Target: 褒める時に使える英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
7	Week 7: Finding Friends Target: 自分の趣味や好みを伝える英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
8	Week 8: Potluck Target: パーティーなどの集まりで使える英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
9	Week 9: Sumo Target: 物事の描写に使える英語表現 (2)	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Week 10: Four Seasons Target: 好きな季節の説明に使える英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
11	Week 11: Green Tea Target: 物事の描写に使える英語表現 (3)	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
12	Week 12: Japanese Food Target: 料理の説明に使える英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
13	Week 13: Part-time Jobs Target: アルバイト先で使える英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
14	Week 14: Shopping at a Clothing Shop Target: 買い物で使える英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
15	Week 15: Asakusa Target: オススメの場所を紹介する英語表現	① ②			教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(60分)
	試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業参加態度・小テスト・・・40%, 理解度判定・・・60%						
使用教科書						
Welcome To Nippon, Buiding International Friendship / 朝日出版社, 978-4-255-15613-2						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法						
備考		<p>ー使える英語力の育成 具体的な英語の使用場面を意識しながら、inputからoutputへと進むバランスの良い活動を通して、自然な流れで英語運用能力を身につけることができる内容・構成になっています。皆さんの英語力とテキストの難易度をすり合わせ、無理のない進み方で行います。</p>				

授業科目名		担当教員				
英語Ⅲ（専門英語）		ミルボト セイト モハマト				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では、ホスピタル・イングリッシュによるコミュニケーション能力を総合的に向上させることをねらいとする。発音や聞き取りの練習により、スピーキングやリスニングの能力を育成する。「読む」「聞く」「話す」という3つの技能を育て、英語の運用能力を総合的に養う。						
学修の到達目標						
毎回さまざまな医療に関する言語活動を行い、英語の持つ多様な機能や働きを考えることを目指す。 ①正しい発音と適切なパターンで発話することができる。 ②医療英語によるコミュニケーションに必要なリスニング力を身につけ、状況の聞き取りができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	①				その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
2	Lesson 1: Reception Desk (救急外来受付)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
3	Lesson 2: Examination Room (診察室)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
4	Lesson 3: Giving Injection (注射をする)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
5	Lesson 4: Explanation to a Family Member (患者の家族への説明)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
6	Lesson 5: Self-Introduction and First Meal (自己紹介と初めての食事)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
7	Lesson 6: Orientation to the Ward (入院病棟を案内する)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
8	Lesson 7: Asking Height, Weight, and Temperature (身長、体重、体温を尋ねる)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)
9	Lesson 8: Obtaining the Patient's History (患者歴をとる) 小テスト	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(45分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Lesson 9: Checking the Patient's Condition (患者の状態をチェックする)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
11	Lesson 10: Blood Test Explanation (血液検査の説明)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
12	Lesson 11: Drawing a Blood Sample (採血)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
13	Lesson 12: Explaining about the Operation : Basic Procedures (手術についての説明: 基本的手順)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
14	Lesson 13: Explaining about the Operation: Anesthesia (手術についての説明: 麻酔)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
15	Lesson 14: Taking the Patient into Surgery (手術室への搬送)	① ②			前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業参加態度・小テスト・・・40%, 理解度判定・・・60%						
使用教科書						
Essential English For Nurses 5th Edition (学生版) / Paul Zito & Masako Hayano. --日総研, 978-4-7760-1861-2						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法						
備考 皆さんの英語力とテキストの難易度をすり合わせ、無理のない進み方で行う。 学生がテキストの内容をよく理解するために各ユニットをスライドプレゼンテーションで説明する。						

授業科目名		担当教員				
ドイツ語		安藤 彰浩				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ドイツ語ポリシー(1)看護ドイツ語ポリシー(1)理学ドイツ語ポリシー(1)(3)作業ドイツ語ポリシー(1)(3)視機能ドイツ語ポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		安藤彰浩(ドイツ語通訳)				
授業概要						
ドイツ語における初級の基礎知識の習得を目指す。インターネット(動画サイトYou Tube等でニュース放送を見る)を活用して、ドイツ人の話す生のドイツ語に触れる機会を設ける。ドイツ社会における時事的、文化的話題を提供して、ドイツの歴史や文化に対する興味を喚起する。						
学修の到達目標						
①ドイツ語の基本的な表現に親しむ。 ②ドイツ語学習を通じて言葉の感覚を磨き、自分をより正確に表現する力を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	発音。数字0~12。挨拶	①			次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
2	自己紹介。－動詞の現在人称変化 ich/Sie	①			次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
3	自己紹介。－動詞の現在人称変化 du	①			次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
4	第三者の紹介。－動詞の現在人称変化 三人称単数 er/sie	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
5	身の回りのもの。－格変化：主格(1格)。複数形	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
6	買い物・家族。直接目的格(4格)。－所有冠詞	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
7	お土産。間接目的語(3格)。－人称代名詞	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
8	趣味。時間表現。曜日－不規則動詞の現在人称変化	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
9	道をたずねる。－前置詞の格支配1、命令形	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Eメール。月と季節 - 前置詞の格支配2	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
11	手紙。時間表現2 - イントネーションと文アクセント	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
12	料理・レストラン - 会話表現	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
13	ドイツ鉄道 - 分離動詞・非分離動詞、zu不定詞	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
14	ベルリンへの旅 - 話法の助動詞	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
15	ドイツの歴史、文化について。 - 文法のおさらい	① ②			次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
理解度、積極参加を重視 定期試験 (60%)、小試験 (20%)、授業への取り組み (20%)						
使用教科書						
シュピッツェ I コミュニケーションで学ぶドイツ語 / 朝日出版社, 978-4-255-25422-7						
参考図書						
必要に応じて紹介						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	課題の習得を総合的に評価してコメントする。					
備考	毎回、動画サイトを使って、ドイツ人の生活や文化を紹介する。					

授業科目名		担当教員				
中国語		橋本 永貢子				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
現代中国語の初歩を学ぶ。基礎的な中国語の習得を通じて、中国語が一言語としてどのような特徴を持っているのかを学び、また、中国人とコミュニケーションをとる場合に必要な知識や中国語の背景にある中国の文化や社会についても理解を深める。これにより、将来医療従事者になった場合にも役に立つ教養を身に付ける。						
学修の到達目標						
①発音記号が読め、中国語の発音を習得する ②簡単な挨拶言葉を習得する ③基礎的な文法を習得し、日常会話ができるようにする						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	中国語の概要、声調	①			テレビやラジオ、インターネット等で、中国語の音を聞いてみる。(30分)	声調練習を行い、マスターする(30分)
2	母音(1)	①			声調の復習をする。(30分)	単母音の発音練習を行い、マスターする。(30分)
3	子音	①			単母音の復習をする。(30分)	子音の発音練習を行い、マスターする。(30分)
4	母音(2)	①			子音の復習をする。(30分)	複母音・鼻母音の発音練習を行い、マスターする。(30分)
5	発音のまとめ	①			複母音・鼻母音の復習をする。(30分)	ピンインの書き方と発音の仕方を覚える。(30分)
6	挨拶のしかた	① ②			ピンインの書き方と発音の仕方の復習をする。(30分)	中国語での挨拶の仕方を練習しマスターする。(30分)
7	動詞述語文(1)	① ②			中国語での挨拶の仕方を復習する(30分)	教科書第2課本文の発音練習を行う。(30分)
8	動詞述語文(2)、連体修飾語と疑問文(1)	① ②			教科書第2課の本文の発音練習を行い、練習問題を解く。(30分)	教科書第3課の本文の発音練習を行う。(30分)
9	連体修飾語と疑問文(2)	① ②			教科書第3課の本文の発音練習を行い、練習問題を解く。(30分)	教科書第1課から第3課の復習をする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	存在を表す文 (1)	① ②			教科書第1課から第3課の復習をする。 (30分)	教科書第4課の本文の発音練習を行う。 (30分)
11	存在を表す文 (2) 、所在を表す文 (1)	① ②			教科書第4課の本文の発音練習を行い、練習問題を解く。 (30分)	教科書第5課の本文の発音練習を行う。 (30分)
12	所在を表す文 (2)	① ②			教科書第5課の本文の発音練習を行い、練習問題を解く。 (30分)	教科書第4課と第5課の復習をする。 (30分)
13	助動詞を用いた文 (1)	① ②			教科書第6課の本文の発音練習を行う。 (30分)	教科書第6課の本文の発音練習を行う。 (30分)
14	助動詞を用いた文 (2)	① ②			教科書第6課の本文の発音練習を行い、練習問題を解く。 (30分)	会話練習に必要な表現を復習する。 (30分)
15	実践的な中国語会話練習	① ②			会話練習に必要な表現を発音練習する。 (30分)	教科書第1課から第3課の復習をする。 (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
発音とリスニングを重視する。毎回の授業における理解度や発音の状況 (20%) と学期中数回行う小テスト (30%) 、および期末テストの結果 (50%) から総合的に評価する。						
使用教科書						
医療系学生のための初級中国語 / 山田真一. --白帝社, 978-4-89174-979-8						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバックの方法	課題に対しては、次の授業の際に点検あるいは採点したものを返却しまた解説する。					
備考	連絡先メールアドレス : ran@gifu-u.ac.jp					

授業科目名		担当教員				
解剖生理学 I		佐竹 裕孝				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 前学期	2単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
ヒトの身体は正常時にどのように働いて恒常性が維持されているかを、人体の基本的な構造と関連づけて統合的に学び、解剖学的な構成と機能的な役割を理解し、専門基礎科目および臨床科目の礎となる人体に関する解剖学および生理学的な基礎知識を習得する。						
学修の到達目標						
解剖生理学 I では解剖生理学を学ぶための①基礎知識と、人体を構成する基本的な要素である②骨格筋系および③感覚器系をそれぞれ構造と機能から体系的に学習し、正常な仕組みと働きを説明できるようにする。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	総論 I :細胞の構造, 組織	①			教科書第1章C 27~30・45~54頁を通読(120分)	細胞の構造と機能について理解, ノート整理(120分)
2	総論 II :細胞膜の構造と機能	①			教科書第1章C 36~42頁を通読(120分)	細胞膜の構造と機能について理解, ノート整理(120分)
3	総論 III :人体の構造と機能	①			教科書第1章A・B 8~27頁を通読(120分)	人体に関する基礎的な用語と機能の理解, ノート整理(120分)
4	骨筋系 I :骨筋総論① 骨, 関節	②			教科書第7章A・B 282~292頁を通読(120分)	骨総論に関する基本事項の理解, ノート整理(120分)
5	骨筋系 II :骨筋総論② 筋, 運動機能と下行伝導路	②			教科書第7章C, 第8章D 292~296, 391~392頁を通読(120分)	筋総論に関する基本事項の理解, ノート整理(120分)
6	骨筋系 III :体幹の骨格と筋 脊柱と胸郭, 背部の筋	②			教科書第7章D 296~301頁を通読(120分)	体幹の骨・体幹背部の筋について理解, ノート整理(120分)
7	骨筋系 IV :体幹の骨格と筋 胸部・腹部の筋	②			教科書第7章D 301~306頁を通読(120分)	体幹胸腹部の筋について理解, ノート整理(120分)
8	骨筋系 V :上肢の骨格と筋 骨格と筋群, 運動	②			教科書第7章E 306~320頁を通読(120分)	上肢の骨・筋, 運動について理解, ノート整理(120分)
9	骨筋系 VI :下肢の骨格と筋 骨格と筋群, 運動	②			教科書第7章F 320~332頁を通読(120分)	下肢の骨・筋, 運動について理解, ノート整理(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	骨筋系Ⅶ:頭頸部の骨格と筋	②			教科書第7章G 332～339頁を通読 (120分)	頭頸部の骨・筋について理解, ノート整理 (120分)
11	骨筋系Ⅷ:筋の収縮機構	②			教科書第7章H 339～355頁を通読 (120分)	筋収縮機序の理解, ノート整理 (120分)
12	感覚器系Ⅰ:感覚総論, 視覚器の構造	③			教科書第8章G 397～403頁を通読 (120分)	感覚の性質, 視覚器の構造を理解, ノート整理 (120分)
13	感覚器系Ⅱ:視覚器の機能	③			教科書第8章G 403～407頁を通読 (120分)	視覚器の機能について理解, ノート整理 (120分)
14	感覚器系Ⅲ:耳の構造と機能	③			教科書第8章H 408～413頁を通読 (120分)	耳の構造と聴覚・平衡覚の機能について理解, ノート整理 (120分)
15	感覚器系Ⅳ:化学覚と体性感覚(皮膚)の構造と機能	③			教科書第8章I・F 413～415, 394～397頁を通読 (120分)	味覚・嗅覚, 体性感覚の構造と機能について理解, ノート整理 (120分)
	定期試験(筆記)			試験		
評価基準・評価方法						
定期試験の成績(100%)						
使用教科書						
系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能(1) 解剖生理学 / 坂井・岡田・宇賀.--第11版--医学書院, 2022年, 978-4-260-04687-9						
参考図書						
トートラ人体解剖生理学 原書11版(丸善)佐伯 他(編訳)2020, ISBN 978-4-621-30539-3 人体の正常構造と機能(改訂2版)(日本医事新報)坂井・河原(編)2021, ISBN 978-4-7849-3181-1 シンプル生理学(改訂8版)(南江堂)貴邑・根来(著)2021, ISBN 978-4-524-22655-9						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	提出された課題に対してコメントを付けて回答・返却する。					
備考	解剖生理学Ⅰと解剖生理学Ⅱは看護教育の根底をなす解剖・生理学の講義であり、1年次前期に集中して開講される。はじめに解剖生理学Ⅰを集中的に開講し、引き続いて植物性機能を中心とした解剖生理学Ⅱを講義する。					

授業科目名		担当教員				
解剖生理学Ⅱ		佐竹 裕孝				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 前学期	2単位(60時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
ヒトの身体は正常時にどのように働いて恒常性が維持されているかを、人体の基本的な構造と関連づけて統合的に学び、解剖学的な構成と機能的な役割を理解し、専門基礎科目および臨床科目の礎となる人体に関する解剖学および生理学的な基礎知識を習得する。						
学修の到達目標						
解剖生理学Ⅱでは①消化器系、②呼吸器系、③血液、④心循環系、⑤腎泌尿器系、⑥内分泌器系、⑦生殖器系、⑧体温、および⑨神経系をそれぞれ構造と機能から体系的に学修し、正常な仕組みと働きを正しく説明できるようにする。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	消化器系Ⅰ:消化器総論。口・咽頭・食道の構造と機能	①			教科書第2章A 56～67頁を通読 (20分)	消化管の基本事項、および上部消化管の構造と機能について理解、ノート整理(60分)
2	消化器系Ⅱ:腹部消化管(胃・小腸・大腸)の構造	①			教科書第2章B 67～76、80～84頁を通読(30分)	腹部消化管の構造について理解、ノート整理(60分)
3	消化器系Ⅲ:腹部消化管(胃・小腸・大腸)の機能	①			教科書第2章B 67～76、80～84頁を通読(30分)	腹部消化管の機能について理解、ノート整理(60分)
4	消化器系Ⅳ:栄養の消化と吸収	①			教科書第2章B 76～80頁を通読(15分)	栄養の消化・吸収の機序を理解、ノート整理(60分)
5	消化器系Ⅴ:肝臓・胆嚢・膵臓の構造と機能、腹膜	①			教科書第2章C 84～93頁を通読(20分)	肝臓、胆嚢、膵臓の構造と機能を理解、ノート整理(60分)
6	呼吸器系Ⅰ:呼吸器の構造	②			教科書第3章A 96～107頁を通読(20分)	呼吸器の構造について理解、ノート整理(60分)
7	呼吸器系Ⅱ:呼吸① 呼吸運動の機構、呼吸気量	②			教科書第3章B 108～115頁を通読(20分)	呼吸機序、呼吸気量の理解、ノート整理(60分)
8	呼吸器系Ⅲ:呼吸② ガス交換、呼吸運動の調節	②			教科書第3章B 116～126頁を通読(20分)	ガス交換の機序を理解、ノート整理(60分)
9	血液Ⅰ:赤血球、白血球、血小板	③			教科書第3章C 126～140頁を通読(30分)	血液固体成分について理解、ノート整理(60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	血液Ⅱ:血漿タンパク質、凝固線溶系、血液型	③			教科書第3章C 140～148頁を通読 (20分)	血液液体成分、凝固反応について理解、ノート整理 (60分)
11	心循環系Ⅰ:心臓の構造	④			教科書第4章A・B 150～157頁を通読 (20分)	心臓の構造について理解、ノート整理 (60分)
12	心循環系Ⅱ:心臓の機能①	④			教科書第4章C 157～167頁を通読 (20分)	心臓の興奮と心電図を理解、ノート整理 (60分)
13	心循環系Ⅲ:心臓の機能②	④			教科書第4章C 167～175頁を通読 (20分)	心臓の収縮と心周期を理解、ノート整理 (60分)
14	心循環系Ⅳ:末梢循環系の構造	④			教科書第4章D 175～186頁を通読 (30分)	血管の一般的な構造、主要な動静脈について理解、ノート整理 (60分)
15	心循環系Ⅴ:血液循環の調節①	④			教科書第4章E 187～195頁を通読 (20分)	血圧、血液循環を理解、ノート整理 (60分)
16	心循環系Ⅵ:血液循環の調節②、リンパとリンパ管	④			教科書第4章E 195～208頁を通読 (30分)	血圧調節、リンパ系について理解、ノート整理 (60分)
	中間試験(筆記) (消化器系、呼吸器系、血液、心循環系)	① ～ ④				
17	腎泌尿器系Ⅰ:腎の構造と機能、ネフロン の構造と機能	⑤			教科書第5章A 210～223頁を通読 (15分)	腎臓の肉眼的・微小構造、機能の理解、ノート整理 (60分)
18	腎泌尿器系Ⅱ:クリアランス、 排尿路の構造と機能	⑤			教科書第5章A・B 223～230頁を通読 (30分)	クリアランスの理解、 排尿路について理解、 ノート整理 (60分)
19	腎泌尿器系Ⅲ:体液とその調節、 体液とホメオスタシス	⑤			教科書第5章C 230～237頁を通読 (20分)	体液の理解、体液のpH について理解、ノート 作成 (60分)
20	内分泌器系Ⅰ:内分泌総論、 調節系、視床下部、下垂体	⑥			教科書第6章B 249～259頁を通読 (20分)	内分泌総論、視床下部・ 下垂体のホルモンについて 理解、ノート整理 (60分)
21	内分泌器系Ⅱ:甲状腺、副 甲状腺、膵臓、副腎、性腺	⑥			教科書第6章C 259～273頁を通読 (30分)	甲状腺、副甲状腺、膵臓、 副腎、性腺のホルモン について理解、ノート整理 (60分)
22	内分泌器系Ⅲ:ホルモンによる 調節	⑥			教科書第6章D・E 273～280頁を通読 (20分)	ホルモンによる調節 について理解、ノート 整理 (60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
23	生殖器系Ⅰ:男性生殖器	⑦			教科書第10章A 460～466頁を通読 (15分)	男性生殖器について理解, ノート整理 (60分)
24	生殖器系Ⅱ:女性生殖器	⑦			教科書第10章B 466～475頁を通読 (20分)	女性生殖器について理解, ノート整理 (60分)
25	体温とその調節	⑧			教科書第9章C 451～456頁を通読 (20分)	体温の調節機序を理解, ノート整理 (60分)
26	神経系Ⅰ:神経系の構造と機能	⑨			教科書第8章A 358～368頁を通読 (20分)	神経細胞の構造と機能, 神経系の構造について理解, ノート整理 (60分)
27	神経系Ⅱ:脊髄と脳	⑨			教科書第8章B 368～383頁を通読 (30分)	脊髄と脳について構造と機能を理解, ノート整理 (60分)
28	神経系Ⅲ:脊髄神経と脳神経	⑨			教科書第8章C 383～391頁を通読 (20分)	脊髄神経と脳神経について理解, ノート整理 (60分)
29	神経系Ⅳ:自律神経の構造と機能	⑨			教科書第6章A 240～249頁を通読 (20分)	自律神経の構造と機能について理解, ノート整理 (60分)
30	神経系Ⅴ:脳の高次機能	⑨			教科書第8章K 420～432頁を通読 (30分)	脳の高次機能について理解, ノート整理 (60分)
	定期試験 筆記 (腎泌尿器系、内分泌系、生殖器系、体温と調節、神経系)	⑤ ～ ⑨				
評価基準・評価方法						
中間試験の成績 (50%) , および定期試験の成績 (50%)						
使用教科書						
系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能 (1) 解剖生理学 / 坂井・岡田・宇賀. --第11版--医学書院, 2022年, 978-4-260-04687-9						
参考図書						
トートラ人体解剖生理学 原書11版 (丸善) 佐伯 他 (編訳) 2020, ISBN 978-4-621-30539-3 人体の正常構造と機能 (改訂2版) (日本医事新報) 坂井・河原 (編) 2021, ISBN 978-4-7849-3181-1 シンプル生理学 (改訂8版) (南江堂) 貴邑・根来 (著) 2021, ISBN 978-4-524-22655-9						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバックの方法	提出された課題に対してコメントを付して回答・返却する.					

備考	解剖生理学Ⅰと解剖生理学Ⅱは看護教育の根底をなす解剖・生理学の講義であり、1年次前期に集中して開講される。 はじめに解剖生理学Ⅰを集中的に開講し、引き続いて植物性機能を中心とした解剖生理学Ⅱを講義する。 解剖生理学Ⅱは30コマの講義であるため、開講期間の前半に中間試験（筆記）を実施する。
----	--

授業科目名		担当教員				
生活者の解剖生理		眞田 正世・加藤 清人 (代表教員 眞田 正世)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義 小グループ			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		眞田正世(看護師)、加藤(作業療法士)				
授業概要						
自身の日常生活行動から「からだ」の仕組みを理解し、看護の視点で「からだ」の解剖生理学的知識を知識を深める。また、主体的な学習方法を行い、グループ学習で自分の考えをまとめたり発表するコミュニケーションスキルを身につける。						
学修の到達目標						
①自身の「からだ」を見つめなおし、解剖生理学的な知識を深める。 ②看護の役割である日常生活援助や診療の補助技術に必要な、解剖生理学の知識を深める。 ③協同学習を通して他職医療者と協働することの基本姿勢を身につける。 ④協同学習を通して「聴く力」「話す力」「伝え合う力」を養い、実践することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	1. 生きるとは 1) 人間が生きる為には 2) 皮膚の役割 3) 内部環境の恒常性 2. 生命維持と生活行動	① ② ③ ④	眞田	講義	教科書の第1章を読んで講義に臨むこと。(120分)	講義の学びについてレポート(180分)
2	恒常性維持のための物質の流通 1) 流通の媒体 2) 流通路 3) 流通の原動力	① ② ③ ④	眞田	講義	教科書の第2章を読んで講義に臨むこと。(60分)	課題の実施(180分)
3	恒常性維持のための調節機構 1) 神経性の調節 2) 液性の調節 3) ストレスと恒常性維持	① ② ③ ④	眞田	講義	教科書の第3章を読んで講義に臨むこと。(60分)	課題の実施(180分)
4	動く 1) 骨格、骨格筋、関節 2) 姿勢 3) 神経から筋への指令と筋の収縮 4) 意図的な運動と意図的でない運動 5) 日常生活での動き	① ② ③ ④	眞田	講義	教科書の第4章を読んで講義に臨むこと。(60分)	課題の実施(180分)
5	食べる 1) 食欲 2) 食行動 3) 咀嚼と嚥下 4) 消化と吸収	① ② ③ ④	加藤	講義	教科書の第5章を読んで講義に臨むこと。(60分)	課題の実施(120分)
6	息をする 1) 息を吸う・息を吐く 2) ガス交換	① ② ③ ④	眞田	講義	教科書の第6章を読んで講義に臨むこと。(60分)	課題の実施(120分)
7	1. トイレに行く 1) 排尿 2) 排便 3) 排泄行動 2. 話す・聞く 1) 声を出す 2) 聞く 3) 言葉	① ② ③ ④	眞田	講義	教科書の第7.8章を読んで講義に臨むこと。(60分)	事例患者の理解(180分)
8	事例患者の身体の状態と行動の関係をアセスメントし、発表する。	① ② ③ ④	眞田	講義 演習	今までの学習を再確認し、患者の身体的な情報について事前に学習しておく。(60分)	グループで学習した資料をまとめ提出する。(180分)
定期試験：筆記試験またはレポート						

評価基準・評価方法	
定期試験（80％）、課題レポート・演習参加態度（20％）	
使用教科書	
看護形態機能学 生活行動からみるからだ / 菱沼典子. --日本看護協会出版社, 2018年,	
参考図書	
解剖生理学Ⅰと解剖生理学Ⅱで使用するテキスト及び資料	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	講義時間中や終了後に適宜質問を受け付ける。各講師の質問等については、次の講義かクラスルームを通して説明し、フィードバックします。課題レポートの内容が不十分な場合はコメントをつけて返却し再提出を求めています。
備考	講義時間中や終了後に適宜質問を受け付ける。各講師の質問等については、次の講義等で説明し、フィードバックします。

授業科目名		担当教員				
生化学		亀山 泰永				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
人間の生命現象の仕組みを科学的に理解するために、生体内で営まれている物質代謝をはじめとする数々の現象について学習する。具体的には、人体を構成している様々な物質、特に糖質、タンパク質、脂質などの化学的性質や役割と機能について学び、人体の正常な機能とどのように関わっているかを学習する。また、遺伝子の構造や遺伝情報についても学習し、遺伝子の変異が疾病とどのように関連しているかを学習する。病気は正常な営みの欠陥により起こるものであり、正常な仕組みを理解することが病気を理解するためにも重要である。						
学修の到達目標						
生化学を学ぶことにより、 ①人体の正常な営みと仕組みを分子レベルで科学的に理解し、説明できる。 ②関連する病気の原因を生化学的に正しく理解し、説明できる。 さらに、③国家試験合格レベルにスキルアップする。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	【 】内は「臨床生化学」テキストの該当する章を記載 オリエンテーション(生化学の基礎知識) 代謝総論：代謝とは？、異化と同化【1章1節】の解説 1 細胞の構造と機能 1) 細胞膜と細胞質、核、細胞小器官と細胞骨格【2章1節】の解説	① ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
2	2 遺伝子と遺伝情報 1) 核酸とヌクレオチド【2章5節】 2) 遺伝情報を担う物質：DNA【6章1節】の解説	① ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
3	3 細胞分裂 1) 染色体の複製と有糸分裂【6章1節2項・2節】の解説	① ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
4	2) タンパク合成(DNAからRNAへの転写、RNAからタンパク質への翻訳、修飾)【6章1節・3節・4節】の解説	① ② ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
5	4 遺伝と遺伝子の変化 1) 病気と遺伝子：遺伝子疾患【6章1節・5節】 2) 遺伝子診断、遺伝子治療【6章6節】と先天性代謝異常【7章】の解説	① ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
6	5 細胞内情報(シグナル)伝達 1) 情報伝達の概要、2) イオンチャネル型受容体、代謝調節型受容体、細胞内受容体、核内受容体【2章1節3項】の解説	① ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
7	6 物質代謝 1) 同化作用と異化作用【1章1節2項・2節】 2) 酵素(役割、性質、分類、アイソザイム、臨床診断等)【3章】の解説	① ② ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
8	3) 生命維持に必要な栄養素：炭水化物(糖質)の構造と性質【2章2節】の解説	① ② ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
9	炭水化物(糖質)の代謝(糖類、解糖のしくみ、グリコーゲンの合成と分解、ペントースリン酸回路、糖新生、血糖の調整とホルモンの作用等)【4-1章】	① ② ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	4) 生命維持に必要な栄養素：脂肪（脂質）の構造と性質【2章3節】の解説	① ② ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
11	脂肪（脂質）の代謝（脂質の構成、脂肪酸の分解、ケトン体の代謝、コレステロールの代謝 エイコサノイド等）【4-2章】の解説	① ② ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
12	5) 生命維持に必要な栄養素：タンパク質の構造と性質【2章4節】の解説	① ② ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
13	タンパク質の代謝（アミノ酸とタンパク質、アミノ酸代謝、先天性代謝異常、ヘムの合成とビリルビンの代謝等）【4-3章1節(4)(5)・2節・3節・4節・5節・6節】の解説	① ② ③			教科書の該当ページに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
14	6) 核酸・ヌクレオチドの代謝（ヌクレオチド、合成、分解、抗がん剤の作用等）【4-4章】の解説 7) ビタミン・ミネラルの代謝【2章6節】の解説	① ② ③			教科書の該当ページおよび配布プリントに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
15	7) ホルモンとサイトカイン（ホルモンの分類と作用点、ホルモン、サイトカイン各論等）（プリント配布）の解説	① ② ③			教科書の該当ページおよび配布プリントに目を通し、専門用語の意味を調べておく。(30分)	講義プリントおよび教科書で授業の内容を説明できるようにする。(30分)
	定期試験；筆記					
評価基準・評価方法						
定期試験(筆記試験) (70%)，小テスト (20%)，授業態度 (10%)						
使用教科書						
ナーシンググラフィカ人体の構造と機能 (2) 臨床生化学 / 第6版 --MCメディカ出版, 978-4-8404-7832-8						
参考図書						
リッピンコットシリーズ イラストレイテッド 生化学 石崎泰樹, 丸山敬監訳 原著7版 丸善出版 2019年1月 ISBN978-4-621-30351-1 目でみるからだのメカニズム 堺 章著 第2版 医学書院 2016年11月 ISBN978-4-260-02776-2						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	定期試験：解説プリントの掲示，小テスト：試験実施後に解説					
備考	講師の連絡先；メールアドレス；ykameyama@ccn.aitai.ne.jp					

授業科目名		担当教員				
栄養学		久保 和弘				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>栄養学の学習では、生化学と連動した学問と位置づけ、特に看護の対象である人間にとっての栄養の意義を理解し、人間の成長発達や生命の維持に必要な栄養素の種類と体内の代謝について学習する。また、健康な一生を送るために生活習慣病の予防や乳児から高齢期を通じて各ライフステージの栄養を学ぶ。</p>						
学修の到達目標						
<p>①栄養素の種類、役割、消化、吸収、体内代謝について説明できる。 ②各ライフステージにおける栄養素とエネルギーの必要量、過不足、関連する疾患について説明できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	栄養の概念				資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
2	炭水化物の栄養	①			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
3	糖質代謝と疾病	②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
4	脂質の栄養	①			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
5	脂質代謝と疾病	②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
6	タンパク質の栄養	①			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
7	アミノ酸代謝、酵素の役割	②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
8	エネルギー代謝(生体利用エネルギー、身体活動エネルギー)	① ②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
9	水溶性ビタミンの栄養	① ②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脂溶性ビタミンの栄養	① ②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
11	多量ミネラルの栄養	① ②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
12	微量ミネラルの栄養	① ②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
13	食事摂取基準の理解	②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
14	国民健康・栄養調査の理解	②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
15	栄養と遺伝、食文化	②			資料及び教科書該当ページに目を通す。(60分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(60分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験(100%)により評価する。						
使用教科書						
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔3〕 栄養学 / 小野章文ほか、--第13版--医学書院、2020年、978-4-260-03861-4						
参考図書						
いずれも閲覧・ダウンロード可 ●日本人の食事摂取基準 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/eiyuu/syokuji_kijyun.html ●国民健康・栄養調査 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyuu_chousa.html ●日本食品標準成分表 https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/index.htm						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	提出された課題について、適宜、授業中に補足的な解説を行う。					
備考	教科書、プリントを中心に授業をすすめる。					

授業科目名		担当教員				
疾病論 I		武内 康雄・山本 容正 (代表教員 武内 康雄)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義 小グループ			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄(医師)				
授業概要						
疾病論 I の学習では、病気(疾病)の成り立ちを病理学と関連付けて理解し、疾患の病因・病態・肉眼的、顕微鏡的変化について学習する。これらの理解は、疾患を抱えた患者のケアにあたる看護師にとって大変重要である。また、生体にか起っている変化の原因を知り、対象の疾病や障害を維持、回復に向けるための基礎的知識として必要となる。						
学修の到達目標						
①変性と化生、炎症と免疫、循環障害の病態病理の概要を説明できる。 ②代謝障害、遺伝子異常、先天異常の概要を説明できる。 ③腫瘍の病理学的分類を説明でき、腫瘍発生のメカニズムや治療法を説明できる。 ④生活習慣と環境因子による生体の障害の概要を説明できる。 ⑤血液・造血器系疾患・内分泌系疾患の成り立ちを説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	病理学で学ぶこと、病因論、細胞・組織の障害と修復(1)	①	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
2	細胞・組織の障害と修復(2)、循環障害(1)	①	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
3	循環障害(2)	①	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
4	代謝障害(1)	②	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
5	炎症と免疫、移植と再生医療(1)	①	山本		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
6	炎症と免疫、移植と再生医療(2)	①	山本		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
7	感染症と感染症対策(1)	①	山本		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
8	感染症と感染症対策(2)	①	山本		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
9	代謝障害(2)、老化と死	②	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	先天異常と遺伝子異常	②	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
11	腫瘍(1)	③	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
12	腫瘍(2)	③	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
13	生活習慣と環境因子による生体の障害	④	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
14	血液・造血器系疾患	④	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
15	血液・造血器系疾患	④	武内		講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
期末筆記試験(100%)						
使用教科書						
疾病のなりたちと回復の促進 [I] 病理学 / 大橋健一ほか、--第5版--医学書院, 2021年, 978-4-260-04203-1						
参考図書						
小林正伸著 「なるほど なっとく! 病理学病態形成の基本的なしくみ」 (南山堂)						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	試験解答の一部を公開する					
備考						

授業科目名		担当教員				
疾病論Ⅱ		近藤 直実・松井 永子 ・山本 容正 (代表教員 近藤 直実)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義 小グループ			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		近藤直実(医師)、松井永子(医師)				
授業概要						
疾病論Ⅱでは、人間の生命維持の中心となる呼吸、循環器の疾患の病態、診断、治療について学習する。また、身体の調節機構としての代謝疾患、栄養を司る消化器疾患などの病態、診断、治療についても学び、疾患を持つ対象を理解する。						
学修の到達目標						
①各臓器、器官の生理的役割を理解し、正常と異常の違いと疾患について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	循環器の形態と機能	①	近藤		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
2	循環器疾患①	①	近藤		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
3	循環器疾患②	①	近藤		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
4	循環器疾患③	①	近藤		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
5	循環器疾患④	①	近藤		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
6	呼吸器の形態と機能	①	近藤		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
7	呼吸器疾患	①	近藤		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
8	呼吸器感染症①	①	山本		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
9	呼吸器感染症②	①	山本		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	呼吸器感染症③	①	山本		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
11	消化器疾患①	①	松井		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
12	消化器疾患②	①	松井		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
13	消化器疾患③	①	松井		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
14	消化器疾患④	①	松井		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
15	消化器疾患⑤	①	松井		教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
定期試験 (90%)、小テスト (10%)						
使用教科書						
成人看護学 [2] 呼吸器 / 浅野浩一郎ほか.--第15版--医学書院, 2019年01月, 978-4-260-03569-9 成人看護学 [3] 循環器 / 松田直樹ほか.--第15版--医学書院, 2019年01月, 978-4-260-03557-6 成人看護学 [5] 消化器 / 南川雅子ほか.--第15版--医学書院, 2019年01月, 978-4-260-03562-0						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	小テストなどにコメントして返却など					
備考						

授業科目名		担当教員				
疾病論Ⅲ		武内 康雄・細江 英夫・多田 晃司・平野 聡子・塩谷 滝雄・大江 直行・中山 則之 (代表教員 武内 康雄)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)		講義 小ハス		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄(医師)、細江英夫(医師)、多田晃司(医師)、平野聡子(医師)、塩谷滝雄(医師)、大江直行(医師)、中山則之(医師)				
授業概要						
疾病論Ⅲでは、人間の生命維持、生殖、身体各部の機能や活動のよりどころになる脳・神経系、運動器、女性生殖器、眼科疾患の病態、検査、診断、治療について学習する。また、液体の恒常性の維持を司る腎・泌尿器系疾患について学習し、腎不全に対しての透析治療についても学び理解を深める。講義では、双方向システムを活用し学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①内分泌系の主要な疾患を説明できる。 ②運動器系の主要な疾患を説明できる。 ③腎・泌尿器系の主要な疾患を説明できる。 ④女性生殖器の主要な疾患を説明できる。 ⑤感覚器の中の主要な眼科疾患を説明できる。 ⑥脳腫瘍、神経変性疾患等を説明できる。 ⑦脳血管障害の主要な疾患について概略を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	内分泌系疾患	①	武内		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。(30分)	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。(30分)
2	外傷、骨折	②	細江		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。(30分)	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。(30分)
3	関節疾患	②	細江		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。(30分)	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。(30分)
4	脊椎疾患、骨粗鬆症	②	細江		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。(30分)	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。(30分)
5	腎・泌尿器疾患①	③	多田		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。(30分)	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。(30分)
6	腎・泌尿器疾患②	③	多田		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。(30分)	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。(30分)
7	腎・泌尿器疾患③	③	多田		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。(30分)	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。(30分)
8	女性生殖器疾患①	④	平野		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。(30分)	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。(30分)
9	女性生殖器疾患②	④	平野		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。(30分)	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	感覚器（眼科疾患）①	⑤	塩谷		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。（30分）	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。（30分）
11	感覚器（眼科疾患）②	⑤	塩谷		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。（30分）	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。（30分）
12	脳・神経系疾患（主に脳血管障害、水頭症、先天性奇形など）①	⑥	大江		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。（30分）	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。（30分）
13	脳・神経系疾患（主に脳血管障害、水頭症、先天性奇形など）②	⑥ ⑦	大江		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。（30分）	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。（30分）
14	脳・神経疾患（主に脳腫瘍、パーキンソン病などの変性疾患、てんかんなど）①	⑦	中山		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。（30分）	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。（30分）
15	脳・神経疾患（主に脳腫瘍、パーキンソン病などの変性疾患、てんかんなど）②	⑦	中山		指定教科書の該当ページを読み、専門用語の意味を調べておく。（30分）	授業後に学習した内容を説明できるようにまとめる。（30分）
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
筆記試験（100%）						
使用教科書						
成人看護学 [7] 脳・神経 / 井手隆文ほか。--第15版--医学書院, 2019年, 978-4-260-03561-3 成人看護学 [8] 腎・泌尿器 / 今井亜矢子ほか。--第15版--医学書院, 2019年, 978-4-260-03558-3 成人看護学 [9] 女性生殖器 / 末岡浩ほか。--第15版--医学書院, 2019年, 978-4-260-03567-5 成人看護学 [10] 運動器 / 田中栄ほか。--第15版--医学書院, 2019年, 978-4-260-03565-1 成人看護学 [13] 眼 / 大鹿哲郎ほか。--第14版--医学書院, 2020年, 978-4-260-03859-1						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	レポート、課題は実施しない。					
備考	講義時、講義後に適宜質問を受け付ける。					

授業科目名		担当教員				
微生物学		林 将大				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
微生物学の基礎知識を学ぶとともに、感染症に関する主要な病原微生物について性質および特徴を学習する。さらに、感染・発症に関わる生体防御機能のメカニズム、化学療法、感染予防対策および関連法規等について理解を深める。						
学修の到達目標						
①医療従事者として必要な病原微生物および感染予防対策についての知識を身に付けることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	微生物と微生物学、細菌の性質	①			教科書を読み、概要を理解しておくこと。(120分)	授業内容に関するプリントを配布するので、復習すること。(120分)
2	ウイルスの性質、感染と感染症	①			教科書を読み、概要を理解しておくこと。(120分)	授業内容に関するプリントを配布するので、復習すること。(120分)
3	感染に対する生体防御	①			教科書を読み、概要を理解しておくこと。(120分)	授業内容に関するプリントを配布するので、復習すること。(120分)
4	感染源・感染経路からみた感染症、滅菌と消毒	①			教科書を読み、概要を理解しておくこと。(120分)	授業内容に関するプリントを配布するので、復習すること。(120分)
5	感染症の検査と診断、感染症の治療	①			教科書を読み、概要を理解しておくこと。(120分)	授業内容に関するプリントを配布するので、復習すること。(120分)
6	細菌感染症、ウイルス感染症	①			教科書を読み、概要を理解しておくこと。(120分)	授業内容に関するプリントを配布するので、復習すること。(120分)
7	真菌感染症、原虫感染症	①			教科書を読み、概要を理解しておくこと。(120分)	授業内容に関するプリントを配布するので、復習すること。(120分)
8	総括講義	①			教科書を読み、概要を理解しておくこと。(120分)	授業内容に関するプリントを配布するので、復習すること。(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
定期試験で評価する（100％）	
使用教科書	
系統看護学講座専門基礎分野疾病のなりたちと回復の促進〔4〕微生物学 / 南嶋洋一ほか. --第14版--医学書院, 2022年, 978-4-260-04702-9	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	レポート、課題等は実施しない。
備考	質問は授業中にすることを推奨する。

授業科目名		担当教員				
公衆衛生学		和田 恵子				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		和田恵子(医師)				
授業概要						
公衆衛生学は個人を対象として疾病の治療を目指すより、集団を対象に疾病予防や健康増進に重点をおくものである。そのため疾病の原因を明らかにするための方法論から公衆衛生実践のための地方や国の行政の関わりなどを広く学び、理解を深める。						
学修の到達目標						
①基本的な概念と基礎知識を学んだ後、各論に進み、公衆衛生的見方や知識を身につけることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	公衆衛生概論①	①			教科書の該当ページに目を通す(30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する(30分)
2	公衆衛生概論②	①			教科書の該当ページに目を通す(30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する(30分)
3	環境、国際保健	①			教科書の該当ページに目を通す(30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する(30分)
4	疫学	①			教科書の該当ページに目を通す(30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する(30分)
5	衛生の指標①	①			教科書の該当ページに目を通す(30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する(30分)
6	衛生の指標②	①			教科書の該当ページに目を通す(30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する(30分)
7	健康危機管理、災害保健	①			教科書の該当ページに目を通す(30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する(30分)
8	食品衛生・感染症	①			教科書の該当ページに目を通す(30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する(30分)
9	母子保健	①			教科書の該当ページに目を通す(30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	学校保健	①			教科書の該当ページに目を通す (30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する (30分)
11	成人保健、歯科保健	①			教科書の該当ページに目を通す (30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する (30分)
12	産業保健	①			教科書の該当ページに目を通す (30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する (30分)
13	高齢者保健	①			教科書の該当ページに目を通す (30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する (30分)
14	精神保健	①			教科書の該当ページに目を通す (30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する (30分)
15	障害者保健、難病	①			教科書の該当ページに目を通す (30分)	講義で習った部分を教科書や資料で確認し復習する (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
筆記試験 (100%)						
使用教科書						
系統看護学講座専門基礎分野健康支援と社会保障制度〔2〕 公衆衛生 / 神馬征峰ほか, --第14版--医学書院, 2019年, 978-4-260-03574-3 国民衛生の動向 2023/2024 / 厚生労働統計協会 ,						
参考図書						
その都度指示する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	定期試験について全体の総評コメントを掲示にて公開					
備考						

授業科目名		担当教員				
薬理学		足立 哲夫				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		足立哲夫(薬剤師)				
授業概要						
現在の医療において薬物療法の果たす役割は非常に大きい。医療機関において、患者と向き合う時間が圧倒的に多い看護師には、薬物療法による症状の変化や副作用の発現をいち早く察知し、他の医療スタッフとその情報を交換・共有することで患者ベネフィットの向上に貢献することが求められる。そのために医療の場で用いられている主な医薬品の効果を発揮するメカニズム(作用機序)と副作用発現メカニズムを理解することが必要である。						
学修の到達目標						
①薬物の使用目的や薬物療法における看護師の役割について説明できる。 ②薬物の取扱いと法的規制、投与された医薬品が作用する仕組みを説明できる。 ③各種疾患に使用する医薬品の薬理作用、副作用、使用上の注意について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	薬理学総論 薬理学を学ぶにあたって	① ②			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
2	薬理学総論 薬が作用する仕組み、投与された薬の体内動態、薬の取り扱いに関する法的規制	① ②			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
3	薬理学各論 抗感染症薬	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
4	薬理学各論 抗がん薬	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
5	薬理学各論 免疫治療薬	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
6	薬理学各論 抗アレルギー薬・抗炎症薬	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
7	薬理学各論 末梢神経に作用する薬物	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
8	薬理学各論 中枢神経に作用する薬物	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
	中間試験(筆記)					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
9	薬理学各論 降圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
10	薬理学各論 利尿薬、脂質異常症治療薬、血液凝固系・線溶系に作用する薬物、血液に作用する薬物	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
11	薬理学各論 呼吸器・消化器に作用する薬物、生殖器に作用する薬物	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
12	薬理学各論 糖尿病薬、内分泌代謝系に作用する薬物	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
13	薬理学各論 皮膚科用薬・眼科用薬、救急の際に使用される薬物、漢方薬、消毒薬	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
14	薬理学各論 輸液製剤・輸血薬、医薬品情報	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
15	消毒薬の希釈調製、輸液の調製と投与、重要な医薬品	② ③			教科書とプリントを 読んでおく。わから ないところを事前に 把握しておく。 (30分)	習ったことを復習し まとめる。プリント の問題を解く。 (30分)
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
中間試験の成績（50%）、期末試験の成績（50%）及び授業態度等を総合的に判断して評価する。						
使用教科書						
系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進〔3〕薬理学 / 吉岡充弘ほか.--医学書院, 2022年 第15版, 978-4-260-04716-6						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	プリントの問題（看護師国家試験過去問）や中間試験について適宜フィードバックします。					
備考	質問等については講義終了後に受けます。必要に応じて次回フィードバックします。					

授業科目名		担当教員				
病態心理学		武藤 恭昌・大井 一高・藏満 彩結実・野瀬 早織・高井 健太郎・藤兼 大輔・藤田 浩司・村上 拓紀 (代表教員 武藤 恭昌)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)		講義 仏ニバス		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		大井一高(医師)、武藤恭昌(医師)、藏満彩結実(医師)、野瀬早織(医師)、高井健太郎(医師)、藤兼大輔(医師)、藤田浩司(医師)、村上拓紀(医師)				
授業概要						
プライマリ・ケアを含め、一般外来、入院など、どの場面でも遭遇するような精神疾患について、概念、症状、治療について学ぶ。						
学修の到達目標						
①心身に心理的ストレスがどのような影響を及ぼすかについて理解する。 ②それぞれの問題への対処法の概略を理解する。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	総論	① ②	武藤	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
2	心身症	① ②	藤田	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
3	神経症・ストレス関連障害	① ②	村上	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
4	睡眠障害	① ②	藏満	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
5	摂食障害	① ②	藏満	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
6	気分障害	① ②	大井	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
7	統合失調症	① ②	武藤	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
8	脳の急性障害	① ②	藤田	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
9	脳の慢性障害	① ②	高井	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	アルコール・薬物関連障害	① ②	武藤	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
11	情緒と行動の障害	① ②	野瀬	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
12	発達障害, 精神遅滞	① ②	大井	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
13	性格のかたより	① ②	高井	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
14	精神保健福祉法	① ②	藤兼	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
15	司法精神医学	① ②	藤兼	講義	マスメディアなどで話題になっている精神疾患について、情報を収集しておく。(30分)	各疾患の背景にある心理学的背景を自分なりに理解して、レポートを作成する。(30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業毎のレポート (60%) と筆記試験 (40%) にて、<目標>①②への理解度を評価する。						
使用教科書						
精神医学ハンドブック - 医学・保健・福祉の基礎知識 / 山内 格.--第8版--日本評論社, 2022年, 978-4-535-98427-1						
参考図書						
対話で学ぶ 精神医学入門—コメディカル・学生のために / 細川 大雅, 医療コミュニケーションセンター, 2017年, ISBN978-4909141002						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	課題に関して、授業の中で教員と学生がディスカッションを行う。					
備考	積極的に考えたことを発言するよう求める。					

授業科目名		担当教員				
リハビリテーション概論		長谷部 武久				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久(理学療法士)				
授業概要						
リハビリテーション医療の対象となる「障害」に関する理解を深める。看護師におけるリハビリテーションチームの一員としての関わり、地域におけるリハビリテーションの役割やリハビリテーションを受ける対象を取り巻く環境についても学習する。この講義を通じて、リハビリテーションの「知識」ではなく、その「考え方」がICTを活用した双方向授業を通じて身に付くことを期待する。						
学修の到達目標						
①リハビリテーション医療の対象である「障害」について述べるができる ②リハビリテーション医療の過程とチーム医療の一員としての看護師の位置付けについて述べるができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	リハビリテーションとは、障害論全般	①			シラバスを熟読する(120分)	リハビリテーション医療の理念とその対象についてまとめる(120分)
2	国際障害分類と国際生活機能分類(機能障害について)	①			資料①「リハビリテーション概論」を熟読する(120分)	障害の分類、機能障害についてまとめる(120分)
3	国際障害分類と国際生活機能分類(能力低下について)	①			資料①「リハビリテーション概論」を熟読する(120分)	障害の分類、能力低下とADLについてまとめる(120分)
4	国際障害分類と国際生活機能分類(社会的不利益について)	①			資料①「リハビリテーション概論」を熟読する(120分)	障害の分類、社会的不利益の意味をまとめる(120分)
5	機能障害の原因疾患	①			資料①「リハビリテーション概論」を熟読する(120分)	原因疾患と廃用症候群についてまとめる(120分)
6	リハビリテーション医療の過程(急性期と回復期)	②			資料①「リハビリテーション概論」を熟読する(120分)	急性期及び回復期リハビリテーションの目的と介入手段についてまとめる(120分)
7	リハビリテーション医療の過程(生活期・維持期)、リハビリテーション・チームについて	②			資料①「リハビリテーション概論」を熟読する(120分)	生活期・維持期リハビリテーションの目的と介入手段についてまとめる(120分)
8	リハビリテーションの評価から治療の流れ(症例提示)	① ②			資料①「リハビリテーション概論」資料②「症例提示」を熟読する(120分)	リハビリテーション医療で行われる評価についてまとめる(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
小テスト10% 定期試験90%	
使用教科書	
資料を配布する 資料①「リハビリテーション概論」 資料②症例提示	
参考図書	
適宜紹介する	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	フィードバックとして、理解度確認の小テストを実施直後に解答の解説を行う。
備考	講義終了後、もしくはメールにて質問を受け付ける メール：t.hasebe@heisei-iryuu.ac.jp

授業科目名		担当教員				
カウンセリング論		古田 信宏				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古田 信宏(小学校教員)				
授業概要						
<ul style="list-style-type: none"> 心と体の健康を考え、医療におけるカウンセリングについて理解を深める。 心理療法の種類や概要を学び、理解を深める。 カウンセリングの理論と技法を学ぶ。 						
学修の到達目標						
<p>①看護活動に必要とされるカウンセリングの知識を学び、運用できる技法を身に付けることができる。</p> <p>②授業での演習活動を通して、カウンセリングの知識と技能を日常の活動に生かせるようにすることができる。</p> <p>③自己を適切に把握し、社会スキルの向上を図ることができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	カウンセリングとは;「カウンセリング」の概念、心理療法における位置づけを理解する	①				授業の内容を実生活の中で、出来るだけ実践してみる。ファイルを用意し、学修録を保存する。(120分)
2	「看護カウンセリングの特徴と心理療法」 ・看護カウンセリングの特徴を理解する。 ・様々な心理療法について理解する。	① ②			授業を振り返り、小テストの備えをする。(120分)	授業の内容を実生活の中で、出来るだけ実践してみる。ファイルを用意し、学修録を保存する。(120分)
3	「カウンセリングの態度」その1 ・一方通行と相互通行のコミュニケーションの違いを理解する。	① ②			授業を振り返り、小テストの備えをする。(120分)	授業の内容を実生活の中で、出来るだけ実践してみる。ファイルを用意し、学修録を保存する。(120分)
4	「カウンセリングの態度」その2 ・傾聴的態度について演習を通して理解する。	① ②			授業を振り返り、小テストの備えをする。(120分)	授業の内容を実生活の中で、出来るだけ実践してみる。ファイルを用意し、学修録を保存する。(120分)
5	「カウンセリングの技法」その1 ・カウンセリングの基本的援助技法(8の非言語コミュニケーションと9の援助技法)を理解する。	② ③			授業を振り返り、小テストの備えをする。(120分)	授業の内容を実生活の中で、出来るだけ実践してみる。ファイルを用意し、学修録を保存する。(120分)
6	「カウンセリングの技法」その2 ・要約と焦点化技法について演習を通して理解する。	① ②			授業を振り返り、小テストの備えをする。(120分)	授業の内容を実生活の中で、出来るだけ実践してみる。ファイルを用意し、学修録を保存する。(120分)
7	解決志向のカウンセリング;SFAの考え方と技法を理解する	① ②			授業を振り返り、小テストの備えをする。(120分)	授業の内容を実生活の中で、出来るだけ実践してみる。ファイルを用意し、学修録を保存する。(120分)
8	「カウンセリング総合演習」 ・総合演習(ミニカウンセリング)	① ②			授業を振り返り、小テストの備えをする。(120分)	授業の内容を実生活の中で、出来るだけ実践してみる。ファイルを用意し、学修録を保存する。(120分)

評価基準・評価方法	
評価基準：看護活動において、患者や家族の精神面でのケアを担える知識、理解、思考、判断、実践力 評価方法：毎回の学修録 80% 授業態度20%	
使用教科書	
特に利用しない。担当教員が資料を用意する	
参考図書	
看護カウンセリング（医学書院：広瀬寛子著）はじめての傾聴術（ナツメ社；小宮昇著）解決志向ブリーフセラピー（ほんの森出版；森俊夫黒沢幸子著）ピア・サポートの社会学（晃洋書房；伊藤智樹著）	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	毎時間ごとに課題レポート（学修録）を課すことで学習内容の定着を目指す
備考	相談がある場合は、事前に連絡して場所と時間を設定。 個人的相談はメールにて対応可能（初回のみとし、2回目後は面談にて対応）

授業科目名		担当教員				
保健統計学		眞田 正世				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 後学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		眞田正世(看護師)				
授業概要						
医療や看護の現場では、EBM/EBN(科学的根拠に基づく医療/看護の実践)が求められる。また、科学的根拠を示すためには、多くの診療・看護症例を対象にデータに基づいて統計学的に処理、分析、結果をまとめる能力が不可欠となる。本講義では、EBNの実践に必要な統計学の理解と活用について学び、理解を深める。また、診療・看護現場での活用を目標に、EXCELを用いたデータの収集・グラフ化・分析と仮説検定手法を講義する。						
学修の到達目標						
看護に関する統計データの取り扱いとEBNの実践に活用するための統計手法を理解する。 知識：①医療・看護現場で発生する種々のデータを収集・分析・処理・活用を実践できる能力を身につける。 技術：②医療・看護現場で発生するデータの分析結果を判断・検定し、データが示す意味を正しく理解し、報告書にまとめる能力を身につける。 態度：③医療・看護の現場で収集したデータは、医療従事者と患者が共に共有し、効果的な医療・看護の提供に貢献できるものでなければならない。患者が理解しやすい内容で説明できる姿勢に尽力する。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	統計学とは何か、統計学における基本的なものの考え方と活用手法を理解する。 EXCELの基本的な活用方法も確認	① ③	眞田	講義	事前配布の研究論文を読み、不明な点を抽出しておく(120分)	講義内容を再確認する。課題を練習問題を行う(120分)
2	データの種類とまとめ方 1. データの種類と代表値 データの種類、データの特徴、代表値とは バラツキとは 2. 練習問題	② ③	眞田	講義	前回の講義内容を十分に理解しておくこと(120分)	課題の練習問題を行う(120分)
3	データの種類とまとめ方 1. 表と図の利用 1) 度数分布表 2) ヒストグラム 3) 箱ひげ図 4) グラフ化の効果 2. 練習問題	① ②	眞田	講義	前回の講義内容を十分に理解しておくこと(120分)	課題の練習問題を行う(120分)
4	1. 代表的な確率分布 1) 確率分布とは 2) 正規分布とは 3) 二項分布とは 2. 練習問題	① ②	眞田	講義	前回の講義内容を十分に理解しておくこと(120分)	課題の練習問題を行う(120分)
5	1. 2種類のデータの関係性 1) 相関 2) 回帰 2. 練習問題	① ② ③	眞田	講義	前回の講義内容を十分に理解しておくこと(120分)	課題の練習問題を行う(120分)
6	1. 検定の基礎 1) 推定と検定 記述統計と推測統計 2) 練習問題 2. 検定の基礎 1) 2つのグループの違い 2) t検定とF検定 3) スチューデントのt検定とウェルチの検定 3) 3グループ以上の平均値の差の検定	① ②	眞田	講義	前回の講義内容を十分に理解しておくこと(120分)	課題の練習問題を行う(120分)
7	1. 検定の応用 1) ノンパラメトリック検定 順位尺度、ウイルコクソンの符号順位検定、マンホイットニーのU検定	① ②	眞田	講義	前回の講義内容を十分に理解しておくこと(120分)	課題の練習問題を行う(120分)
8	1. 人口動態統計 2. 人口動態統計 3. 生命表 4. 基幹統計 5. 基礎的な統計調査 6. 医療経済統計	① ② ③	眞田	講義	前回の講義内容を十分に理解しておくこと(120分)	教科書を十分に理解する(120分)
定期試験						

評価基準・評価方法	
課題 (20%) 態度 (10%) 筆記試験 (70%)。	
使用教科書	
ていねいな保健統計学 / 白戸亮吉、鈴木研太. 一羊土社, 2022年2月, 978-4-7581-0972-7	
参考図書	
EXCELの基本的な活用については事前に学習しておくことが望ましい。練習問題を行い、理解度を確認しながら進める。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	全体の理解度を確認し、理解不十分な点は次の講義で説明する。成績が基準点に達しない場合には、追試試験または、レポートの提出を求める。
備考	講義時間に比して、授業内容はボリュームがある。したがって、看護学生として学ぶべき内容として、EXCELの活用や統計学の基本的な理解を中心とした学習とする。実践的な授業であるため、データの収集・分析・報告書作成能力やエクセルの事前の活用スキルが求められる。

授業科目名		担当教員				
看護と法律		皮野 さよみ				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	3年 後学期	1単位(15時間)		講義		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		皮野 さよみ(看護師)				
授業概要						
法令に関する一般的事項を学んだ後、看護関係法令の基本及び厚生行政のしくみを学び、保健師助産師看護師法をはじめとする看護師業務に関係の深い関係法令を系統だてて学ぶ。						
学修の到達目標						
①看護師として必要な医療関係、福祉関係の法令について学び、理解を深める。 ②患者さんを取り巻く法令を理解し支援する能力を身につけることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	チーム医療と法の構造、理念と医療安全、保健師助産師看護師法	① ②	皮野	講義	保健師助産師看護師法を重点的に学習(120分)	講義内容全般に学習(120分)
2	医療専門職に関する法律、福祉専門職に関する法律	① ②	皮野	講義	医療専門職について学習(120分)	講義内容全般に学習(120分)
3	物に関する法律、医療法等	① ②	皮野	講義	医療法を重点的に学習(120分)	講義内容全般に学習(120分)
4	医薬品医療機器総合機構法～高齢者医療確保法	① ②	皮野	講義	感染症法等を重点的に学習(120分)	講義内容全般に学習(120分)
5	介護保険法～特定B型肝炎感染者給付規制法	① ②	皮野	講義	介護保険法を重点的に学習(120分)	講義内容全般に学習(120分)
6	生活保護法～難病医療法	① ②	皮野	講義	障害者関係の法を学習(120分)	講義内容全般に学習(120分)
7	医療政策に関する法律～社会的弱者対策	① ②	皮野	講義	医療政策を全般的に学習(120分)	講義内容全般に学習(120分)
8	労働政策に関する法律～医療過誤	① ②	皮野	講義	医療過誤を重点的に学習(120分)	講義内容全般に学習(120分)
	試験：筆記試験又はレポート					

評価基準・評価方法	
試験（筆記試験又はレポート）80%，授業態度20%	
使用教科書	
ナシグ・グラフィカ，健康支援と社会保障④看護をめぐる法と制度 / 株式会社メグィ出版，2023年，978-4-8404-7838-0	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	次の講義時に説明・解説等を行う。
備考	質問は講義時間中や終了後に受け付ける。

授業科目名		担当教員				
共生社会と福祉		加藤 清人				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 前学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人(作業療法士)				
授業概要						
共生社会と福祉の学習では、少子高齢社会による人口減少が進行してきているなか、福祉へのニーズも多様化してきている。障害のある人が地域において人間的な自立生活が可能な福祉がどのようなものでなければならないかを学ぶ。また、地域包括支援体制を構築すること、支え合う環境整備や地域住民の参画といった誰もが支え合う共生社会の実現についても学ぶ。各講義において、それぞれの要点整理をする時間を設定し、学習理解を深める。						
学修の到達目標						
①障害福祉に関する基礎を学び、障害者を取り巻く地域環境について自己の考えも踏まえ説明することができる。 ②地域包括ケアシステムと法制度の概略について説明することができる。 ③これから必要とされる地域支援について自己の考えを述べるすることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	障害者福祉で用いられる思想(1)	①			配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
2	障害者福祉で用いられる思想(2)	① ②			配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
3	地域包括ケアシステムとは	②			配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
4	共生社会にむけたまちづくり	① ② ③			配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
5	障害者福祉(1) 障害者総合支援法	②			配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
6	障害者福祉(2) 共生社会の実現にむけて	②			配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
7	高齢者福祉・介護保険制度	② ③			配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
8	リハビリテーションの現状と課題	③			配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
レポート課題（100％）で評価する。文章構成や自己の考えを述べているかなども評価対象とする。	
使用教科書	
参考図書	
講義の際に適宜ビデオと資料を活用する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	最終講義時に全体にむけてフィードバックを行う。
備考	毎回、授業開始時に資料を配布する。 主体的に取り組むこと。質問は随時受け付ける。

授業科目名		担当教員				
医療と経済		塩野 美里				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	3年 後学期	1単位(15時間)		講義		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		医療法人勤務				
授業概要						
経済学・行動経済学・経営学・医療サービス、TQM（総合的質経営）の観点から医療について考えることで、医療を多角的にとらえる視点を養い、医療経営や医療の質向上のための知識・スキルを習得する。						
学修の到達目標						
①日本の医療がおかれている現状と今後の展望について理解し、自分の言葉で説明できる。 ②経済学・行動経済学・経営学の観点から、医療の特性について、自分の言葉で説明できる。 ③医療経営の質向上のための具体的な提案ができる。 ④サービス業の観点から、医療の特性について、自分の言葉で説明できる。 ⑤医療の質向上のための具体的な提案ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、講義の進め方と成績評価の説明。日本の医療の現状について考える。	①			日本の医療の現状について考えてくる(120分)	講義で学んだ内容を自分の言葉で文章化する(120分)
2	日本の医療のこれからについて考える。	②			日本の医療のこれからについて考えてくる(120分)	講義で学んだ内容を自分の言葉で文章化する(120分)
3	経済学の観点から医療について考える。	②			経済学の観点から医療について考えてくる(120分)	講義で学んだ内容を自分の言葉で文章化する(120分)
4	行動経済学の観点から医療について考える。	②			行動経済学の観点から医療について考えてくる(120分)	講義で学んだ内容を自分の言葉で文章化する(120分)
5	経営学の観点から医療について考える。	③			経営学の観点から医療について考えてくる(120分)	講義で学んだ内容を自分の言葉で文章化する(120分)
6	医療組織の経営分析の手法を学び、経営の質向上のための取組みについて考える。	④			経営分析の観点から医療について考えてくる(120分)	講義で学んだ内容を自分の言葉で文章化する(120分)
7	サービス業として医療をとらえる意義や、患者満足度・職員満足度の重要性や満足度向上の取組みについて考える	⑤			サービス業の観点から医療について考えてくる(120分)	講義で学んだ内容を自分の言葉で文章化する(120分)
8	TQM（総合的質経営）の重要性や取組みについて考える	⑤			医療サービスの質向上の観点から医療について考えてくる(120分)	講義で学んだ内容を自分の言葉で文章化する(120分)
定期試験 課題						

評価基準・評価方法	
課題レポート（100％）を総合的に評価する。定期試験は実施しない。	
使用教科書	
なし	
参考図書	
適宜講義にて紹介する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	事前課題レポートについて、全体の総評コメントを講義にて行う。
備考	

授業科目名		担当教員				
社会福祉学		木林 勉				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	2単位(30時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		木林勉(理学療法士)				
授業概要						
我が国の人々の生活を支える様々な保健医療福祉制度の成り立ちを理解し、保健医療行政と社会保障制度の役割、意義及び展望について学習する。人間のライフサイクルに沿った保健医療福祉サービスの展開を学び、日々の看護活動に活かせるよう学習する。また、社会保障の基盤である社会権(法)の基本的理解の問題や資本主義市場と社会保障との関係を社会福祉の現場実践と関係づけて学ぶ。						
学修の到達目標						
①社会福祉と社会保障の目的や機能、歴史について説明できる。 ②社会福祉と社会保障の対象・領域と制度・サービスについて説明できる。 ③社会福祉と社会保障の諸制度と日々の生活との関連について説明できる。 ④社会福祉と看護と多職種連携や支援の必要性について説明できる。 ⑤ライフサイクル(人の一生)と社会保障制度と看護との関わりについて説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	なぜ看護師は社会福祉や社会保障を学ぶのか	① ③			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	授業の学びおよび重要用語等に関するレポート作成(120分)
2	暮らしと社会保障・社会福祉・社会福祉のしくみと社会資源	① ② ③			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	授業の学びおよび重要用語等に関するレポート作成(120分)
3	地域福祉の推進・地域共生社会	② ③ ④			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	授業の学びおよび重要用語等に関するレポート作成(120分)
4	子育て支援・少子化対策、児童虐待、母子保健および子どもの貧困に関する施策	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	授業の学びおよび重要用語等に関するレポート作成(120分)
5	障害者福祉の法律と施策	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	授業の学びおよび重要用語等に関するレポート作成(120分)
6	高齢者保健福祉制度・地域包括支援センター	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	授業の学びおよび重要用語等に関するレポート作成(120分)
7	生活保護のしくみと内容・社会保険制度	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	授業の学びおよび重要用語等に関するレポート作成(120分)
8	生活と福祉	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	授業の学びおよび重要用語等に関するレポート作成(120分)
9	対象別にみた社会福祉の事例ー子育て支援・少子化対策、児童虐待、母子保健および子どもの貧困	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	授業の学びおよび重要用語等に関するレポート作成(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	対象別にみた社会福祉の事例－障がいを持った子どもの教育支援	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	地域で障がいをもちながら生活している人を支える社会福祉や社会保障制度についてまとめる。(120分)
11	対象別にみた社会福祉の事例－障害をもつ人の一般就労	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	障害者の一般就労について、働く職種と業務の内容をまとめる。(120分)
12	対象別にみた社会福祉の事例－地域で生きる働く場所	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	地域の中の障害者の一般就労やデイケアについて、看護者の役割や機能について考えをまとめる。(120分)
13	対象別にみた社会福祉の事例－地域における高齢者の社会参加	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	地域における高齢者の社会参加と看護支援について考えをまとめる。(120分)
14	日常生活自立支援事業－高齢や障がい（知的障がい、精神障がい）	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が社会とのつながりをもって「生きる」ことについて考えをまとめる。(120分)
15	ライフサイクル（人の一生）と社会保障制度と看護との関わりと役割について	② ③ ④ ⑤			関連動画がある場合は視聴する。 (120分)	ライフサイクル（人の一生）と社会保障制度とについて図や表でまとめる。ライフサイクルと看護の関わりについて考えをまとめる。(120分)
	定期試験					
評価基準・評価方法						
定期試験（50％）、授業の態度や課題レポート（50％）						
使用教科書						
配布プリントを使用する。						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	講義時間中や終了後に適宜質問を受け付ける。各講師の質問等については、次の講義かクラスルームを通して説明し、フィードバックします。課題レポートは採点して返却します。課題レポートの内容が合格点に満たず不十分な場合はコメントをつけて返却し再提出を求めることがあります					
備考						

授業科目名		担当教員				
看護学概論		眞田 正世				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		眞田 正世(看護師)				
授業概要						
看護の概念・看護の定義、看護の主要概念(人間・健康・環境・看護)と相互の関連を学び、看護・看護教育の歴史の変遷を通して、看護の法律・施策に基づいた役割と機能の変化を学ぶ。また、看護理論・概念モデルと看護過程の関係を理解すると共に、看護における倫理を学ぶ。						
学修の到達目標						
①看護の概念・看護の定義について説明できる。 ②看護の主要概念(人間・健康・環境・看護)と相互の関連を説明できる。 ③看護・看護教育の歴史の変遷を通して、看護の法律・施策に基づいた役割と機能の変化・今後の課題を説明できる。 ④看護理論・概念モデルと看護過程の関係について説明できる。 ⑤看護における倫理について説明できる。 ⑥看護と看護教育における今後の課題を述べることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	看護とは 看護の本質：看護の概念、看護の定義、看護の主要概念	① ②	眞田	講義		「看護の定義について」のレポート作成 60分
2	看護の役割と機能：看護ケア、看護実践と質の保証	①	眞田	講義	今まで考えていた「看護」についてのイメージをまとめる 30分	「看護について分かったこと」のレポート作成 30分
3	看護の対象の理解：人間とは、人間のこころとからだ	②	眞田	講義 演習		人間のこころとからだについての関連をレポート 30分
4	看護の対象の理解：人間の発達と暮らし	②	眞田	講義 演習	自己の考える「人間の成長と生活」とはをまとめる 30分	「人間とは」のレポート作成・提出 60分
5	健康とは：健康のとらえ方、障がいとは、健康と生活	②	眞田	講義 演習	自己の考える「健康とは」レポート作成 30分	「健康とは」のレポート作成 30分
6	国民の健康と生活：国民の健康状況、ライフサイクル	②	眞田	講義 演習	自己の考える「健康を障害する事象」とは 30分	「健康とは」のレポート作成・提出 30分
7	看護の提供者：看護の歴史、看護職の資格、制度、継続教育	③	眞田	講義	「日本の看護の歴史」の知りえることをレポート作成 30分	「看護の歴史と現在の看護について」レポート作成 30分
8	看護の法律(保健師助産師看護師法等)・施策	③	眞田	講義	教科書の「保健師助産師看護師法」を読む 30分	国試過去問から看護の法律や施策について理解したことをまとめレポート作成 30分
9	看護提供のしくみ：サービスとしての看護、場、制度、看護管理、医療安全	③	眞田	講義 演習	「看護提供の仕組み」について教科書P220～222まで読む 30分	「看護のサービス提供の場」についてレポート作成 30分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	看護理論・看護研究と看護実践（看護過程）のつながり	④	眞田	講義	教科書の「看護倫理・看護研究と看護実践」を読む 30分	講義で学んだことを復習し、レポート作成 30分
11	看護理論（家）と看護実践（看護過程）：バージニアヘンダーソン・オレム他	④	眞田	講義演習	該当する「看護理論と看護実践」に関する内容について予習する 30分	講義・演習で学んだことを復習し、レポート作成 30分
12	看護理論（家）と看護実践（看護過程）：オーランド・ロイ・ベナー他	④	眞田	講義演習	該当する「看護理論と看護実践」に関する内容について予習する 30分	講義・演習で学んだことを復習し、レポート作成・提出 30分
13	看護における倫理：倫理の概念，医療・看護における倫理と社会	⑤	眞田	講義演習	医療倫理的問題について新聞記事を読む。30分	講義内容資料を確認し、意見をまとめる 30分
14	看護における倫理的課題	⑤	眞田	講義演習	看護の倫理的問題について新聞記事を読む 30分	「現代の看護倫理の問題点」についてレポート・提出 30分
15	看護と看護教育における今後の課題	⑥	眞田	講義演習	「自己の考える看護」のレポート作成 30分	「看護学概論の講義で理解できたこと」のレポート提出30分
	試験（筆記）		眞田			
評価基準・評価方法						
記述試験（60％），レポート（30％），GW・クラスでの意見発表の参加度等（10％）						
使用教科書						
看護学概論 / 茂野香おる他.--第17版--医学書院，2021年，978-4-260-03862-1 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 / 秋葉公子他.--第4版--ヌーヴェルヒロカワ，2016年，978-4-86174-056-5						
参考図書						
①黒田裕子監修：やさしく学ぶ看護理論，第4版，日総研，ISBN9784776014072 ②筒井 真優美（編）：看護理論—看護理論20の理解と実践への応用，改訂第2版，南江堂，ISBN N9784524257287 ③勝又 正直：はじめての看護理論，第2版，医学書院，ISBN 9784260333870						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	事前学習課題は、授業中のグループワーク等で発表し、必要により解説する。事後学習レポートは必要時解説し、評価を行う。					
備考	講義順及び内容・評価基準・担当者がレポート課題の追加等により、変更になる場合がある。					

授業科目名		担当教員				
基礎看護技術 I		眞田 正世・長屋 江見・佐々木 智恵・坂本 裕子 (代表教員 眞田正世)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	1年 前学期	2単位(45時間)		講義・演習 オムバス		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		眞田正世・長屋江見・佐々木智恵・坂本裕子(看護師)				
授業概要						
看護技術の基盤となる考え方を学ぶ。看護技術の共通要素としての感染予防・環境・ボディメカニクス等の知識と技術を基本とし、リネン交換・清拭・寝衣交換・頭髪・口腔の清潔・糞法・移動の知識・技術・態度を学ぶ。演習において対象者への援助を行う中で、羞恥心に配慮した技術と態度を学ぶ。						
学修の到達目標						
①看護技術の基盤となる考え方を説明できる。 ②看護技術の共通要素としての感染予防・環境・ボディメカニクス等の看護技術が実施できる。 ③リネン交換・全身清拭・寝衣交換・頭髪・口腔の清潔・移動の看護技術が実施できる。 ④対象者への羞恥心の配慮を考えた上で看護技術が実施できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	看護技術の基盤となる考え方 療養環境と環境整備	① ②	眞田 佐々木	講義	教科書を読み疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
2	感染予防	① ②	佐々木	講義	教科書を読み疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
3	感染予防の実際	① ②	佐々木 長屋 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める60分	演習で学んだこと、今後の課題について振り返る60分
4	ボディメカニクス・安楽な体位と体位変換	① ②	長屋	講義	教科書を読み、疑問点を明確にしておく60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
5	ボディメカニクス・安楽な体位と体位変換	③ ④	長屋 佐々木 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める60分	演習で学んだこと、今後の課題について振り返る60分
6	ボディメカニクス・臥床患者の体位変換	③ ④	長屋	講義	教科書を読み疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
7	臥床患者のリネン交換	② ③	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める120分	
8	臥床患者のリネン交換	② ③	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る120分
9	清潔の意義・全身の清拭・衣生活の意義	① ③	坂本	講義	教科書を読み疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	清潔の意義・全身の清拭・衣生活の意義	① ③	坂本	講義	教科書を読み疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
11	臥床患者の全身清拭・寝衣交換の援助	② ③ ④	坂本 眞田 長屋 佐々木	演習	視聴教材を使用し、知識を深める180分	
12	臥床患者の全身清拭・寝衣交換の援助	② ③ ④	坂本 眞田 長屋 佐々木	演習		
13	臥床患者の全身清拭・寝衣交換の援助	② ③ ④	坂本 眞田 長屋 佐々木	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る180分
14	手足の清潔	① ②	坂本	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
15	手足の清潔の援助	② ③	坂本 長屋 佐々木	演習	視聴教材を使用し、知識を深める60分	演習で学んだこと、今後の課題について振り返る60分
16	頭髪の清潔	① ②	坂本	講義	教科書を読み疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
17	頭髪の清潔の援助	② ③	坂本 長屋 佐々木	演習	視聴教材を使用し、知識を深める120分	
18	頭髪の清潔の援助	② ③	坂本 長屋 佐々木	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る120分
19	口腔の清潔	① ②	坂本	講義	教科書を読み疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
20	口腔の清潔の援助	② ③ ④	坂本 長屋 佐々木	演習	視聴教材を使用し、知識を深める60分	演習で学んだこと、今後の課題について振り返る60分
21	髡法	① ②	坂本	講義・演習	教科書を読み、疑問点を明確にする60分	演習で学んだこと、今後の課題について振り返る60分
22	運動・活動の意義	① ③	長屋	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
23	運動・活動の援助	② ③	長屋 佐々木 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める60分	演習で学んだこと、今後の課題について振り返る60分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）：筆記試験 50% 精神運動・情意領域（技術・態度）：態度10% 技術試験40%						
使用教科書						
統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ / 茂野香おる他.--第18版--医学書院, 2022, 978-4-260-04211-6 系系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ / 任 和子他.--第18版--医学書院, 2022, 978-4-260-04212-3						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・岡庭豊：看護技術がみえるvol11.2臨床看護技術，メディックメディア ・竹内修二・松永保子編：解剖生理の視点でわかる看護技術の根拠Q &A，照林社 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	各講義時にレポートに対する内容説明や、小テストの解答・説明を行っていく					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・欠課した場合は、必ず担当教員に申し出て指示を仰ぐ。 ・課題・演習に関して、講義・演習時に説明する。 ・演習前の課題等を行っていない又は確認ができない場合は見学とする。 ・演習前に身だしなみが整っていない場合（髪型・爪・服装等）は見学とする。 ・質問には次回の授業で回答し、フィードバックする。 ・技術については技術試験を行う。実施する内容は適宜説明する。 ・講義や演習内容・担当者は変更することがある。 					

授業科目名		担当教員				
基礎看護技術Ⅱ		長屋 江見・眞田 正世・佐々木 智恵・坂本 裕子 (代表教員 長屋江見)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	2単位(30時間)	講義・演習 オムバス			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長屋江見・眞田正世・佐々木智恵・坂本裕子(看護師)				
授業概要						
日常生活援助の基本である食事・排泄の看護技術を学ぶ。また、診療の補助技術の基本である滅菌物の取り扱い・検体検査の看護技術を学ぶ。演習において対象者への援助を行う中で、羞恥心に配慮した技術と態度を学ぶ。						
学修の到達目標						
①食事・排泄についての看護技術が実施できる。 ②滅菌物の取り扱い・検体の取り扱いについての看護技術が実施できる。 ③対象者への羞恥心の配慮を考えた上で看護技術が実施できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	食事の援助	①	坂本	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする 120分	講義資料の内容を見直し、まとめる 120分
2	食事の援助	①	坂本	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする 120分	講義資料の内容を見直し、まとめる 120分
3	食事の援助の実際	①	坂本 長屋 佐々木	演習	視聴教材を使用し、知識を深める120分	演習で学んだこと、今後の課題について振り返る120分
4	非経口栄養法(経管栄養法・中心静脈栄養法)	①	坂本	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする 180分	講義資料の内容を見直し、まとめる 180分
5	経管栄養の実際	①	坂本 眞田 長屋 佐々木	演習	視聴教材を使用し、知識を深める240分	
6	経管栄養の実際	①	坂本 眞田 長屋 佐々木	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る240分
7	排泄の援助	①	佐々木	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする 240分	講義資料の内容を見直し、まとめておく 240分
8	排泄の援助の実際	① ③	佐々木 長屋 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める240分	
9	排泄の援助の実際	① ③	佐々木 長屋 坂本	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る240分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	滅菌物の取り扱い	②	長屋	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする 120分	講義資料の内容を見直し、まとめる 120分
11	無菌操作	②	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める240分	
12	無菌操作	②	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る240分
13	診察・治療・処置に伴う看護の意義・目的	②	佐々木	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする 120分	講義資料の内容を見直し、まとめる 120分
14	検査の目的・方法・看護 身体計測	②	佐々木	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする 120分	講義資料の内容を見直し、まとめる 120分
15	検体検査（静脈血採血以外）	②	佐々木	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする 120分	講義資料の内容を見直し、まとめる 120分
	試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）：筆記試験 50% 精神運動・情意領域（技術・態度）：態度10% 技術試験 40%						
使用教科書						
系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ / 茂野香おる他.--第18版--医学書院, 2022, 978-4-260-04211-6 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ / 任 和子他.--第18版--医学書院, 2022, 978-4-260-04212-3						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・岡庭豊：看護技術がみえるvol.2臨床看護技術，メディックメディア ・竹内修二・松永保子編：解剖生理の視点でわかる看護技術の根拠Q&A，照林社 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	各講義時にレポートに対する内容説明や、小テストの解答・説明を行っていく					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・欠課した場合は、必ず担当教員に申し出て指示を仰ぐ。 ・課題・演習に関して、講義・演習時に説明する。 ・演習前の課題等を行っていない又は確認ができない場合は見学とする。 ・演習前に身だしなみが整っていない場合（髪型・爪・服装等）は見学とする。 ・質問には次回の授業で回答し、フィードバックする。 ・技術については技術試験を行う。実施する内容は適宜説明する。 ・講義や演習内容・担当者は変更することがある。 					

授業科目名		担当教員				
基礎看護技術Ⅲ		長屋 江見・眞田 正世・佐々木 智恵・坂本 裕子 (代表教員 長屋江見)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	2年 前学期	2単位(45時間)		講義・演習 オムバス		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長屋江見・眞田正世・佐々木智恵・坂本裕子(看護師)				
授業概要						
診療の補助技術である浣腸・導尿・吸引・薬物療法・静脈血採血を学ぶ。演習において対象者への援助を行う中で、侵襲に伴う負担や羞恥心に配慮した技術と態度を学ぶ。						
学修の到達目標						
①看護者が実践する看護技術の基本が実施できる。 ②看護技術の実施にあたり、解剖生理を理解し根拠となる知識が説明できる。 ③対象者への侵襲に伴う負担や羞恥心の配慮を考えた上で看護技術が実施できる。 ④浣腸・導尿・吸引・薬物療法・静脈血採血についての看護技術が実施できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	浣腸・摘便	① ②	佐々木	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
2	浣腸の実際	① ② ③ ④	佐々木 眞田 長屋 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める120分	
3	浣腸の実際	① ② ③ ④	佐々木 眞田 長屋 坂本	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る120分
4	導尿	① ②	佐々木	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする120分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
5	導尿の実際	① ② ③ ④	佐々木 長屋 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める180分	
6	導尿の実際	① ② ③ ④	佐々木 長屋 坂本	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る120分
7	吸引・酸素療法	① ②	佐々木	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
8	吸引・酸素療法の実際	① ② ③ ④	佐々木 長屋 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める180分	
9	吸引・酸素療法の実際	① ② ③ ④	佐々木 長屋 坂本	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る120分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	薬物療法における基礎知識	① ②	長屋	講義	教科書をよく読み疑問を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
11	注射器の取り扱い、針刺し事故防止	① ②	長屋	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
12	静脈血採血の実施方法（血液検体の取り扱い）	① ②	長屋	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする60分	講義資料の内容を見直し、まとめる60分
13	静脈血採血の実際	① ② ③ ④	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める180分	
14	静脈血採血の実際	① ② ③ ④	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る120分
15	注射適応の援助（筋肉内注射・皮下注射・皮内注射）	① ②	長屋	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする120分	
16	注射適応の援助（筋肉内注射・皮下注射・皮内注射）	① ②	長屋	講義		講義資料の内容を見直し、まとめる120分
17	筋肉内注射の実際	① ② ③ ④	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める180分	
18	筋肉内注射の実際	① ② ③ ④	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習		
19	筋肉内注射の実際	① ② ③ ④	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る120分
20	静脈内注射・点滴静脈内注射	① ②	長屋	講義	教科書を読み、疑問点を明確にする120分	
21	静脈内注射・点滴静脈内注射	① ②	長屋	講義		講義資料の内容を見直し、まとめる120分
22	静脈内注射・点滴静脈内注射の実際	① ② ③ ④	長屋 佐々木 坂本	演習	視聴教材を使用し、知識を深める120分	
23	静脈内注射・点滴静脈内注射の実際	① ② ③ ④	長屋 佐々木 坂本	演習		演習で学んだこと、今後の課題について振り返る120分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）：筆記試験 50% 精神運動・情意領域（技術・態度）：態度10% 技術試験 40%						
使用教科書						
系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学（3） 基礎看護技術Ⅱ / 任 和子他、--第18版--医学書院，2022，978-4-260-04212-3						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・岡庭豊：看護技術がみえるvol.2臨床看護技術，メディックメディア ・竹内修二・松永保子編：解剖生理の視点でわかる看護技術の根拠Q&A，照林社 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	各講義時にレポートに対する内容説明や、小テストの解答・説明を行っていく					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・欠課した場合は、必ず担当教員に申し出て指示を仰ぐ。 ・課題・演習に関して、講義・演習時に説明する。 ・演習前の課題等を行っていない又は確認ができない場合は見学とする。 ・演習前に身だしなみが整っていない場合（髪型・爪・服装等）は見学とする。 ・質問には次回の授業で回答し、フィードバックする。 ・技術については技術試験を行う。実施する内容は適宜説明する。 ・講義や演習内容・担当者は変更することがある。 					

授業科目名		担当教員				
基礎看護技術Ⅳ		眞田 正世・長屋 江見・佐々木 智恵・坂本 裕子 (代表教員 眞田正世)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 前学期	2単位(30時間)	講義・演習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		眞田正世・長屋江見・佐々木智恵・坂本裕子(看護師)				
授業概要						
事例を通じて看護の対象の健康段階や健康障害に応じた看護の展開方法(情報収集の方法、情報の分析・解釈、関連図の作成、看護計画立案・実施、看護計画の評価・修正)を学ぶ。看護計画の実施の演習に当たっては、安全・安楽・自立を考慮し、メンバーの一員としての役割を理解し、協調性や責任ある行動がとれるようにする。						
学修の到達目標						
①クリティカルシンキング・看護過程の意義、事例展開の目的・方法を説明できる。 ②事例をもとに、科学的根拠に基づいて分析し、看護問題を抽出することができる。 ③対象に応じた看護計画・日常生活の援助計画を立案できる。 ④日常生活援助技術を対象に応じて安全・安楽に実施できる。 ⑤実施した援助を振り返り評価・修正できる。 ⑥メンバーの一員としての役割を理解し、協調性や責任ある行動がとれる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	クリティカルシンキング・看護過程の意義	①	眞田	講義	事例患者の疾患について解剖生理・病態生理をまとめ240分	
2	看護過程の構成要素 ヘンダーソンの看護理論 アセスメント(情報収集)	① ②	眞田	講義		事例の対象疾患や治療等の学習をする 240分
3	アセスメント(分析) 常在条件 病理的状態	① ②	眞田	講義		常在条件・病理的状態を記入する240分
4	アセスメント(分析) 基本的ニード	① ②	眞田	講義		常在条件・病理的状態を記入する240分
5	アセスメント(分析・統合) 情報の関連(関連図)	① ② ③	眞田	講義	常在条件・病理的状態を提出する	基本的欲求の状態を記入する 240分
6	アセスメント(分析・統合) 情報の関連(関連図)	① ② ③	眞田	講義		基本的欲求の状態を記入する 240分
7	看護問題の明確化	① ② ③	眞田	講義		基本的欲求の状態を修正する 240分
8	看護問題の明確化 優先順位の検討	① ② ③	眞田	講義	分析した結果から看護問題の抽出をする 90分 基本的欲求の状態を提出する	分析した結果から看護問題の抽出をする 240分
9	看護計画の立案 看護目標・評価日の設定	① ② ③	眞田	講義		看護問題を修正する 240分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	看護計画立案：OP、TP、EP	① ② ③	長屋	講義	看護計画を立案する 90分 看護問題の抽出を提出する	看護計画を立案する 援助計画を立案する 240分
11	看護計画立案：OP、TP、EP	① ② ③	長屋	講義	看護計画を提出する 援助計画を提出する	看護計画を修正する 援助計画を修正する 240分
12	看護計画の実施・記録	① ② ③	長屋	講義		看護計画の加筆・修正をする 240分
13	看護計画の評価・修正	① ④ ⑤	長屋	講義		看護計画の加筆・修正をする 240分
14	看護活動の具体的方法：援助計画（VS）	① ④ ⑤ ⑥	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習		看護計画の評価をする 240分
15	看護活動の具体的方法：援助計画（VS）	① ④ ⑤ ⑥	長屋 眞田 佐々木 坂本	演習		看護計画の評価・修正をする 240分
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）：課題レポート 80% 精神運動・情意領域（技術・態度）：最終レポート20%						
使用教科書						
看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 / 秋葉公子他.--第4版--ヌーヴェルヒロカワ, 2016年, 978-4-86174-056-5						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・茂野香おる他：系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学 (2) 基礎看護技術Ⅰ, 医学書院 ・任 和子他：系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学 (3) 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院 						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	レポート・演習に関して、講義・演習時に説明を行う。 質問には次回の授業で回答し、フィードバックする。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題・演習に関して、講義・演習時に説明する。 ・質問には次回の授業で回答し、フィードバックする。 ・講義や演習内容・担当者は変更することがある。 					

授業科目名		担当教員				
フィジカルアセスメント I		眞田 正世・長屋 江見・佐々木 智恵・坂本 裕子 (代表教員 眞田正世)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習 オムバス			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		眞田正世・長屋江見・佐々木智恵・坂本裕子(看護師)				
授業概要						
看護におけるフィジカルアセスメントの概念と目的を理解し、対象者の健康状態を把握するために必要なフィジカルアセスメントに必要な知識と観察技術を習得する。人間の生命徴候(バイタルサイン)について、そのメカニズムを理解し、それらに影響を及ぼす要因を学ぶ。これらの学習を通して、呼吸・循環・体温を科学的な視点から観察し、分析・評価する方法と技術を講義・演習・技術試験を通じて習得する。						
学修の到達目標						
① 看護におけるフィジカルアセスメントの概念と目的、必要性を理解できる。 ② フィジカルアセスメントに必要な観察技術・基本的技術を理解できる。 ③ 対象の体温測定・脈拍測定・呼吸測定・血圧測定の必要性を理解し、適した方法を選択し実施できる。 ④ 体温・脈拍・呼吸・血圧の正常と異常が判断できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	フィジカルアセスメントとは フィジカルアセスメントに共通する技術	①	眞田	講義	解剖生理学の基礎知識 120分	フィジカルアセスメントとは 120分
2	バイタルサインとは バイタルサインの観察(体温・脈拍・呼吸)	① ②	佐々木	講義	呼吸器の解剖生理学 120分	体温・脈拍・呼吸・ 酸素飽和濃度の観察 120分
3	バイタルサイン観察(血圧測定)	① ②	佐々木	講義	循環器系・脳神経系の解剖生理学 120分	血圧・意識状態の観察 120分
4	バイタルサインの観察の実際(体温・脈拍・呼吸)	① ②	佐々木	講義	体温・脈拍・呼吸・ 血圧・意識状態の観察 120分	体温・脈拍・呼吸・ 血圧・意識状態の観察 120分
5	バイタルサイン観察の実際(意識状態、記録方法)	① ② ③ ④	佐々木 眞田 長屋 坂本	演習	体温・脈拍・呼吸・ 血圧・意識状態の観察方法 120分	体温・脈拍・呼吸・ 血圧・意識状態の観察方法 120分
6	フィジカルアセスメントに共通する技術に共通する技術(バイタルサインの観察)	① ② ③ ④	佐々木 眞田 長屋 坂本	演習	体温・脈拍・呼吸・ 血圧・意識状態の観察方法 120分	体温・脈拍・呼吸・ 血圧・意識状態の観察方法 120分
7	フィジカルアセスメントに共通する技術に共通する技術(バイタルサインの観察)	① ② ③ ④	佐々木 眞田 長屋 坂本	演習	体温・脈拍・呼吸・ 血圧・意識状態の観察方法 120分	体温・脈拍・呼吸・ 血圧・意識状態の観察方法 120分
8	フィジカルアセスメントに共通する技術に共通する技術(バイタルサインの観察)	① ② ③ ④	佐々木 眞田 長屋 坂本	演習	体温・脈拍・呼吸・ 血圧・意識状態の観察方法 120分	
	試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
認知領域（知識）： 筆記試験50% 精神運動・情意領域（技術・態度）： 態度10% 技術試験40%	
使用教科書	
フィジカルアセスメントガイドブック目と手でここまでわかる / 山内豊明.--第2版--医学書院, 2019年, 978-4-260-01384-0 系統看護学講座専門分野 I 基礎看護学〔2〕基礎看護技術 I / 茂野香おる他.--第18版--医学書院, 2022, 978-4-260-04211-6	
参考図書	
・日比原重明：フィジカルアセスメントナースに必要な診断の知識と技術 第4版 医学書院 2006年 ・藤崎 都：フィジカルアセスメント完全ガイド 第2版 Gakken 2012年	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	質問等については、次の講義時に説明し、フィードバックする
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・欠課した場合は、必ず担当教員に申し出て指示を仰ぐ。 ・課題・演習に関して、講義・演習時に説明する。 ・演習前の課題等を行っていない又は確認ができない場合は見学とする。 ・演習前に身だしなみが整っていない場合（髪型・爪・服装等）は見学とする。 ・質問には次回の授業で回答し、フィードバックする。 ・技術については技術試験を行う。実施する内容は適宜説明する。 ・講義や演習内容・担当者は変更することがある。

授業科目名		担当教員				
フィジカルアセスメントⅡ		眞田 正世・河合 克尚・長屋 江見・佐々木 智恵・坂本 裕子 (代表教員 眞田 正世)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習 オムバス			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		眞田正世(看護師)・河合克尚(理学療法士)・長屋江見・佐々木智恵・坂本裕子(看護師)				
授業概要						
「フィジカルアセスメントⅠ」で学んだフィジカルアセスメントの知識・観察技術を基盤とし、看護の対象者の健康状態をアセスメントする方法を、より実践的に学ぶ。特に症状をもつ成人期の患者へのアセスメント方法について理解し、実践できるようにする。さまざまな健康障害とレベルにある人に適切な看護を行うためのフィジカルアセスメントに必要な技術を習得する。						
学修の到達目標						
①フィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーションそれぞれの意義と必要性を理解できる。 ②フィジカルイグザミネーションに必要な基本的技術を習得することができる。 ③フィジカルアセスメントに必要な基本的技術を習得することができる。 ④フィジカルイグザミネーションで情報から、フィジカルアセスメントができ、対象の健康状態を知ることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	身体機能別のフィジカルアセスメント 呼吸器系と循環器系のフィジカルアセスメント 呼吸系のフィジカルイグザミネーション	① ②	眞田	講義	呼吸器系の解剖生理学 60分	呼吸器系のフィジカルアセスメント 30分
2	身体機能別のフィジカルアセスメント 循環器系、消化器系のフィジカルイグザミネーション	① ②	眞田	講義	循環器系の解剖生理学 60分	循環器系のフィジカルアセスメント 30分
3	呼吸器・循環器・消化器のフィジカルイグザミネーション	① ② ③ ④	眞田 長屋 佐々木 坂本	演習	呼吸器系・循環器系・消化器系フィジカルイグザミネーション 60分	呼吸器系のフィジカルイグザミネーションの実際 30分
4	呼吸器・循環器・消化器のフィジカルイグザミネーション	① ② ③ ④	眞田 長屋 佐々木 坂本	演習	呼吸器・循環器・消化器系フィジカルイグザミネーション 30分	循環器系・消化器系フィジカルイグザミネーションの実際 30分
5	呼吸系・循環系・消化器系のフィジカルアセスメント(異常)	① ②	眞田	講義	循環器系解剖生理学 閉塞性肺疾患・拘束性肺疾患・心不全・弁の異常 60分	呼吸器・循環器フィジカルアセスメント 30分
6	感覚系・中枢神経系のフィジカルアセスメント	① ②	眞田	講義	脳神経・感覚器系の解剖生理学 呼吸器のフィジカルアセスメント 60分	脳神経・感覚器系のフィジカルアセスメント 30分
7	呼吸器系・循環器系・消化器系のフィジカルアセスメント(正常と異常)	① ② ③ ④	眞田 長屋 佐々木 坂本	演習	呼吸器・循環器・脳神経・感覚器系のフィジカルイグザミネーション 30分	呼吸器・循環器・脳神経・感覚器系のフィジカルイグザミネーションの実際 30分
8	呼吸器系・循環器系・消化器系のフィジカルアセスメント(正常と異常)	① ② ③ ④	眞田 長屋 佐々木 坂本	演習	呼吸器・循環器・脳神経・感覚器系のフィジカルイグザミネーション 30分	呼吸器・循環器・脳神経・感覚器系のフィジカルイグザミネーションの実際 30分
9	運動系のフィジカルアセスメント	① ②	河合	講義	運動器系の解剖生理学 30分	運動器系のフィジカルアセスメント 30分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	運動系のフィジカルアセスメント	① ② ③ ④	河合	演習	運動器系のフィジカル ルイグザミネーション 30分	運動器系のフィジカル ルイグザミネーションの実際 30分
11	主な症状のアセスメント	① ②	眞田	講義		症状徴候のアセスメント 30分
12	主な症状のアセスメント	① ②	眞田	講義		症状徴候のアセスメント 30分
13	事例に沿ったアセスメント	① ②	眞田	講義	事例に沿ったアセスメント 30分	事例に沿ったアセスメント 30分
14	事例に沿ったアセスメント	① ②	眞田	講義	事例に沿ったアセスメント 30分	事例に沿ったアセスメント 30分
15	総合技術演習	① ② ③ ④	眞田 長屋 佐々 木 坂本	演習	身体機能別フィジカル ルイグザミネーション 90分	
	試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）： 筆記試験50% 精神運動・情意領域（技術・態度）： 演習レポート10% 技術試験40%						
使用教科書						
フィジカルアセスメントガイドブック目と手でここまでわかる / 山内豊明.--第2版--医学書院, 2019年, 978-4-260-01384-0 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ / 茂野香おる他.--第18版--医学書院, 2022年, 978-4-260-04211-6						
参考図書						
・日比原重明：フィジカルアセスメントナースに必要な診断の知識と技術 第4版 医学書院 2006年 ・藤崎 都：フィジカルアセスメント完全ガイド 第2版 Gakken 2012年						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	質問等については、次の講義時に説明し、フィードバックする					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・欠課した場合は、必ず担当教員に申し出て指示を仰ぐ。 ・課題・演習に関して、講義・演習時に説明する。 ・演習前の課題等を行っていない又は確認ができない場合は見学とする。 ・演習前に身だしなみが整っていない場合（髪型・爪・服装等）は見学とする。 ・質問には次回の授業で回答し、フィードバックする。 ・技術については技術試験を行う。実施する内容は適宜説明する。 ・講義や演習内容・担当者は変更することがある。 					

授業科目名		担当教員				
基礎看護学実習 I		眞田 正世・長屋 江見・佐々木 智恵・坂本 裕子 (代表教員 眞田正世)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	実習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		眞田正世・長屋江見・佐々木智恵・坂本裕子(看護師)				
授業概要						
<p>実際の医療現場・施設の見学を通し、病院・施設の役割・機能・設備などを学ぶ。また、看護の対象者にとっての療養環境の実際を学ぶ。看護師が行う援助場面の見学を通して、看護師の役割を知り、基本的な看護実践につながる能力を養う。看護を学ぶ者としての自覚を持ち、ふさわしい身だしなみや言動を身につけ、グループメンバーの一員としての自覚と責任を持つことができる。</p>						
学修の到達目標						
<p>①人々が療養生活を送る病院・施設の概要を知ることができる。 ②看護の対象者にとっての療養環境の実際を知ることができる。 ③看護師が行う援助場面の見学を通して、看護師の役割を知ることができる。 ④看護を学ぶ者として自覚がもて、ふさわしい身だしなみや言動を身につくことができる。 ⑤グループメンバーの一員としての自覚と責任を持つことができる</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	I. 実習目的					
	実際の医療現場の見学を通し、看護活動の実際や療養中の患者の生活環境を理解するとともに、看護を学ぶものとしての自覚を持つことができる。					
	II. 実習目標					
	1. 人々が療養生活を送る病院・施設の概要を理解できる。 2. 看護の対象者にとっての療養環境を理解できる。					
	3. 看護師が行う援助場面の見学を通して、看護師の役割を理解できる。 4. 看護を学ぶ者として自覚がもち、ふさわしい身だしなみや行動を身につけることができる。					
	III. 実習方法					
	1. 実習単位 : 1単位 30時間 2. 実習時間 : 6時間×5日間 3. 実習場所 : 平野総合病院・揖斐厚生病院・介護老人保健施設 岐阜リハビリテーションホーム・特別養護老人ホーム やすらぎの里 川部苑					
	4. その他 1) 事前に学内オリエンテーションを受ける。 2) 療養生活の環境・病室の環境のアセスメントと調整について事前学習を行う。					
	3) 病院・施設のオリエンテーションを行う。 4) 病院の病棟・施設オリエンテーションを通じて療養環境を知り、病院の看護師と行動を共にしながら看護の実際を見学する。					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
評価基準・評価方法						
目標達成度、実習態度、実習記録など実習状況全体を把握し、本科目評価基準に基づいて評価する。						
使用教科書						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	実習記録の添削、口頭にて説明する。					
備考	履修前提条件：看護学概論、基礎看護技術Ⅰを履修中であること					

授業科目名		担当教員				
基礎看護学実習Ⅱ		眞田 正世・長屋 江見・佐々木 智恵・坂本 裕子 (代表教員 眞田正世)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 前学期	2単位(60時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		眞田正世・長屋江見・佐々木智恵・坂本裕子・他(看護師)				
授業概要						
受け持ち患者を1名持ち、その患者のアセスメント、看護問題の抽出、看護計画の立案、実施、評価までの一連の過程を学ぶ。臨地実習における看護学生としての学習態度を学ぶ。臨地実習で学んだ学習内容を学内で確認し、一連の看護過程を振り返る。						
学修の到達目標						
①対象の全体像を把握するための情報を収集することができる。 ②科学的根拠に基づいたアセスメントが実施できる。 ③対象の看護問題が抽出できる。 ④対象の個性を考慮した看護計画を立案することができる。 ⑤看護計画に基づいた援助を実施することができる。 ⑥看護計画の評価・修正ができる。 ⑦対象で展開した看護技術を学内で評価し不足部分を補うことができる。 ⑧臨地実習で学んだ学習内容を学内で確認し、一連の看護過程を説明できる。 ⑨看護学生として必要な責任ある行動ができ周囲との関係を築くことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	I. 実習目的					
	受け持ち患者の看護過程の展開を行うとともに、看護学生としての実習態度を学ぶ。					
	II. 実習目標					
	1. 受け持ち患者のアセスメントができる 2. 科学的根拠に基づいたアセスメントから看護問題の抽出ができる					
	3. 受け持ち患者の個性を考慮した看護計画を立案することができる 4. 看護計画に基づいた援助を実施することができる					
	5. 看護計画の評価・修正ができる 6. 援助計画を立案し、実施・評価・修正ができる					
	7. 看護学生として責任ある行動ができる 8. 臨地実習で学んだ学習内容を学内で確認し、評価修正することができる。 9. 対象に展開した看護技術を評価し学内で不足部分を補うことができる。					
	III. 実習方法					
	1. 実習単位：2単位 60時間 2. 実習時間：7.5時間×8日間 3. 実習施設：平野総合病院、岩砂病院・岩砂マタニティ、関中央病院、岐阜清流病院、各務原リハビリテーション病院、山内ホスピタル、揖斐厚生病院					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	4. その他 1) 事前に学内でオリエンテーションを受け、事前学習および看護技術練習等を行う。 2) 1グループ2～6人のグループに分かれ各病棟で実習を行う。					
	3) 原則として、学生1～2名で患者1名を受け持ち、看護過程の展開を行う。 4) 各病棟において毎日ショートカンファレンスを行い、実習内容の共有や疑問等の解決を図る。 5) 学内の演習については指導教員の指示に従う。					
評価基準・評価方法						
目標達成度、実習態度、実習記録など実習状況全体を把握し、本科目評価基準に基づいて評価する。						
使用教科書						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	実習記録の添削と指導および技術の指導に含める。					
備考	履修前提条件：1年次の専門基礎科目全て、看護学概論、基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰを単位修得済みであること。基礎看護技術Ⅲ・Ⅳ、フィジカルアセスメントを履修中であること。					

授業科目名		担当教員				
地域・在宅看護概論		越納 美和・山田 剛司 (代表教員 越納 美和)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義 仏ニバス			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		越納美和(看護師)、山田剛司(訪問看護認定看護師)				
授業概要						
地域・在宅で療養する看護の対象とその家族について理解し、療養環境と対象の特徴、更に看護の目的について学ぶ。また、在宅療養の環境が介護を継続する家族の生活にあることを理解して、援助者としての訪問看護のあり方と、在宅療養が医療と福祉からの連携が必要であることを学習する。						
学修の到達目標						
①地域・在宅看護の目的と基本理念を説明できる。 ②地域・在宅看護の対象を生活者としてとらえる意義を説明できる。 ③在宅療養を支える訪問看護の特徴を説明できる。 ④在宅療法および健康増進のための社会資源および制度を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	第1回 地域・在宅看護の概念① ー地域と生活 ／地域・在宅看護の背景ー 第2回 地域・在宅看護の概念②	① ②	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	重要用語等に関するレポート作成。(120分)
2	第3回 在宅療養者と家族の支援① ー地域・在宅看護の対象者／在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件 第4回 在宅療養者と家族の支援② ー在宅療養の場における家族のとらえ方／在宅療養者の家族への看護 ／事例：療養者と家族へのケアー腹膜透析の独居療養者ー	① ②	山田	講義	予習においてはテキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	重要用語等に関するレポート作成。(120分)
3	第5回 地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護① ー地域アセスメントー 第6回 地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護② ー地域包括ケアシステムー	① ② ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	重要用語等に関するレポート作成。(120分)
4	第7回 地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護③ ー療養の場の移行に伴う看護／地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携 第8回 地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護④ ー在宅看護におけるケースマネジメント／ケアマネジメント／事例：地域の課題解決に発展したケースー	① ② ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	重要用語等に関するレポート作成。(120分)
5	第9回 地域療養を支える制度① ー社会資源の活用／医療保険制度／後期高齢者医療制度／介護保険制度／生活保護制度 第10回 地域療養を支える制度② ー障害者に関連する法律／難病法／事例：パーキンソン病患者の在宅復帰に向けた支援ー	③ ④	山田	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	重要用語等に関するレポート作成。(120分)
6	第11回 地域療養を支える制度③ ー子どもの在宅療養を支える制度と社会資源／在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源／高齢者施策ー 第12回 在宅療養を支える訪問看護① ー訪問看護の特徴／在宅ケアを支える訪問看護ステーションー	③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	重要用語等に関するレポート作成。(120分)
7	第13回 在宅療養を支える訪問看護② ー訪問看護サービスの展開(訪問看護における看護過程の特徴／訪問看護過程の実際)／訪問看護の記録／事例：療養場所の移行や病状の変化に応じた訪問看護 第14回 在宅看護における安全と健康危機管理 ー在宅看護における危機管理／日常生活における安全管理／災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理／事例：ALSの在宅療養者と災害対策ー	② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	重要用語等に関するレポート作成。(120分)
8	第15回 地域・在宅看護の動向と今後の発展・まとめ ー在宅看護の先駆的取り組み／これからの地域・在宅看護の発展に向けてー	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	重要用語等に関するレポート作成。(120分)
定期試験						

評価基準・評価方法	
評価：定期試験（70％）、授業態度・課題レポート（30％）講義時間中や終了後に適宜質問を受け付ける。	
使用教科書	
ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア / 臺 有桂・石田千絵・山下留理子 編. --第7版--株式会社メディカ出版, 2022年1月, 978-4-8404-7543-3	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	各講師の質問等については、次の講義がクラスルームを通して説明し、フィードバックします。課題レポートは採点して返却します。課題レポートの内容が合格点に満たず不十分な場合はコメントをつけて返却し再提出を求めることがあります。
備考	

授業科目名		担当教員				
地域・在宅看護活動論 I		越納 美和・堀 信宏・中川 幸代・清水 美智子・塚原 稔世・山田 剛司 (代表教員 越納 美和)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 前学期	2単位(30時間)	講義・演習 オムバス			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		越納美和(看護師)、堀信宏(理学療法士)、中川幸代(認定看護師)、清水美智子(認定看護師)、塚原稔世(看護師)、山田剛司(認定看護師)				
授業概要						
地域においてしばしば見られる医療処置に伴う援助技術を必要とする在宅療養者の療養状況を理解し、各々の技術の実践を学習する。在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、CAPD、褥創ケア、在宅中心静脈栄養、吸引などについて、施設内での援助方法をもとに在宅で実践する場合の応用や緊急時の対処および家族への指導方法を中心に学習する。また、療養者の自立支援とQOLに向けた在宅リハビリテーションの特徴と住宅改修のポイントについて学習する。						
学修の到達目標						
①対象特性に応じたアセスメントの内容を説明できる。 ②療養者の状況に応じた在宅看護の特異的なケアを具体を説明できる。 ③在宅における療養者とその家族の生活上の課題を検討し、説明できる。 ④在宅療養者とその家族の状況に応じた生活支援や医療管理の方法を検討し説明できる。 ⑤療養者とその家族が望む在宅療養生活を実現するためのケアマネジメントの展開について検討し説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	訪問看護技術①家庭訪問・初回訪問	① ②	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(120分)
2	訪問看護技術②在宅療養における看護過程の展開技術・在宅におけるアセスメント技術	① ②	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(120分)
3	在宅療養生活を支える基本的な技術③環境整備	① ② ③	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(120分)
4	在宅療養生活を支える基本的な技術④生活リハビリテーション/在宅療養生活を支える基本的な技術④生活リハビリテーション	③ ④	堀	講義	「住環境・動作」に関わる範囲を確認しておきましょう。(120分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(120分)
5	在宅療養生活を支える基本的な技術⑤感染予防	① ② ③	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(120分)
6	在宅療養生活を支える基本的な技術⑥ターミナルケア療養を支える看護技術(医療ケア)⑦疼痛管理	④ ⑤	塚原	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(120分)
7	日常生活を支える看護技術①食生活/日常生活を支える看護技術②排泄/日常生活を支える看護技術③清潔日常生活を支える看護技術④肢位の保持と移動	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(120分)
8	日常生活を支える看護技術⑤呼吸/日常生活を支える看護技術⑥睡眠	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(120分)
9	療養を支える看護技術(医療ケア)①医療ケアの原理原則/療養を支える看護技術(医療ケア)②薬物療法療養を支える看護技術(医療ケア)③がん外来化学療法	② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	療養を支える看護技術（医療ケア）④排痰ケア / 療養を支える看護技術（医療ケア）⑤ 気管カニューレ管理	② ③ ④ ⑤	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。（120分）	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。（120分）
11	療養を支える看護技術（医療ケア）⑥在宅酸素療法（HOT）/ 療養を支える看護技術（医療ケア）⑦在宅人工呼吸療法（HMV）：非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）療養を支える看護技術（医療ケア）⑧在宅人工呼吸療法（HMV）：気管切開下間欠的陽圧換気療法（TPPV）	② ③ ④ ⑤	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。（120分）	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。（120分）
12	療養を支える看護技術（医療ケア）⑨ 排尿ケア/療養を支える看護技術（医療ケア）⑩ストーマ管理療養を支える看護技術（医療ケア）⑬ 褥瘡管理	① ② ③ ④ ⑤	清水	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。（120分）	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。（120分）
13	療養を支える看護技術（医療ケア）⑪ 在宅経管栄養法（HEN）/ 療養を支える看護技術（医療ケア）⑫ 輸液管理（在宅中心静脈栄養法、末梢静脈栄養法）	① ② ③ ④ ⑤	中川	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。（120分）	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。（120分）
14	療養を支える看護技術（多職種連携ケアの実践）⑬	① ② ③ ④ ⑤	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。（120分）	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。（120分）
15	在宅療養を支える健康危機・災害対策① 在宅療養における健康危機・災害対策在宅療養を支える健康危機・災害対策② 地域包括ケアシステムにおける健康危機・災害対策	① ② ③ ④ ⑤	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を書きだしておく。また、関連動画がある場合は視聴する。（120分）	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。（120分）
	定期試験					
評価基準・評価方法						
定期試験（70%）、課題レポート、授業態度・参加度等（30%）						
使用教科書						
ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術 / 臺 有桂・石田千絵・山下留理子 編、一第2版—MCメディカ出版、2022年1月、978-4-8404-7544-0						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	各講師の質問等については、次の講義がクラスルームを通して説明し、フィードバックします。課題レポートは採点して返却します。課題レポートの内容が合格点に満たず不十分な場合はコメントをつけて返却し再提出を求めることがあります。					
備考						

授業科目名		担当教員				
地域・在宅看護活動論Ⅱ		熊田 ますみ・松野 ゆかり・古田 弥生・岩瀬 桃子・三輪 陽子・飯沼 温美・山田 剛司 (代表教員 熊田 ますみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)		講義・演習 オムバス		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		熊田ますみ(看護師)松野ゆかり(看護師)古田弥生(看護師)岩瀬桃子(看護師)三輪陽子(看護師)飯沼温美(看護師)山田剛司(看護師)				
授業概要						
地域包括ケアシステムの推進のなかで、病院だけではなく地域の施設・在宅において、終末期にある人の心身の変化とトータルペインを理解し、緩和ケアと終末期のケアにおける看護師の役割について学習する。また、スピリチュアルケアやグリーフケアについて議論し、自身の死生観を養うとともに、他職種連携の理解を深めることができる。						
学修の到達目標						
①死を迎えつつある対象及び家族の特徴を知り看護について説明できる。 ②発達段階に合わせた緩和ケア・終末期看護について説明できる。 ③在宅・地域における緩和ケア・終末期看護について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	終末期とは	①	熊田	講義	終末期・緩和ケアとは何か調べまとめる。(30分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(30分)
2	死を迎えるとは	①	熊田	講義	終末期を過ごす場所、環境、家族について自己の考えをまとめる。(30分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(30分)
3	死について考える(僧侶より説法を受ける)	①	非常勤講師	講義		説法を受け死について考えたことをレポート用紙1枚にまとめる。(60分)
4	死生観	①	飯沼	講義	死生観とは何かを調べまとめる。(30分)	死生観について教科書・資料を基に講義内容を復習する。(30分)
5	身体的苦痛の緩和	①	飯沼	講義	終末期における身体的苦痛について調べまとめる。(30分)	身体的苦痛の緩和の看護について、教科書・資料を基に講義内容を復習する。(30分)
6	緩和ケアの考え方	①	飯沼	講義	緩和ケアとは何かを調べまとめる。(30分)	緩和ケアについて、教科書・資料を基に講義内容を復習する。(30分)
7	緩和ケアにおける薬物療法	①	飯沼	講義	緩和ケアにおける薬物療法について調べまとめる。(30分)	緩和ケアにおける薬物療法について、教科書・資料を基に講義内容を復習する。(30分)
8	小児期にある人の終末期看護	① ②	岩瀬	講義	こどもの終末期に関する新聞記事、手記、またはブログを読んで、内容と感想をレポート用紙1枚にまとめる。(30分)	講義中に示した関連する過去問題について時、答え合わせをして分からなかったところを調べる。(30分)
9	成人期にある人の終末期看護	① ②	古田	講義	成人期の終末期に関する新聞記事、手記、またはブログを読んで内容と感想をレポート用紙1枚にまとめる。(30分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	老年期にある人の終末期看護	① ②	三輪	講義	高齢者の終末期について調べまとめる。(30分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(30分)
11	地域の施設・在宅で死を迎える人の支援	① ② ③	山田	講義	教科書P.254～273の地域・在宅緩和ケアについて精読する。(30分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(30分)
12	地域の施設・在宅で死を迎える人の支援	① ② ③	山田	講義	教科書P.254～273の地域・在宅緩和ケアについて精読する。(30分)	授業で学習した内容を、教科書・資料を用いて復習する。(30分)
13	死にゆく人、家族へのケアを考える (社会的ケア・スピリチュアルケア・家族ケア)	① ② ③	松野 古田 三輪	演習	演習事前学習課題を実施する。(30分)	演習課題を実施する。(30分)
14	死にゆく人、家族へのケアを考える・ディスカッション(社会的ケア・スピリチュアルケア・家族ケア)	① ② ③	松野 古田 三輪	演習	演習事前学習課題を実施する。(30分)	意見交換して学んだことをレポートにまとめ提出する。(30分)
15	終末期看護の在り方	① ② ③	熊田	講義	今までの講義資料を読み返し、緩和ケア・終末期看護について復習する。(30分)	自己の終末期看護の考えをまとめる。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
認知領域(知識)：定期試験80% レポート20% 精神運動・情意領域(態度)						
使用教科書						
ナーシンググラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア / 宮下 光令 他.--第3版第1刷--メディカ出版, 2022年, 978-4-8404-7540-2						
参考図書						
必要に応じて紹介する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	オムニバス形式のため各担当教員の授業時に課題の振り返りを行う。					
備考	質問等には、その都度対応します。					

授業科目名		担当教員				
地域・在宅看護活動論Ⅲ		越納 美和				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 後学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		越納美和(看護師)				
授業概要						
<p>疾病や障害を持ちながら在宅で生活、療養する人とその家族を対象とし、各人のニーズに基づく生活行動の支援方法、及び社会資源の活用方法を理解し、対象に必要な在宅看護の展開方法を学習する。また、在宅看護における信頼関係形成の重要性を理解する。更に、在宅療養に必要な社会資源とその活用方法を学習する。</p>						
学修の到達目標						
<p>①在宅ケアを支える制度や社会資源を説明できる。 ②在宅ケアにおけるケアマネジメントや関係機関・関係職種間の連携を理解できる。 ③現在の訪問看護制度の基本を理解できる。 ④対象者とその家族に向けた訪問看護過程ならびにケアマネジメントを展開できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	地域包括ケアシステムについての概要と看護職の役割 在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
2	IPE	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
3	IPE	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
4	地域社会資源の活用とその対象者 地域療養を支える制度①介護保険・医療保険と訪問看護の関連②高齢者	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
5	地域療養を支える制度③障害者④難病(ALS患者)	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
6	地域療養を支える制度⑤こども⑥権利擁護や成年後見制度	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
7	在宅看護における安全と健康危機管理	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
8	地域・在宅看護の動向と今後の発展・まとめ	① ② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
定期試験						

評価基準・評価方法	
定期試験（70％）、小テストおよび授業態度・参加度（30％）で評価する。	
使用教科書	
ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア / 臺有桂・石田千絵・山下留理子 編.--第7版--株式会社メディカ出版, 2022年1月, 978-4-8404-7543-3 ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術 / 臺有桂・石田千絵・山下留理子 編.--第2版--株式会社メディカ出版, 2022年1月, 978-4-8404-7544-0	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	各講師の質問等については、次の講義がクラスルームを通して説明し、フィードバックします。課題レポートは採点して返却します。課題レポートの内容が合格点に満たず不十分な場合はコメントをつけて返却し再提出を求めることがあります。
備考	

授業科目名		担当教員				
地域・在宅看護活動論Ⅳ		越納 美和・鈴木 留理子・福井 郁子 (代表教員 越納 美和)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	3年 前学期	1単位(15時間)		講義		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		越納美和(看護師)、鈴木留理子(看護師)、福井郁子(看護師)				
授業概要						
病や障害を持ちながら在宅で生活、療養する人とその家族を対象とし、各人のニーズに基づく生活行動の支援方法、及び社会資源の活用方法を理解し、対象に必要な在宅看護の展開方法を学習する。また、在宅看護における信頼関係形成の重要性を理解する。更に、在宅療養に必要な社会資源とその活用方法を学習する。						
学修の到達目標						
①在宅でのコミュニケーション・面接技術や、訪問時のマナーについて説明できる。 ②在宅看護論実習における学生の動き方や、実習で学ぶ内容を説明できる。 ③在宅看護論実習における情報収集の視点や、在宅看護という特性を考えた看護過程展開の根拠を説明できる。 ④在宅看護実習における患者と家族のQOLや自立支援に向けた社会資源の根拠について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	在宅ケアの看護過程の展開とケアマネジメント	② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
2	在宅療養を支える訪問看護①訪問看護の特徴と訪問看護ステーション	② ③ ④	福井	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
3	在宅療養を支える訪問看護②療養場所の移行や病状の変化に応じた訪問看護	② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
4	脳梗塞後遺症の看護過程展開	② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
5	中途障害による脊髄損傷療養者の看護過程展開	② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
6	地域で自立を目指して生活する精神疾患患者の看護過程展開	② ③ ④	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
7	療養の場の移行に伴う看護(退院支援・退院調整)	① ②	鈴木	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
8	訪問時のマナーと倫理	① ②	越納	講義	テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。(120分)	講義の学びと感想レポートを書く。(120分)
9	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
小テスト (10%)、課題レポート (40%)・定期試験 (50%)	
使用教科書	
ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア / 臺有桂・石田千絵・山下留理子 編. --第7版--株式会社メディカ出版, 2022年1月, 978-4-8404-7543-3 ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術 / 臺有桂・石田千絵・山下留理子 編. --第2版--株式会社メディカ出版, 2022年1月, 978-4-8404-7544-0	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	各講師の質問等については、次の講義がクラスルームを通して説明し、フィードバックします。課題レポートは採点して返却します。課題レポートの内容が合格点に満たず不十分な場合はコメントをつけて返却し再提出を求めることがあります。
備考	

授業科目名		担当教員				
地域・環境実習Ⅰ		越納 美和・熊田 ますみ・三品 弘司 (代表教員 越納 美和)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	2単位(60時間)	実習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		越納美和(看護師)・熊田ますみ(看護師)・三品弘司(看護師)				
授業概要						
地域環境実習Ⅰでは、地域で暮らす様々なライフサイクルと健康障害レベルの人を対象に、触れ合いや交流を通し、地域で生活する人の看護支援や健康増進の必要性や方法について学ぶ。						
学修の到達目標						
①地域で生活する様々なライフサイクルの人々に応じた保健医療福祉の現状について説明できる。 ②地域で生活する様々なライフサイクルの人々の身体的・精神的・心理的な特徴とその人らしい生活やQOLについて説明できる。 ③地域で生活する様々なライフサイクルの人々に対する看護支援や健康増進の必要性について説明できる。 ④対象との関わりを通して、自己のコミュニケーションを振り返ることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	I. 実習施設					
	①医療関連施設 ②福祉関連施設				福祉施設の法的根拠を学習する	
	II. 実習方法					
	1. それぞれの学生が医療関連施設に1週間と福祉関連施設に1週間(計2週間)の実習を行う。各々の実習は、臨地に4日と学内1日とする。	① ② ③		実習	外来、検査室、調剤室の概要を学習する	施設オリエンテーションの内容をまとめる
	2. 臨地実習では、施設のオリエンテーションや見学実習委を通して、以下の内容を知る。	① ② ③		実習	健診センターの役割および機能を学習する	実習記録をまとめる
	1) 対象の健康や障害レベルについて 2) 目的や対象の1日の生活の日課について 3) スタッフの職種や仕事内容について				老人保健施設の概要を学習する 障害者福祉施設の概要を学習する	カンファレンス資料の作成
	3. 臨地実習では、対象とのレクリエーションや作業の共有体験をする。また、関わりの中で対象の生活について聴取する。	① ② ③ ④		実習	障害児福祉施設の概要を学習する	
	4. 学内実習では、それぞれの学生が学んだことの情報交換を行う。	① ② ③ ④		実習	各施設の特徴をまとめる カンファレンス資料を作成する	

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
評価基準・評価方法						
目標到達度、実習態度、実習記録など実習状況全体を把握し、本科目評価基準に基づいて評価する。						
使用教科書						
ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論(1) 地域療養を支えるケア 第7版 2022 / 臺 有桂 石田 千絵 山下 留理子. --メディカ出版, 978-4-8404-7543-3 ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論(2) : 在宅療養を支える技術 第2版 2022 / 臺 有桂 石田 千絵 山下 留理子. --メディカ出版, 978-4-8404-7544-0						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	分からないことがあれば、担当教員もしくは臨地実習指導者に聞いてください。その都度、対応します。					
備考	履修前提条件：1年生前学期の[専門基礎科目]全てを修得済みであること。また、基礎看護技術Ⅱ、フィジカルアセスメントⅡ、地域・在宅看護概論、高齢者看護学概論を履修登録済みであること。					

授業科目名		担当教員				
地域・環境実習Ⅱ		熊田 ますみ・出口 睦雄・三輪 陽子・村上 秀和・坂本 裕子 (代表教員 熊田 ますみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 後学期	2単位(60時間)	実習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		熊田ますみ(看護師) 出口睦雄(看護師) 三輪陽子(看護師) 村上秀和(看護師) 坂本裕子(看護師)				
授業概要						
健康障害をもつ高齢者の療養施設や、高齢者大学・高齢者サークルで活動的に社会参加をしている方を対象に、その人の暮らしの中に何か障壁や制限、困難感があれば、「看護」は何かができるかを考えて人間の暮らしと看護の視点で、共生社会の実現において求められる看護について学ぶことができる。						
学修の到達目標						
①施設で療養する高齢者の生活環境を説明できる。 ②介護保険施設における看護のあり方と多職種連携および支援体制を説明できる。 ③活動的に社会参加をしている方と関わり、対象の思いや障壁を説明できる。 ④高齢者を一人の個人と捉え、尊重した態度で接することができる。 ⑤看護学生として学ぶ姿勢や態度を身につける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	1. 実習施設					
	介護老人保健施設 岐阜リハビリテーションホーム、介護老人保健施設 寺田ガーデン、介護老人保健施設 サワダケアセンター、山内ホスピタル介護老人保健施設					
	特別養護老人ホーム やすらぎの里川部苑、特別養護老人ホーム 黒野あそか苑、特別養護老人ホーム ナーシングケア寺田					
	II. 実習方法					
	1. 学生80名を1各グループ4～6名で編成し、成人・高齢者看護学実習Ⅰ、小児看護学実習、母性看護学実習ともにローテーションで行う。いずれかの実習施設で2週間実習を行う。					
	2. 実習前オリエンテーションを行う。 3. 一人の高齢者を受け持ち、高齢者の生活を見学する。					
	4. 事前学習は、高齢者の加齢変化及び介護保険施設の機能と役割について学習する。					
	5. 事前学内実習は、脳梗塞で麻痺のある事例のアセスメント、認知症高齢者事例のアセスメントを行う。					
	6. 学内実習では、高齢者大学及び高齢者サークル等の施設見学・交流を行い、振りかえり学習をする。					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	7. 実習は、教員・臨床指導者の指導を受けながら、対象の全体像を把握し、対象に応じた日常生活の援助方法を見学、実施する。					
	8. 対象とコミュニケーションを図り、対象の思いや入所前の生活背景を理解する。リハビリテーション、レクリエーション活動を見学・実施する。					
	9. 実習最終日に、実習施設で教員・臨床指導者と共に反省会を行う。					
	10. 学内実習は、受け持ち対象の援助技術演習（臨地では実施できなかった、清潔・排泄・食事等の技術演習）					
評価基準・評価方法						
目標到達度、出席状況、実習態度など実習状況全体を把握し、本科目評価基準に基づいて評価する。						
使用教科書						
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 第9版 / 北川公子他.--医学書院, 2021年,						
参考図書						
	実習記録は添削し指導する。臨地で実施できなかった技術を学内実習で習得する。					
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法						
備考						

授業科目名		担当教員				
地域・在宅看護論実習		越納 美和・岩瀬 桃子・清水 ゆかり (代表教員 越納 美和)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 前学期	2単位(60時間)	実習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		越納美和(看護師)、岩瀬桃子(看護師)、清水ゆかり(看護師・助産師)				
授業概要						
地域で療養する人々やその家族を理解し、その人らしい在宅生活の継続に向けたケアの実践を学ぶ。医療施設のみにとどまらず地域で生活する多様な人々を対象とした看護の他職種や患者・家族に対する役割を学び、さらに地域包括システム全体の理解を深め、保健医療と看護について看護実践を通して包括的な視野を得る。						
学修の到達目標						
①在宅で療養生活を送る療養者とその家族の特徴を説明できる。 ②生活の場であることを理解し、対象者が望む生活を考慮した看護について支援計画を立案することができる。 ③在宅療養者支援に必要な社会資源の種類や法律・制度を理解し、活用方法を説明できる。 ④在宅療養に関わる多職種の役割と連携・調整方法について理解し、現状の課題を説明することができる。 ⑤在宅療養や地域での人々の暮らしを包括的に支援するしくみを説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	実習オリエンテーション		越納 他	学内 実習	実習オリエンテーション、地域で療養する人々やその家族を理解し、その人らしい在宅生活の継続に向けたケアに必要な看護に関する事前学習を行う。	地域・在宅看護実習における自身の学びの目標をまとめる。
	実習施設の患者の訪問時の健康状態の観察・援助技術等のシュミレーション演習		越納 他	学内 実習		
	在宅療養者事例の看護計画に基づいた看護の演習在宅療養者の食事・排泄・活動		越納 他	学内 実習		
	地域包括支援センターにおいて利用者宅の周辺の地域情報や地域包括ケアシステムの概要・多職種連携に関するオリエンテーションを受けたのち職員と同行訪問する。		越納 他	臨地 実習		
	訪問看護ステーションの役割と担当地域の療養者の病状・家族等の社会資源その他に関するオリエンテーションを受け、同伴訪問を実施する。		越納 他	臨地 実習		
	在宅介護支援センターにおいて、地域包括ケア計画に基づいた在宅ケアの実態等について説明を受ける		越納 他	臨地 実習		
	保健所・市町村・その他の主催による健康教室・デイケア等と同行し、健康増進～医療施設での療養～在宅療養をつなぐ地域包括ケアの理解を深める		越納 他	臨地 実習		
	・難病・終末期の当事者参加による学内演習・実習 施設毎の学びの共有及び在宅経管栄養法等の看護技術の演習		越納 他	学内 実習		
	I. 地域包括支援センター、在宅看護支援センターでは、保健師、看護師、社会福祉士等と地域の健康増進活動や介護保険認定調査やモニタリングおよび地域ケア会議に同行訪問を通して参加する。 地域包括支援センター：岐阜市地域包括支援センター長良、岐阜市地域包括支援センター岐阜北		越納 他	臨地 実習		

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	II. 訪問看護ステーション実習。1. 施設の概要や利用者の特徴について紹介を受け、看護過程展開に生かす2週間のうち1週間を訪問看護ステーション、2. 対象者1名を受け持ち、生活の場で対象の望む生活を考慮した看護を考える。 訪問看護ステーション実習施設：いび訪問看護ステーション、まつなみ訪問看護ステーション、訪問看護ステーション北方、岩砂訪問看護ステーション他		越納他	臨地実習		
	III. 地域連携実習では、実習中に、ケアマネージャー、ホームヘルパー、医師、理学療法士、作業療法士などの多職種との連携場面を学習する。 ・地域連携実習：松波総合病院、山内ホスピタル、山田病院等		越納他	臨地実習		
	IV. 学内日に実習内容の検討、発表、まとめを行い、実習目標に対する達成状況や各施設での学びを共有する。		越納他	学内実習		
評価基準・評価方法						
実習目標の達成度、実習記録内容、実習中の参加度や態度等を勘案し評価する。						
使用教科書						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・ナースিং・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア、臺 有桂・石田千絵・山下留理子 編、(株式会社メディカ出版) ・ナースング・グラフィカ地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術、臺 有桂・石田千絵・山下留理子 編、(株式会社メディカ出版) 						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	実習記録の内容が合格点に満たず不十分な場合はコメントをつけて返却し再提出を求めています。					
備考						

授業科目名		担当教員				
成人看護学概論		古田 弥生				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古田 弥生(看護師)				
授業概要						
成人看護学概論では、成人とは何かを捉え身体的・心理的・社会的な特徴を学習し、成人期を取り巻く環境や役割などを含め全人的・総合的な存在としての理解を深める。成人の健康について多様な要因により発生する健康問題の特徴を生活習慣・職業・ストレスと関連づけて学習する。成人に対する看護ケアの基盤となる主要な概念や理論を用い健康状態にあわせた看護を学習する。また、グループワークを活用し主体的な学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①成人各期における身体的・心理的・社会的特徴を踏まえた生活者としての特徴を説明できる。 ②成人期にある人の健康問題について説明できる。 ③成人期にある人を看護する上で基盤となる概念や理論について説明できる。 ④健康状態(急性期・回復期・慢性期・終末期)に応じた看護の概要について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	成人とは 定義 特徴	①	古田	講義	教科書P.2~30を精読する(120分)	成人期の特徴について教科書・資料を基に講義内容を復習し提出する(120分)
2	成人を取り巻く状況 家族/仕事/生活	①	古田	講義	教科書P.34~55を精読し、自己・家族の生活状況を調査しまとめる(120分)	成人を取り巻く生活環境や影響について教科書・資料を基に講義内容を復習し提出する(120分)
3	成人期にある人の健康 健康とは/健康の動向・課題	① ②	古田	講義	教科書P.78~108を精読し、健康の考え方や動向について調べまとめる(120分)	ヘルスプロモーションについて教科書・資料を基に講義内容を復習し提出する(120分)
4	生活習慣病 職業疾患 生活ストレス	① ②	古田	講義	教科書P.113~140を精読し、生活習慣病・職業疾患について調べまとめる 自己のストレスをあげる(120分)	生活習慣病予防方法について教科書・資料を基に講義内容を復習し提出する(120分)
5	成人期にある人を看護するための基本的な考え方 関係(エンパワメント)・適応(ストレスコーピング・危機理論)	③	古田	講義	教科書P.156~196を精読し、ケアリング・ストレスコーピング・危機理論について調べまとめる(120分)	エンパワメントの支援設計について教科書・資料を基に講義内容を復習し提出する(120分)
6	成人期にある人を看護するための基本的な考え方 発達(セルフケア/学習)	③	古田	講義	教科書P.197~213を精読し、セルフケア理論・学習について調べまとめる(120分)	関係の構築・適応を促す・発達を支援するについて教科書・資料を基に講義内容を復習し提出する(120分)
7	急性・回復状態にある人の看護	④	古田	講義	教科書P.257~274を精読し、急性状態・回復状態の意味を調べまとめる(120分)	急性・回復期看護の概要について教科書・資料を基に講義内容を復習し提出する(120分)
8	慢性・終末状態にある人の看護	④	古田	講義	教科書P.276~297を精読し、慢性状態・終末状態の意味を調べまとめる(120分)	慢性・終末期看護の概要について教科書・資料を基に講義内容を復習し提出する(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
認知領域（知識）：定期試験（84％） 精神運動・情意領域（技術・態度）：授業態度（16％）	
使用教科書	
成人看護学 成人看護学概論 / 林直子、鈴木久美、酒井郁子、梅田恵. --改訂第4版--南江堂, 2022, 978-4-524-23073-0	
参考図書	
必要に応じて紹介します。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	事前学習を基に講義内で質問します。また、講義時学習問題を行うことや、授業中の質問に対してもその都度フィードバックします。
備考	学生の質問にその都度応じながら指導をします。

授業科目名		担当教員				
成人看護活動論 I		古田 弥生・森岡 菜穂子・林 宗典 (代表教員 古田 弥生)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義・演習 オムバス			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古田 弥生(看護師) 森岡 菜穂子(看護師) 林 宗典(看護師)				
授業概要						
周手術期および生命危機状態にある患者とその家族への看護の知識と技術を学習する。急性期の特徴や、手術侵襲によって引き起こされる身体メカニズムの中から必要な看護について学び理解を深める。講義では、主体的な学びができるよう資料に復習ポイント・内容を記載し取り組みやすい学習とする。また、グループワークを活用し主体的な学びを深めていく。演習では事前に患者対応の技術動画を配信し動作が視覚的に学習しやすいように進める。						
学修の到達目標						
①手術を受ける患者・家族の反応とそれに対する看護について説明できる。 ②手術の侵襲によって引き起こされる生命反応を説明できる。 ③術後合併症の発生リスクを理解し、予防的な看護を説明できる。 ④術後の患者のQOL向上のために必要な知識を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	急性期看護の考え方 急性期とは/急性期看護の概念/患者が体験する侵襲/ショック/心理的反応/急性の状態にある患者と家族に対する看護	① ②	森岡	講義	教科書P.2~31を精読し、急性期の定義について学習する(120分)	急性期看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
2	周手術期看護 周手術期とは/周手術期看護とは/術前の不安・術後の痛み/手術における倫理/侵襲とは	① ②	古田	講義	教科書P.36~45を精読し、手術侵襲について学習する(120分)	周手術期看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
3	術後看護 術後の意識レベル/呼吸/循環/疼痛/感染/消化器/せん妄/早期離床	① ② ③ ④	古田	講義	教科書P.94~134を精読し、各表題の正常な機能を学習する(120分)	術後看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
4	術後看護 術後の意識レベル/呼吸/循環/疼痛/感染/消化器/せん妄/早期離床	① ② ③ ④	古田	講義	教科書P.94~135を精読し、各表題の正常な機能を学習する(120分)	術後看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
5	術前看護 術前看護の目的/検査時の看護/身体的・心理的アセスメント/術前オリエンテーション/当日の看護/手術室への搬送	① ② ③ ④	古田	講義	教科書P.48~66を精読し、術前看護に必要なことをレポートにまとめる(120分)	術前看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
6	術中看護 術中看護の目的/看護師の役割/術前訪問/手術室の環境/感染防止/安全管理/麻酔時の看護/病棟への申し送り	① ② ③ ④	古田	講義	教科書P.68~91を精読し、術中看護に必要なことをレポートにまとめる(120分)	術中看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
7	術直後の観察 術後1時間が経過した患者の観察	① ② ③ ④	古田 森岡 林	演習	演習課題を実施する(120分)	演習の振り返りレポートを作成する 配信動画を視聴する(120分)
8	術直後の観察 術後1時間が経過した患者の観察	① ② ③ ④	古田 森岡 林	演習	演習課題を実施する(120分)	演習の振り返りレポートを作成する 配信動画を視聴する(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
認知領域（知識）：定期試験72% 精神運動（技術）演習20% 情意領域（態度）：授業態度8%	
使用教科書	
成人看護学 急性期看護<1>概論・周手術期看護 / 林直子他 佐藤まゆみ編集.--改訂第4版--南江堂, 2023年, 978-4-524-23231-4	
参考図書	
必要に応じて紹介します。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	講義内容の演習を行い経験をしながら学習します。また、講義内容の学習問題を行うことや、質問に対してもその都度フィードバックします。
備考	学生の質問にその都度応じながら指導します。

授業科目名		担当教員				
成人看護活動論Ⅱ		古田 弥生・森岡 菜穂子・林 宗典・片岡 恵美 (代表教員 古田 弥生)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 前学期	2単位(60時間)	講義・演習 オムバス			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古田 弥生(看護師) 森岡 菜穂子(看護師) 林 宗典(看護師) 古林 晃(看護師)				
授業概要						
慢性的経過をたどり、生涯に渡って生活のコントロールを必要とする対象者とその家族への看護を学習する。成人期における健康障害の特徴を踏まえ、対象者やその家族への看護援助について学習する。また、ライフサイクルにおける主な急性・慢性疾患の病態・治療・検査における看護援助について学習する。講義では、主体的な学びができるよう資料に復習ポイント・内容を記載し取り組みやすい学習とする。また、グループワークを活用し主体的な学びを深めていく。演習では患者対応の技術動画を配信し動作が視覚的に学習しやすいように進める。						
学修の到達目標						
①慢性疾患の特徴を捉え病気と共に生きることを支える看護について説明できる。 ②日常生活を送りながらセルフマネジメント獲得に向けて看護の教育的役割を説明できる。 ③急性・慢性的経過をたどる対象及び家族の特徴を知り看護について説明できる。 ④治療に伴う身体的影響(合併症等)の発生リスクを理解し、予防的な看護が説明できる。 ⑤急性・慢性期患者のQOL向上のために必要な知識を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	慢性期看護とは 慢性疾患の特徴/治療の特徴/看護の役割/チーム医療	①	古田	講義	教科書「慢性期」P.2~38を精読し、慢性期看護についてまとめる(30分)	慢性疾患の特徴について教科書・資料を基に講義内容を復習する(30分)
2	慢性期患者の特徴 身体的特徴/心理的特徴/社会的特徴	①	古田	講義	教科書「慢性期」P.42~68を精読し、慢性期患者の特徴をまとめる(30分)	慢性期患者の特徴について教科書・資料を基に講義内容を復習する(30分)
3	慢性疾患患者の看護的支援 セルフケア/セルフマネジメント/自己効力感/症状マネジメント/学習支援	① ②	古田	講義	教科書「慢性期」P.25~29、175~180、367~373を精読し、慢性期における看護支援をまとめる(30分)	理論やセルフマネジメントについて教科書・資料を基に講義内容を復習する(30分)
4	高血圧のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	林	講義	教科書「循環器」P.165~175、P.336~338を精読し、高血圧の病態生理を学習する(30分)	高血圧の看護について、教科書・資料を基に講義内容を復習する(30分)
5	虚血性心疾患のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	林	講義	教科書「循環器」P.122~151、P.312~323を精読し、循環器の解剖生理・虚血性心疾患の病態生理を学習する(30分)	虚血性心疾患の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(30分)
6	虚血性心疾患のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	林	講義	教科書「循環器」P.122~151、P.312~322を精読し、虚血性心疾患患者の看護を学習する(30分)	虚血性心疾患の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(30分)
7	心不全のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	林	講義	教科書「循環器」P.152~164、323~335を精読し、心不全の病態生理を学習する(30分)	心不全の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(30分)
8	心不全のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	林	講義	教科書「循環器」P.152~164、323~335を精読し、心不全の病態生理を学習する(30分)	心不全の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(30分)
9	循環器疾患の外科的治療を受ける人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	古林	講義	教科書「循環器」P.92~115を精読し、循環器疾患における治療について学習する(30分)	循環器における外科的手術の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	心臓カテーテル治療を受ける人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	古林	講義	教科書「循環器」 P. 68～78を精読し、 心臓カテーテル法に ついて学習する (30分)	心臓カテーテル治療 の看護について教科 書・資料を基に講義 内容を復習する (30分)
11	脳梗塞のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	森岡	講義	教科書「脳・神経」 P. 23～50、 133～143を精読し、 脳の解剖生理・脳梗 塞について復習する	脳梗塞の看護につい て教科書・資料を基 に講義内容を復習す る (30分)
12	脳出血のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	森岡	講義	教科書「脳・神経」 P. 122～132を精読し、 脳の解剖生理・脳出血 ・クモ膜下出血につい て復習する (30分)	脳出血の看護につい て教科書・資料を基 に復習する (30分)
13	脳腫瘍のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	林	講義	教科書「脳神経」 P. 147～153、303～311を精 読し、脳腫瘍の疾患理解と 開頭術を受ける患者の看護 を学習する (30分)	開頭術(脳腫瘍)の 看護について教科書 ・資料を基に講義内 容を復習する (30分)
14	肺炎のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	古田	講義	教科書「呼吸器」 P. 20～39、141～152、 305～307を精読し、肺 の解剖生理・肺炎につ いて復習する (30分)	肺炎の看護につい て教科書・資料を基 に講義内容を復習す る (30分)
15	慢性閉塞性肺疾患のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	古田	講義	教科書「呼吸器」 P. 183～187、 226～230、323～337を 精読し、慢性閉塞性肺 疾患について復習する	慢性閉塞性肺疾患 の看護について教科書 ・資料を基に講義内 容を復習する (30分)
16	肺がんのある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	古田	講義	教科書「呼吸器」 P. 199～212、 231～234、345～354を 精読し、肺がんについ て復習する (30分)	肺がんの看護につ いて教科書・資料を基 に講義内容を復習す る (30分)
17	肺がんに対する化学療法・放射線療法の看護	① ② ③ ④ ⑤	古田	講義	教科書「呼吸器」 P. 199～212、 231～234、345～355を 精読し、化学療法につ いてまとめる (30分)	肺がんの看護につ いて教科書・資料を基 に講義内容を復習す る (30分)
18	慢性肝炎/肝硬変のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	森岡	講義	教科書「消化器」 P. 31～36、210～242を精読 し、肝臓の解剖生理・慢性 肝炎・肝硬変について復習 する (30分)	慢性肝炎/肝硬変 の看護について教科書 ・資料を基に講義内 容を復習する (30分)
19	肝がんのある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	森岡	講義	教科書「消化器」 P. 243～247を精読し、 肝臓の解剖生理・ 肝がんについて復習 する (30分)	肝がんの看護につ いて教科書・資料を基 に講義内容を復習す る (30分)
20	胆石症のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	古田	講義	教科書「消化器」 P. 248～252、 418～424を精読し、胆 嚢の解剖生理・胆石症 について復習する	胆嚢除術の看護につ いて教科書・資料を 基に講義内容を復習 する (30分)
21	胃/十二指腸潰瘍のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	古田	講義	教科書「消化器」 P. 19～24、156～164、 354～358を精読し、胃・十 二指腸の解剖生理・消化 管潰瘍について復習す る (30分)	消化管潰瘍の看護 について教科書・資料 を基に講義内容を復 習する (30分)
22	胃がんのある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	古田	講義	教科書「消化器」 P. 19～24、165～172、 358～367を精読し、事前課 題の資料を基に胃の解剖生 理・胃がんについて復習す る (30分)	胃がん・胃切除術 の看護について教科書 ・資料を基に講義内 容を復習する (30分)
23	潰瘍性大腸炎/クローン病のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	森岡	講義	教科書「消化器」 P. 315～327を精読し、消化 管の解剖生理・潰瘍性大腸 炎/クローン病について復 習する (30分)	潰瘍性大腸炎/ク ローン病の看護につ いて教科書・資料を基 に講義内容を復習す る (30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
24	大腸がんのある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	林	講義	教科書「消化器」 P. 201～207、 389～396を精読し、 大腸の解剖生理につ いて復習する (30分)	直腸切除術の看護に ついて教科書・資料 を基に講義内容を復 習する (30分)
25	乳がんのある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	森岡	講義	教科書「女性生殖器」 P. 21～22、147～166を精読 し、事前課題の資料を基に 乳房の解剖生理・乳がんに ついて復習する (30分)	乳がん・乳房切除術 の看護について教科 書・資料を基に講義 内容を復習する (30分)
26	子宮がんのある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④ ⑤	森岡	講義	教科書「女性生殖器」 P. 22～25、116～127を精読 し、事前課題の資料を基に 子宮の解剖生理・子宮がん について復習する (30分)	子宮がん・子宮摘出 術の看護について教 科書・資料を基に講 義内容を復習する (30分)
27	食事療法・運動療法の実際 計画	① ② ③ ④ ⑤	古田 森岡 林	演習	その都度提示した演 習実施課題を実施す る (30分)	演習課題を実施する (30分)
28	食事療法・運動療法の実際 実施	① ② ③ ④ ⑤	古田 森岡 林	演習	その都度提示した演 習実施課題を実施す る (30分)	演習課題を実施する (30分)
29	食事療法・運動療法の実際 実施	① ② ③ ④ ⑤	古田 森岡 林	演習	その都度提示した演 習実施課題を実施す る (30分)	演習課題を実施する (30分)
30	食事療法・運動療法の実際 発表・まとめ	① ② ③ ④ ⑤	古田 森岡 林	演習	その都度提示した演 習実施課題を実施す る (30分)	演習課題をまとめる (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
認知領域 (知識) : 定期試80% 精神運動領域 (技術) : 演習10% 情意領域 (態度) : 授業態度10%						
使用教科書						
成人看護学 慢性期看護 / 鈴木久美、旗持知恵子、佐藤直美、編集、一改定第4版—南江堂、2023年、978-4-524-23436-3 成人看護学 急性期看護<1>概論・周手術期看護 / 林直子、佐藤まゆみ編集、一改定第4版—南江堂、2023年、978-4-524-23231-4 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 (2) 呼吸器 / 浅野浩一郎他、一第15版—医学書院、2021年、978-4-260-03569-9 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 (3) 循環器 / 松田直樹他、一第15版—医学書院、2021年、978-4-260-03557-6 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 (5) 消化器 / 南川 雅子他、一第15版—医学書院、2021年、978-4-260-03562-0 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 (7) 脳・神経 / 井手 隆文他、一第15版—医学書院、2021年、978-4-260-03561-3 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 (9) 女性生殖器 / 末岡 浩他、一第15版—医学書院、2021年、978-4-260-03567-5						
参考図書						
必要に応じて紹介します。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバックの方法	オムニバス形式のため各担当教員の最後の授業時、課題の振り返りを行います。					
備考	学生の質問にその都度応じながら指導します。					

授業科目名		担当教員				
成人看護活動論Ⅲ		古田 弥生・森岡 菜穂子・林 宗典・粥川 誠至 (代表教員 古田 弥生)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 後学期	2単位(30時間)	講義・演習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古田 弥生(看護師) 森岡 菜穂子(看護師) 林 宗典(看護師) 粥川 誠至(看護師)				
授業概要						
成人期における健康障害の特徴を踏まえ、対象者やその家族への看護援助について学習する。ライフサイクルにおける主な急性・慢性疾患の病態・治療・検査における看護援助について学習する。講義では、主体的な学びができるよう資料に復習ポイント・内容を記載し取り組みやすい学習とする。また、グループワークを活用し主体的な学びを深めていく。演習では患者対応の技術動画を配信し動作が視覚的に学習しやすいように進める。						
学修の到達目標						
①日常生活を送りながらセルフマネジメント獲得に向けて看護の教育的役割を説明できる。 ②急性・慢性的経過をたどる対象及び家族の特徴を知り看護について説明できる。 ③治療に伴う身体的影響(合併症等)の発生リスクを理解し、予防的な看護が説明できる。 ④急性・慢性期患者のQOL向上のために必要な知識を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	HIV感染/AIDSのある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④	古田	講義	教科書「アレルギー・膠原病・感染症」P.333～337・375～380を精読し、免疫機能・HIV/AIDSについて復習をする(120分)	HIV/AIDSの看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
2	甲状腺機能亢進症/低下症のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④	古田	講義	教科書「内分泌・代謝」P.25～28・97～108・210～218を精読し、内分泌機能・甲状腺機能亢進/低下症について復習する	甲状腺機能亢進/低下症の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
3	白血病のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④	森岡	講義	教科書「血液・造血器」P.18～24・72～74・97～119を精読し、血液・免疫系の解剖生理について復習する(120分)	白血病の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
4	白血病のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④	森岡	講義	教科書「血液・造血器」P.18～24・72～74・97～119を精読し、血液・免疫系の解剖生理について復習する(120分)	白血病の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
5	糖尿病のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④	林	講義	教科書「内分泌・代謝」P.132～164を精読し、代謝障害・糖尿病について復習する(120分)	糖尿病の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
6	糖尿病のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④	林	講義	教科書「内分泌・代謝」P.243～286を精読し、代謝疾患糖尿病患者の看護について学習する(120分)	糖尿病の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
7	関節リウマチのある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④	森岡	講義	教科書「アレルギー・膠原病・感染症」P.130～134・150～156を精読し、関節リウマチについて復習する(120分)	関節リウマチの看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
8	全身性エリテマトーデスのある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④	森岡	講義	教科書「アレルギー・膠原病・感染症」P.156～161を精読し、免疫異常・全身性エリテマトーデスについて復習する(120分)	全身性エリテマトーデスの看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)
9	慢性腎不全(慢性腎臓病)のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④	林	講義	教科書「腎・泌尿器」P.18～32・40～45・55～60・115～123を精読し、腎臓の構造と機能・疾患について学習する(120分)	慢性腎不全(慢性腎臓病)の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	慢性腎不全（慢性腎臓病）のある人の看護 疾病の理解/病態とその分類/治療・看護	① ② ③ ④	林	講義	教科書「腎・泌尿器」P.247～252を精読し、腎疾患・看護について学習する（120分）	慢性腎不全（慢性腎臓病）の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する（120分）
11	人工透析を受ける人の看護	① ② ③ ④	粥川	講義	教科書「慢性期」P.140～150を精読し、血液浄化療法についてまとめる（120分）	血液浄化療法時の看護について教科書・資料を基に講義内容を復習する（120分）
12	糖尿病のある人の看護（事例・演習）	① ② ③ ④	古田 森岡 林	演習	その都度提示した演習事前課題を実施する（120分）	演習課題を実施する（120分）
13	糖尿病のある人の看護（事例・演習）	① ② ③ ④	古田 森岡 林	演習	その都度提示した演習事前課題を実施する（120分）	演習課題を実施する（120分）
14	糖尿病のある人の看護（事例・演習）	① ② ③ ④	古田 森岡 林	演習	その都度提示した演習事前課題を実施する（120分）	演習課題を実施する（120分）
15	糖尿病のある人の看護（事例・演習）	① ② ③ ④	古田 森岡 林	演習	その都度提示した演習事前課題を実施する（120分）	演習課題を実施する（120分）
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）：定期試験80% 事例演習10% 精神運動・情意領域（技術・態度）：授業態度10%						
使用教科書						
成人看護学 慢性期看護 / 鈴木久美、野澤明子、森一恵編集。一改定第4版—南江堂，2023年。 成人看護学 急性期看護<1>概論・周手術期看護 / 林直子、佐藤まゆみ編集。一改定第4版—南江堂，2023年，978-4-524-23231-4 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 (4) 血液・造血器 / 飯野 京子他。一第15版—医学書院，2021年，978-4-260-03571-2 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 (6) 内分泌・代謝 / 黒江 ゆり子他。一第15版—医学書院，2021年，978-4-260-03559-0 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 (8) 腎・泌尿器 / 今井 亜矢子他。一第15版—医学書院，2021年，978-4-260-03558-3 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 (11) アレルギー・膠原病・感染症 / 岩田 健太郎他。一第15版—医学書院，2021年，978-4-260-03858-4						
参考図書						
必要に応じて紹介します。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	オムニバス形式のため各担当教員の最後の授業時、課題の振り返りを行います。					
備考	学生の質問にその都度応じながら指導します。					

授業科目名		担当教員				
成人看護学実習		古田 弥生・森岡 菜穂子・林 宗典 (代表教員 古田 弥生)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	実習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古田 弥生(看護師) 森岡 菜穂子(看護師) 林 宗典(看護師)				
授業概要						
成人看護学実習では、周手術期及び急性期にある患者の看護を見学を通し学習する。手術中・後の経過をたどる患者の身体的状態を理解し、症状に伴う苦痛の緩和と不安定な心身の状態における生理的ニーズ充足の援助を学ぶ。生命の危機状態にある患者の身体的状態を理解し、生命の維持管理や患者及び家族の不安の軽減への援助を学ぶ。						
学修の到達目標						
①手術室における看護師の役割を理解する。 急性状態にある患者に対する看護師の役割を理解する。 ③急性状態にある患者の生活を中心とした医療チームの役割を理解する。 ④看護学生として学ぶ姿勢や態度を身に付けられる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	I. 実習施設					
	・岐阜県総合医療センター、岐阜ハートセンター、松波総合病院、羽島市民病院					
	II. 実習方法					
	・学生80名を1グループ4～5名の20グループに編成し、成人・高齢看護学実習Ⅱ、精神看護学実習、在宅看護論実習と共にローテーションで行う。				周手術期(急性期)とはどのようなことか、特徴をもとに看護師の役割や、チーム医療について学習する。	
	・実習前オリエンテーションを行う。 ・岐阜県総合医療センター、岐阜ハートセンター、松波総合病院、羽島市民病院の手術室・ICUのいずれか一箇所で行う。				周手術期を支える看護として、術前・術中・術後の看護について学習する。特に、術後合併症については根拠をもとに理解できるように学習する。	
	・手術室への入室から退室までの一連の看護について見学する。 ・手術室における清潔操作、手術室での患者の管理方法、手術室看護の概要を見学する。(施設により多少異なる)				・手術室入室から退室までの看護について学習する。また、手術室環境や他職種との連携について学習する。	・手術室、ICU見学での学びを考察し、レポートにまとめる。
	・学内実習は、病態の理解を深めたり、記録の整理を行う。 ・病棟では、毎日カンファレンスを計画・実施し、看護の方向性の検討や学びを深める。					
	・実習最終日に、実習施設で教員・臨床指導者と共に反省会を行う。				・自己の学びをまとめ、振り返りを行うことで、次への課題を明確にする。	・グループ内の意見交換より、自己の学び、課題を再度考察する。
評価基準・評価方法						

目標到達度、出席状況、実習態度、実習記録など実習状況全体を把握し、本科目評価基準に基づいて評価する。	
使用教科書	
成人看護学 急性期看護<1>概論・周手術期看護／林直子，佐藤まゆみ編集，改定第4版 南江堂，2023年，	
参考図書	
系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学（2）～（15）医学書院	
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	実習前に実習に必要な知識について課題を提示します。また、実習中その都度、記録へのコメントを残し、それをもとに口頭でも質問し学習を活かした学習が行えるよう指導します。また、学生の考えを聞きながら学生主体の実習が行えるように指導します。
備考	実習中、事前学習ノートを用い看護について知識を確認しながら学習をしていきます。急性期の特徴や手術室看護、術後観察の視点・看護について知識を持ち実習に向かう準備を行って実習に臨んでください。 専門科目の健康生活を支えるための看護の原理と基礎の科目すべて、成人看護学概論、成人看護活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの単位を修得済みであること。

授業科目名		担当教員				
高齢者看護学概論		熊田 ますみ				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		熊田ますみ(看護師)				
授業概要						
高齢者を社会的存在の生活者として理解するために、身体的老化のみならず、その人の人生や影響を受けた社会変動、環境などの多様性と高齢社会の動向を知り、高齢者の健康と生活を支える基本的な考えを学ぶ。講義では、双方向システム等を活用し学びを深めていく。						
学修の到達目標						
①老化とは何か、高齢者の身体的、心理精神的、社会的側面の特徴について説明できる。 ②個々の生きてきた生活史、社会状況の変化から高齢者を理解し、説明できる。 ③加齢や社会的役割による変化が生活にどのような影響をもたらすかを説明できる。 ④我が国の超高齢社会について、高齢者を取り巻く社会の様相や課題を説明できる。 ⑤高齢者看護の理念と基本的な視点を説明できる。 ⑥身体拘束や虐待などの今日的課題について、対応を考えることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	老年期の理解(老いるということ、加齢と老化)	① ⑤	熊田	講義	「高齢者とは」事前レポート作成・提出120分	ライフサイクルについてまとめる120分
2	老年期の理解(老年期とは・発達課題) 事前学習の発表	②	熊田	講義	「高齢者の生きてきた時代背景」についてまとめる120分	高齢者の発達課題についてまとめる120分
3	高齢社会の統計的輪郭(平均寿命・高齢化率・高齢者と家族・高齢者の健康状態・高齢者の死亡・高齢者の暮らし)	④	熊田	講義	高齢者の平均寿命・高齢化率の変遷についてまとめる120分	小テストの準備:平均寿命・高齢化率・高齢者と家族120分
4	高齢者の理解(加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化)	①	熊田	講義	DVDを視聴し、課題に取り組む120分	高齢者の身体的・心理的・社会的変化の国家試験問題120分
5	第1回小テスト:平均寿命・高齢化率・高齢者と家族 高齢者と社会保障(保健医療・福祉の動向、保健医療福祉システムの構築と・法律)	② ④	熊田	講義	高齢者に関する法律についてまとめる120分	保健医療福祉の動向・法律についてまとめる120分
6	高齢社会と社会保障(保健医療・福祉の動向、保健医療福祉システムの構築・法律)	② ④	熊田	講義	介護保険制度についてまとめる120分	小テストの準備:保健医療・福祉の動向・法律について120分
7	高齢社会と社会保障(高齢者虐待等権利擁護のための制度)	③ ⑥	熊田	講義	高齢者の虐待についてまとめる120分	小テストの準備:権利擁護の法律についてまとめる120分
8	第2回小テスト:保健医療福祉の動向・法律 老年看護の役割・老年看護に携わる者の責務	⑤	熊田	講義	老年看護の役割についてまとめる120分	「高齢者観」を課題とし提出120分
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
定期試験（70％）、小テスト（10％）、課題レポート（20％）	
使用教科書	
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 / 北川公子ほか.--第9版--医学書院, 2018年, 978-4-260-03186-8	
参考図書	
<ul style="list-style-type: none"> ・国民衛生の動向（厚生統計協会） ・国民福祉と介護の動向（厚生労働統計協会） 	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	事前学習及び課題は講義内容に反映する。
備考	オフィスアワー、授業中に随時質問を受け付けます。指定のオフィスアワーの時間以外にも、お気軽に声をかけてください。 高齢者を取り巻く社会制度や国の施策等に興味をもって、社会の変化に目を向けて知識を深めましょう。

授業科目名		担当教員				
高齢者看護活動論 I		熊田 ますみ・三輪 陽子・加藤 清人・川崎 葉子・中川 幸代 (代表教員 熊田 ますみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 前学期	2単位(30時間)	講義・演習 オムバス			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		熊田ますみ(看護師) 三輪陽子(看護師) 加藤清人(作業療法士) 川崎葉子(認定看護師) 中川幸代(認定看護師)				
授業概要						
加齢変化や老年期特有の健康障害が高齢者と家族に及ぼす影響を理解したうえで、必要な援助を学ぶ。高齢者の特徴を踏まえ、高齢者に特有な健康障害に対する診断・治療過程における看護について学ぶ。						
学修の到達目標						
①高齢者への日常生活援助について、意義や方法などを説明できる。 ②高齢者に多い健康障害の原因とその程度、生活への影響について説明できる。 ③残存機能を活用し、自立支援という視点から援助の方向性が説明できる。 ④認知症を有する高齢者への看護について理解し、コミュニケーションスキルを身につける。 ⑤高齢者にみられる身体症状に対する具体的な看護方法を説明できる。 ⑥高齢者の疑似体験をすることで、高齢者の身体的な不自由さや心理面が説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	高齢者の生活機能を整える看護 清潔	① ③	三輪	講義	皮膚の加齢性変化についてまとめる 120分	清潔に関する健康課題と清潔のアセスメント、清潔の援助についてまとめる 120分
2	高齢者の生活機能を整える看護 食事(摂食嚥下障害)	① ③	中川	講義	食事に関する加齢性変化についてまとめる 120分	摂食嚥下5期モデルのそれぞれの状態・5期モデルによる観察ポイントをまとめる 120分
3	高齢者の生活機能を整える看護 食事(栄養状態の変調・食生活のアセスメント)	① ③	三輪	講義	摂食嚥下能力のアセスメント、サルコペニア肥満とサルコペニアについてまとめる 120分	課題プリント：高齢者の事例を活用して、栄養をアセスメントする120分
4	高齢者疑似体験	⑥	熊田 三輪	演習	高齢者の感覚器・運動機能の加齢変化についてまとめる 120分	課題レポートをまとめ提出する120分
5	高齢者疑似体験	⑥	熊田 三輪	演習	高齢者の感覚器・運動機能の加齢変化についてまとめる 120分	課題レポートをまとめ提出する120分
6	高齢者の生活機能を整える看護 排泄	① ③	三輪	講義	排泄に関する加齢性変化・排泄動作についてまとめる120分	課題プリント：高齢者の事例を活用して、排泄のアセスメントする120分
7	高齢者の生活機能を整える看護 排泄(おむつ交換・陰部洗浄)	① ③	三輪 熊田	演習	おむつ交換・陰部洗浄の手順書に、事例に対する留意点をまとめる120分	手順書に追加・修正する120分
8	高齢者の生活機能を整える看護 排泄(おむつ交換・陰部洗浄)	① ③	三輪 熊田	演習	おむつ交換・陰部洗浄の手順書に、事例に対する留意点をまとめる120分	演習の振り返りをまとめ提出する120分
9	高齢者の生活機能を整える看護 コミュニケーション	① ③	三輪	講義	コミュニケーションに作用する加齢性変化をまとめる120分	高齢者に応じた様々なコミュニケーション方法をまとめる 120分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	認知機能障害のある高齢者の看護（うつ・せん妄）	② ④	三輪	講義	うつ・認知症・せん妄との比較についてまとめる120分	うつ・せん妄の看護をまとめる120分
11	認知機能障害のある高齢者の看護（認知症）	② ④	三輪	講義	加齢による「もの忘れ」と認知症による記憶障害の違いについてまとめる120分	四大認知症の病態と評価方法についてまとめる120分
12	認知機能障害のある高齢者の看護（認知症）	② ④	三輪	講義	認知症高齢者に対する看護の要点をまとめる120分	認知症高齢者看護を生活援助の視点でまとめる120分
13	認知機能障害のある高齢者の看護（認知症看護の実際）	② ④	川崎	講義	認知症高齢者の個人の尊厳を守ることについて、自己の考えをまとめる120分	認知症の病態生理・評価・看護の国家試験問題120分
14	認知機能障害のある高齢者の看護（非薬物療法・レクリエーションの実際）	② ④	加藤	講義	認知症の非薬物療法についてまとめる120分	臨床で展開されている認知症患者の非薬物療法についてまとめる120分
15	高齢者によくみられる身体症状のアセスメント	③ ⑤	熊田	講義	高齢者に多い発熱・脱水の要因とリスクについてまとめる120分	高齢者によくみられる身体症状に対する看護をまとめる120分
	定期試験					
評価基準・評価方法						
定期試験（70%）、課題レポート（25%）、グループワークの参加度と発表（5%）						
使用教科書						
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 第9版 / 北川公子他, 一医学書院, 2018年, 978-4-260-03186-8						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	事前学習や課題は講義に反映させる。課題は、講義終了後返却し各自で振り返る。					
備考	質問等については、講義終了時やまたは次回の講義にフィードバックします。					

授業科目名		担当教員				
高齢者看護活動論Ⅱ		熊田 ますみ・三輪 陽子 (代表教員 熊田 ますみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		熊田ますみ(看護師) 三輪陽子(看護師)				
授業概要						
高齢者の特徴を踏まえ、健康障害に対する診断・治療過程における看護について学ぶ。事例を通して高齢者を理解するためのアセスメントの視点を学ぶ。高齢者特有のリスク要因を理解したうえで、高齢者のリスクマネジメントを学ぶ。						
学修の到達目標						
①高齢者に多い健康障害の原因とその程度、生活への影響について説明できる。 ②検査に伴うインフォームドコンセントと検査時の看護について説明できる。 ③高齢者の薬物療法時の注意点と服薬管理に向けた支援方法が説明できる。 ④手術を受ける高齢者の特徴がわかり術前・術後の支援方法が説明できる。 ⑤生活・療養の場における看護の方法が説明できる。 ⑥老年期に特有な疾患をもつ患者の事例を用いて高齢者の看護展開の視点が説明できる。 ⑦高齢者に特有なリスクが分かり対処方法が説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	高齢者の看護過程の考え方(生活機能アセスメントとは)	⑦	熊田	講義	生活行動モデルについてまとめる20分	アルツハイマー型認知症・大腿骨頸部骨折の病態生理・看護についてまとめる40分
2	疾患をもつ高齢者の看護(パーキンソン病)	①	熊田	講義	パーキンソン病の病態関連図を書く30分	パーキンソン病をもつ高齢者の看護をまとめる30分
3	疾患をもつ高齢者の看護(骨粗鬆症・大腿骨頸部骨折)	①	熊田	講義	運動系の加齢性変化についてまとめる10分	大腿骨頸部骨折の術前・術後の看護をまとめる50分
4	疾患をもつ高齢者の看護(褥瘡・スキんテア)	①	三輪	講義	皮膚の加齢性変化についてまとめる20分	褥瘡発症のリスク要因及び看護をまとめる40分
5	疾患をもつ高齢者の看護(褥瘡・スキんテア)	①	熊田 三輪	演習	演習課題を行う。20分	課題レポートをまとめ提出する40分
6	検査・治療を受ける高齢者への看護	②	熊田	講義	高齢者の疾患の特徴をまとめる20分	検査・入院が高齢者に及ぼす要因と看護をまとめる40分
7	薬物療法・手術療法を受ける高齢者の看護	③ ④	熊田	講義	加齢に伴う薬物動態についてまとめる。手術を受ける高齢者の特徴についてまとめる20分	高齢者の薬物療法の看護についてまとめる。術後合併症の予防ケアの看護についてまとめる40分
8	生活・療養の場における高齢者の看護	⑤	三輪	講義	介護保険施設についてまとめる20分	介護保険施設の役割と看護師の役割についてまとめる40分
9	終末期における看護	⑥	三輪	講義	高齢者のスピリチュアルについてまとめる20分	エンドオブライフケアの基本的な考え方をまとめる40分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	疾患をもつ高齢者の治療・療養の場における看護事例（アルツハイマー型認知症・大腿骨頸部骨折）	⑥	熊田三輪	演習	事例の常在条件・病理的状态をまとめる40分	常在条件の追加・修正を行う20分
11	疾患をもつ高齢者の治療・療養の場における看護事例（アルツハイマー型認知症・大腿骨頸部骨折）	⑥	熊田三輪	演習	病理的状态をまとめる20分	グループワーク・教員によるアセスメントの視点等の学びから病理的状态のアセスメントを追加する40分
12	疾患をもつ高齢者の治療・療養の場における看護事例（アルツハイマー型認知症・大腿骨頸部骨折）	⑥	熊田三輪	演習	事例の生活機能の状态（活動・休息）のアセスメントをする40分	グループワーク・教員によるアセスメントの視点等の学びから生活機能の状态（活動・休息）のアセスメントを追加する20分
13	疾患をもつ高齢者の治療・療養の場における看護事例（アルツハイマー型認知症・大腿骨頸部骨折）	⑥	熊田三輪	演習	事例の生活機能の状态（食事・排泄）のアセスメントをする40分	グループワーク・教員によるアセスメントの視点等の学びから生活機能の状态（食事・排泄）のアセスメントを追加する20分
14	疾患をもつ高齢者の治療・療養の場における看護事例（アルツハイマー型認知症・大腿骨頸部骨折）	⑥	熊田三輪	演習	事例の生活機能の状态（身じたく・コミュニケーション）のアセスメントをする40分	グループワーク・教員によるアセスメントの視点等の学びから生活機能の状态（身じたく・コミュニケーション）のアセスメントを追加する20分
15	高齢者のリスクマネジメント（高齢者と医療安全、救命救急・災害）	⑦	熊田	講義	高齢者特有のリスク要因をまとめる20分	事故発生時に与える高齢者への影響と対応策についてまとめる40分
	定期試験					
評価基準・評価方法						
定期試験（50%）、課題レポート（事例展開含む）45%、グループワークの参加度と発表（5%）						
使用教科書						
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学（第9版） / 北川公子他、--医学書院，2021年，						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	事例展開の課題は、講義時の始めに学習内容を確認します。その後グループワークを進めていきます。講義終了時、重要ポイントをフィードバックします。					
備考						

授業科目名		担当教員				
成人・高齢者看護学実習 I		古田 弥生・熊田 ますみ・三輪 陽子・森岡 菜穂子・林 宗典 (代表教員 古田 弥生)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	2年 後学期	3単位(90時間)		実習		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古田 弥生(看護師)熊田 ますみ(看護師)三輪 陽子(看護師) 森岡 菜穂子(看護師)林 宗典(看護師)				
授業概要						
慢性に経過する疾患と共に、成人期における対象及び健康障害の特性と、健康レベルに応じた患者とその家族の持つ健康問題を総合的に理解し、科学的でかつ論理的な看護を実践するための基礎的能力を身につける。						
学修の到達目標						
①疾患から生じる健康問題を抱え慢性に経過する患者および家族の特徴を多面的に理解する。 慢性疾患患者が日常生活の規制の中で自己管理と社会生活の適応ができるよう、科学的根拠に基づき看護の問題解決のプロセスを理解し、問題解決を図り実施する。 ③患者の生活を中心とした医療チームの役割と社会資源について理解する。 ④看護学生として学ぶ姿勢や態度を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	I. 実習施設					
	平野総合病院					
	II. 実習方法					
	・学生80名を1グループ5～6名の20グループに編成し、地域・環境実習Ⅱ、小児看護学実習、母性看護学実習と共にローテーションで行う。				慢性期とはどのようなことか、特徴をもとに看護師の役割や、チーム医療について学習する。	・看護過程の展開をする中で慢性期の特徴を活用する。
	・実習前オリエンテーションを行う。 ・平野総合病院の病棟一箇所で行う。 ・一人の患者を受け持ち、看護の実践を行う。				慢性期を支える看護として、セルフケア、セルフマネジメント、自己効力感、症状マネジメント、学習支援等について学習する。	・看護過程の展開をする中で慢性期の特徴を活用する。
	・事前学習は、病棟の概要に記入してある疾患をもとに、解剖生理、病態、検査、看護の学習を行う。				・実習病院の概要に記載してある、疾患および検査・治療とその看護について事前学習を行う。	・受け持ち患者の疾患について学習が不足している点など追加学習を行う。
	・実習は、教員・臨床指導者の指導を受けながら、患者の全体像を把握し具体的な看護過程の展開を行う。				・看護過程の展開とはどのようなことか、情報収集、アセスメント、問題の抽出、看護計画、評価について学習し、サイクルになっていることを再確認する。	・看護過程の展開を行いながら看護を実践する。また、その振り返りを毎日行う。
	・一日血液浄化センターの見学を行う。				・血液浄化療法について学習する	・血液浄化センターでの学びを考察し、レポートにする。
	・学内実習は、病態の理解を深めたり、記録の整理を行う。 ・病棟では、毎日カンファレンスを計画・実施し、看護の方向性の検討や学びを深める。				・根拠を理解した上で援助が行えるよう看護援助(技術)を身に付ける。	・日々の記録の振り返りを行い、援助(技術)での今後の課題点について把握し、練習を行う。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	・実習最終日に、実習施設で教員・臨床指導者と共に反省会を行う。				・自己の学びをまとめ、振り返りを行うことで、次への課題を明確にする。	・グループ内の意見交換より、自己の学び、課題を再度考察する。
評価基準・評価方法						
目標到達度、出席状況、実習態度、実習記録など実習状況全体を把握し、本科目評価基準に基づいて評価する。						
使用教科書						
成人看護学 成人看護学概論 / 林直子、鈴木久美、酒井郁子、梅田恵.--改定第4版--南江堂、2022年、978-4-524-23073-0 成人看護学 慢性期看護 / 鈴木久美、旗持知恵子、佐藤直美、編集.--改定第4版--南江堂、2023年、 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 / 北川公子他.--第9版--医学書院、2018年、978-4-260-03186-8						
参考図書						
系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 (2) ～ (15) 医学書院						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	学習状況の確認を行い必要な課題を提示します。実習中その都度、記録へのコメントを残し、それをもとに口頭でも質問し学習を活かした看護が行えるよう指導します。また、学生の考えを聞きながら学生主体の実習が行えるように指導します。					
備考	実習中、事前学習ノートを用い疾患や看護について知識を確認しながら学習をしていきます。慢性期の特徴や看護、各疾患について知識を持ち実習に向かう準備を行って実習に臨んでください。 。専門科目の健康生活を支えるための看護の原理と基礎の科目すべて、成人・高齢者看護学概論、成人看護活動論Ⅰ・Ⅱ、高齢者看護活動論Ⅰの単位を修得済みであること。成人看護活動論Ⅲ、高齢者看護活動論Ⅱについては履修済であること。					

授業科目名		担当教員				
成人・高齢者看護学実習Ⅱ		熊田 ますみ・三輪 陽子・岩瀬 桃子 (代表教員 熊田 ますみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 前学期	2単位(60時間)	実習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		熊田 ますみ(看護師)三輪 陽子(看護師)林 宗典(看護師)他				
授業概要						
成人・高齢者看護学実習Ⅱの学習では、成人・老年期の特性を踏まえて、地域社会に戻り生活するためのリハビリテーションを実施している患者の看護の役割を理解する。そして、看護チーム・多職種連携におけるコミュニケーション能力や問題解決の能力を養うことにつなげる。						
学修の到達目標						
①対象の生活史を把握し入院生活や機能障害が身体的・精神的・社会的機能に影響を及ぼしていることを説明できる。 ②老年期の健康上の問題を把握し、QOL向上を目指した看護の必要性を説明できる。 ③対象個々の老年期の特徴、健康上の問題に応じQOL向上を目指した援助を実施する。 ④対象の退院を支える多職種連携を説明できる。 ⑤看護学生として学ぶ姿勢や態度を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	1. 実習施設					
	平野総合病院、揖斐厚生病院、山内ホスピタル					
	Ⅱ. 実習方法					
	1. 学生80名を1グループ4～6名で編成し、成人看護学実習、精神看護学実習、地域・在宅看護					
	論実習とともにローテーションで行う。					
	2. 実習前オリエンテーション行う。					
	3. 事前学習は、基本的看護技術の練習と、実習病棟に即した 事前課題を行う。					
	4. 平野総合病院、揖斐厚生病院、山内ホスピタルの病棟のいずれか一箇所2週間実習を行う。					
	5. 原則として一人の患者を受け持ち、看護の実践を行う。					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	6. 実習は、教員・臨床指導者の指導を受けながら、患者の全体像を把握し具体的な看護を行う。					
	7. 病棟では、毎日カンファレンスを計画・実施し、看護の方向性の検討や学びを深める。					
	8. 第2週の木曜日は、実習施設で教員・臨床指導者とともに反省会を行う。					
	9. 実習最終日に学内でグループ討議、発表、まとめを行い、実習目標に対する達成状況や学びを共有する。					
	10. 学内実習は、受け持ち対象の援助技術演習（臨地で実施できなかった、清潔・排泄・食事等の技術演習）					
評価基準・評価方法						
目標到達度、実習態度、実習記録など実習状況全体を把握し、本科目評価基準に基づいて評価する。						
使用教科書						
成人看護学 成人看護学概論 / 林直子、鈴木久美、酒井郁子、梅田恵-改訂第3版-.--南江堂, 2019, , 成人看護学 慢性期看護 / 鈴木久美、野澤明子、森一恵編集-改訂第3版-.--南江堂, 2019年, , 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 第9版 / 北川公子他.--医学書院, 2021年,						
参考図書						
	実習記録は添削し指導する。					
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法						
備考						

授業科目名		担当教員				
小児看護学概論		松野 ゆかり				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		松野ゆかり(看護師)				
授業概要						
現在の子どもと家族の状況や倫理的視点から、小児看護の役割と課題について学び、小児期にある対象をとらえるための小児各期の身体的特徴、機能的発達、情緒社会性の発達を学ぶ。子どもが生活する家庭を中心に、学校、地域、社会等、小児が成長発達していくために重要な役割を担う環境との関りを学習する。						
学修の到達目標						
①子どもと家族の状況や倫理的視点から小児看護の役割について説明できる。 ②看護の対象となる小児各期の特徴と小児看護における家族の位置づけについて説明できる。 ③子どもを取り巻く社会環境と法律・政策について自ら追及しその内容について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	小児看護の特徴と理念 小児看護における倫理 子どもの権利	①			*「小児看護とは」を読んでおく。分からない言葉や興味のある言葉について調べる(講義内で確認)。(120分)	*子どもに関する話題最近の子どもに関するニュース等の記事から自分の考えを書く。使われている用語についてわからない言葉は調べる(最低ひとつ) A4レポート1枚以上 *事後課題問題に取り組む(120分)
2	小児の成長発達 乳児の特徴と看護(1) 発達 社会性 認知 身体発育 運動能力	②			発達段階ごと観察課題「乳児の観察」 ・実際と考察を記録し提出確認	*映像教材「乳児」視聴 *事後課題問題に取り組む *成長発達表記入乳児期(120分)
3	乳児の特徴と看護(2) 栄養と離乳	② ③			映像教材視聴(乳児)(120分)	*事後課題問題に取り組む *成長発達表記入乳児期の栄養について(120分)
4	幼児の特徴と看護(1) 基本的な生活習慣の確立	② ③			発達段階ごと観察課題「幼児の観察」 ・実際と考察を記録し提出確認(120分)	*映像教材「幼児」「日常生活動作の習得と自立」視聴 *事後課題問題に取り組む *成長発達表記入幼児期(120分)
5	学童の特徴、養育および看護 健康問題 運動、社会性、	② ③			・学童期の健康問題についてどのようなものがあるか。 最近の話題や自分自身の振り返りから出してみよう。(120分)	*映像教材「学童期」前期後期視聴 *事後課題問題に取り組む(120分)
6	思春期・青年期の特徴、養育および看護 第二次性徴、アイデンティティ、親からの自立、 健康問題	② ③			・思春期の健康問題についてどのようなものがあるか。 最近の話題や自分自身の振り返りから出してみよう。(120分)	*事後課題問題に取り組む(120分)
7	家族の特徴とアセスメント					*事後課題問題に取り組む(120分)
8	小児看護と法律・施策	⑤			自分の住んでいる市町村の児童福祉・母子保健について調べる。(120分)	*事後課題問題に取り組む *課題「私の子ども観」(120分)
9	試験					

評価基準・評価方法	
課題レポート（20％）、最終筆記試験（80％）	
使用教科書	
ナーシング・グラフィカ小児看護学①第7版第1刷 / 編者：中野綾美。--メディカ出版, 978-4-8404-7842-7	
参考図書	
<ul style="list-style-type: none"> ・国民衛生の動向 ・中野 綾美：小児看護学 小児の発達と看護、メディカ出版 ・奈良間美保、系統看護学講座 小児看護学（1）小児看護学概論／小児臨床看護総論 第14版 医学書院 2021年 	
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	事前学習及び課題は講義内容に反映させる。
備考	授業は遅刻欠席のないように努力する。開始時の双方向システムによる出席確認を行う。欠席した場合は、登校後資料を取りにくる。 質問はクラスルーム投稿または直接声をかけてください。回答は随時行います。

授業科目名		担当教員				
小児看護活動論 I		松野 ゆかり・岩瀬 桃子・近藤 富雄・遠渡 絹代・岡本 知美・白木 大輔・中川 みのり (代表教員 松野 ゆかり)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	2年 前学期	2単位(30時間)		講義・演習 オムバス		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		松野 ゆかり(看護師) 岩瀬桃子(看護師) 近藤富雄(医師) 遠渡絹代(専門看護師) 岡本知美(認定看護師) 白木大輔(認定看護師) 中川みのり(看護師)				
授業概要						
小児特有疾患の病態・治療について基礎的知識を学習したうえで、小児各期の発達段階や状況・疾病経過に応じた具体的な援助方法を学習する。健康を障害された小児及び家族が持つ健康問題について学習する。さらに疾病予防といった小児保健の諸問題にも触れながら、小児看護の役割を学ぶ。						
学修の到達目標						
①病気・障害による子どもと家族への影響を理解し必要な支援について説明できる。 ②様々な状況における子どもと家族を理解し、必要な援助について説明できる。 ③小児に発症しうる疾患の発生機序、症状など疾患概念について説明できる。 ④疾患について学び、アセスメントの視点がわかり、根拠をもった看護について説明できる。 ⑤障害のある子どもと家族について学習し、必要な支援について説明できる。 ⑥虐待について知り、事故との見極めの判断ができる。虐待を受けている、又は可能性のある子どもと家族の支援について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	病気・障害を持つ小児と家族の看護 病気に対する子どもの理解、インフォームドアセント、プレパレーション 病気や診療・入院が子どもと家族に与える影響と看護 外来における子どもと家族への看護	①	松野	講義	・認知発達段階について復習 ・入院・外来に関する動画視聴 120分	*小テストで確認 各発達段階の子どもに現れやすい反応と必要な看護について、子どもの病気や障害に対して家族が示す反応 120分
2	小児の在宅療養者への看護	②	中川	講義	教科書該当箇所予習 疑問点を一つ調べる 120分	*小テストで確認 120分
3	染色体異常・先天異常と看護、新生児の看護 ダウン症候群、トリソミー、性染色体異常、新生児疾患	③ ④	岡本	講義	教科書該当箇所予習 疑問点を一つ調べる 120分	*小テストで確認 各疾患のまとめ 120分
4	小児における疾病の経過と看護(1)慢性期 慢性期の特徴、小児慢性特定疾患治療研究事業、慢性状態が子どもに与える影響	②	岩瀬	講義	①【慢性期】の事例を読んで慢性期と終末期における小児と家族の特徴を理解する②小児慢性特定疾患について調べる 120分	*小テストで確認 各疾患のまとめ 120分
5	代謝性疾患と看護、内分泌疾患と看護(1型糖尿病)	③ ④	岩瀬	講義	①新生児マススクリーニングについて調べる②I型糖尿病について調べる 120分	*小テストで確認 各疾患のまとめ 120分
6	免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ疾患 (気管支喘息、食物アレルギー)	③ ④	近藤	講義	教科書該当箇所予習 疑問点を一つ調べる 120分	*小テストで確認 各疾患のまとめ 120分
7	血液・造血器疾患と看護、悪性新生物と看護 (血小板減少性・血管性紫斑病)	③ ④	岩瀬	講義	①急性リンパ性白血病について調べる ②芽腫について調べる 120分	*小テストで確認 各疾患のまとめ 120分
8	腎・泌尿器および生殖器疾患と看護 (ネフローゼ症候群)	③ ④	岩瀬	講義	①ネフローゼ症候群について調べる②溶血性尿毒症症候群について調べる 120分	*小テストで確認 各疾患のまとめ 120分
9	急性期にある子どもと家族への看護 子どもの手術の特徴、計画・緊急手術、術前術後の看護	③ ④	松野	講義	慢性期と急性期の看護の違いについて学習 講義内で確認 120分	*小テストで確認 周手術期の看護について、発達段階別の観察ポイントについてまとめる 120分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	循環器疾患と看護（先天性心疾患、川崎病） 消化器疾患と看護（口唇口蓋裂、肥厚性幽門狭窄症、ヒルシュスプルング病、鎖肛、腸重積症、臍・臍帯・外鼠径ヘルニア、胆道閉鎖症、ロタウイルス）	③ ④	松野	講義	正常な消化器の解剖生理について学習。 講義内で発問 120分	*小テストで確認 各疾患のまとめ 120分
11	感染症（ウイルス感染症 細菌感染症） 呼吸器疾患（肺炎、気管支炎）	③ ④	近藤	講義	教科書該当箇所予習 疑問点を一つ調べる 120分	*小テストで確認 各疾患のまとめ 120分
12	神経疾患と看護（てんかん、熱性けいれん、二分脊椎、脳性麻痺） 運動器疾患と看護（先天性股関節脱臼、骨折、先天性内反足、先天性筋性斜頸）	③ ④	松野	講義	原始反射、正常な神経系・運動器の解剖生理について学習。 講義内で確認 120分	小テスト 各疾患のまとめ 120分
13	事故・外傷と看護	① ② ③	白木	講義	該当内容の統計について調べる 講義内で確認 120分	*小テストで確認 各疾患のまとめ 120分
14	障害のある子どもと家族の看護 （障害受容、重症心身障害児）	⑤	遠渡	講義	教科書該当箇所予習 疑問点を一つ調べる 120分	*小テストで確認 重症心身障害児とは 120分
15	子どもの虐待と看護	⑥	遠渡	講義	教科書該当箇所予習 疑問点を一つ調べる 120分	*小テストで確認 虐待の定義、種類、統計、看護 120分
	試験					
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）：最終筆記試験（80%） 精神運動・情意領域（技術・態度）：課題・レポート（20%）						
使用教科書						
系統看護学講座 小児看護学〔1〕小児看護学概論／小児臨床看護総論 / 奈良間美保.--医学書院, 2022年, 978-4-260-03860-7 系統看護学講座 小児看護学〔2〕小児看護学各論 / 奈良間美保.--医学書院, 2022年, 978-4-260-03866-9						
参考図書						
・中野 綾美：小児看護学 小児看護技術、メディカ出版 ・中野 綾美：小児看護学 小児の発達と看護、メディカ出版						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	事前学習及び課題は講義内容に反映させる。					
備考	授業は遅刻欠席のないように努力する。開始時の双方向システムによる出席確認を行う。欠席した場合は、登校後資料を取りにくる。 質問はクラスルーム投稿または直接声をかけてください。回答は随時行います。					

授業科目名		担当教員				
小児看護活動論Ⅱ		松野 ゆかり・岩瀬 桃子 (代表教員 松野 ゆかり)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		松野 ゆかり(看護師) 岩瀬 桃子(看護師)				
授業概要						
事例に沿って、小児特有の代表的な症状のメカニズム、経過、症状緩和技術を学ぶ。また、子どもが検査や処置を受ける際の子どもと家族の影響を最小限にするための知識、小児看護技術を学び、具体的な援助方法を理解する。事例を通して対象を理解するためのアセスメント方法、看護問題の抽出を行い、小児とその家族の全体像を観る視点を修得する。						
学修の到達目標						
①事例を通して、子どもの状態を適確にアセスメントする視点と必要な看護を結びつけることができる。 ②事例を通して検査・処置に関する基礎的知識を理解し、小児看護技術を身につけ、得られた結果についてアセスメントすることができる。 ③事例を用いて看護展開を行い、グループワークにより不足している視点を取り入れることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	症状を示す小児の看護(1)	① ②	松野 岩瀬	講義 演習	事例について調べる 症状出現のアセスメント 講義内で確認 60分	
2	症状を示す小児の看護(2)	① ②	松野 岩瀬	講義 演習		
3	症状を示す小児の看護(3)	① ②	松野 岩瀬	講義 演習		
4	症状を示す小児の看護(4)	① ②	松野 岩瀬	講義 演習		
5	症状を示す小児の看護(5)	① ②	松野 岩瀬	講義 演習	発表準備(60分)	
6	症状を示す小児の看護(6)	① ②	松野 岩瀬	演習		演習後レポート 提出 120分
7	症状・疾患のある小児の看護(1)	① ②	松野 岩瀬	講義 演習		
8	症状・疾患のある小児の看護(1)	① ②	松野 岩瀬	講義 演習	発表準備 60分	演習後レポート 提出 120分
9	症状・疾患のある小児の看護(2)	① ②	松野 岩瀬	演習		

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	症状・疾患のある小児の看護 (2)	① ②	松野 岩瀬	講義 演習	発表準備 60分	演習後レポート 提出 (120分)
11	症状・疾患のある小児の看護 (3)	③	松野 岩瀬	演習		
12	症状・疾患のある小児の看護 (3)	③	松野 岩瀬	演習	発表準備 (60分)	演習後レポート 提出 (120分)
13	症状を示す小児の看護 アセスメント技術	③	松野 岩瀬	講義 演習		
14	症状を示す小児の看護 (演習) アセスメント技術	③	松野 岩瀬	演習		
15	症状を示す小児の看護 (演習) アセスメント技術	③	松野 岩瀬	演習		演習後レポート 提出 (120分)
	試験					
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）：筆記試験（60%） 精神運動・情意領域（技術・態度）：レポート課題（20%） 看護過程の演習内容（20%）						
使用教科書						
系統看護学講座 小児看護学〔1〕小児看護学概論／小児臨床看護総論 / 奈良間美保 他.--医学書院, 2022年, 978-4-260-03860-7 系統看護学講座 小児看護学〔2〕小児看護学各論 / 奈良間美保 他.--医学書院, 2022年, 978-4-260-03866-9						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・中野 綾美：小児看護学 小児看護技術、メディカ出版 ・中野 綾美：小児看護学 小児の発達と看護、メディカ出版 						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	事前学習及び課題は講義内容に反映させる。					
備考	開始時の双方向システムによる出席と振り返りカードによる出席確認を行う。欠席した場合は、登校後資料を取りに来る。質問は振り返りカードに記入、または直接声をかけてください。カードに対する解答は随時行います。					

授業科目名		担当教員				
小児看護学実習		松野 ゆかり・岩瀬 桃子・他 (代表教員 松野 ゆかり)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 後学期	2単位(60時間)	実習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		松野ゆかり(看護師) 岩瀬桃子(看護師) 他				
授業概要						
子どもの成長発達段階および子どもを取り巻く環境を理解し、子どもに応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。						
学修の到達目標						
<p>保育施設：①健康な子どもの成長発達段階の特徴を説明できる。 ②成長発達段階に応じた養育を実践できる。 ③乳幼児に起こりうる事故を知り、適切な環境と予防対策について説明できる。 ④成長発達段階に応じた援助について看護の視点で考察できる。 ⑤子どもと家族にケアを提供する専門看護職としてふさわしい社会性及び態度をとることができる。</p> <p>病院・施設：①健康を障害された子どもと家族の特徴を説明できる。 ②健康を障害された子どもの成長発達段階と病状に応じた看護を説明できる。 ③小児の安全対策を理解し、起こりやすい事故の防止と感染防止を説明できる。 子どもや家族を支えるサービスや職種の違い、看護師の役割を説明できる。 ⑤子どもと家族にケアを提供する専門看護職としてふさわしい社会性及び態度をとることができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	I. 実習施設					
	①保育施設、児童養護施設	① ～ ⑩			<p><保育施設共通課題> *乳幼児の成長発達 ・乳幼児 形態的特徴・運動機能・知的機能・コミュニケーション機能・情緒社会的機能・栄養 養育および看護(日常生活、遊び、事故防止、育児支援) ・成長発達評価</p>	実習記録に準じて毎日記録する。
	②希望が丘子ども医療福祉センター、岐阜市民病院、福富医院、長良医療センター				<p><病院施設(共通)> ・学童期・思春期の特徴と看護 ・病児・障害を持つ子どもと家族の看護 ・小児の入院および外来における看護</p> <p><その他> ・上記以外、小児看護学実習に必要と考える内容、または興味のある内容についての学習をノートページ以上追加する。</p>	実習記録に準じて毎日記録する。
	II. 実習方法					
	1. 実習期間2週間のうち、1週間は保育施設実習、1週間は病院及び施設実習とする。					
	2. 小児実習の特徴的内容の事前学習を行う。					
	3. 保育施設では、子どもとの関りを通して、成長発達と養護について学び、看護への視点を学ぶ。実習施設ごとの学びを学内で共有する。					
	病院および施設では、原則患児一人受け持ち、対象にあった看護を理解する。					
	4. 実習病院または施設にてオリエンテーションを受け、療養中の小児の特徴や環境を理解する。					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	5.カンファレンスで、対象児の全体像を把握する為に自分の疑問や意見を述べる。また、最終日には、小児看護学実習の学びと課題を明らかにする。					
					事前学習	
					・ 病気・障害をもつ小児と 家族の看護	
					・ 小児の入院及び外来における看護	
					・ 疾患及び症状看護	
					・ 小児看護技術	
					・ 障害児の福祉施策、法律、児童福祉施設 ・ 障害のある小児と家族の看護	
評価基準・評価方法						
目標到達度、実習態度、実習記録など実習状況全体を把握し、本科目評価基準に基づいて評価する。						
使用教科書						
系統看護学講座 小児看護学〔1〕小児看護学概論／小児臨床看護総論 / 奈良間美保.--医学書院, ・系統看護学講座 小児看護学〔2〕小児看護学各論 / 奈良間美保.--医学書院,						
参考図書						
・石黒彩子：発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図、医学書院 ・浅野みどり：根拠と事故防止からみた小児看護技術、医学書院 ・中野 綾美：小児看護学 小児看護技術、メディカ出版 ・中野 綾美：小児看護学 小児の発達と看護、メディカ出版						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	実習記録は添削し指導する。					
備考	履修前提条件：小児看護概論、小児看護活動論Ⅰの単位を修得済みであること。 感染症(水痘、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎)の抗体価が陽性でない場合は予防接種を受けていること。 インフルエンザについても該当期に予防接種を受けていること。 保育施設実習前に検便を実施し、細菌検査結果陰性である事。					

授業科目名		担当教員				
母性看護学概論		皮野 さよみ				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		皮野 さよみ(助産師・看護師)				
授業概要						
母性看護の基盤となる概念・法律と制度・母性看護の対象を取り巻く社会の変遷を踏まえ、女性のライフサイクル各期における特徴と看護・今後の課題を学び、母性各期の対象に応じた看護を展開するための基礎的能力を養う。						
学修の到達目標						
①母性看護の基盤となる概念・理論を説明できる。 ②母子保健に関する法律・母子保健行政と母子保健の動向を説明できる。 ③生殖に関する生理とセクシュアリティについて説明できる。 ④女性のライフサイクル各期における心身及び社会的特徴と健康問題及び看護を説明できる。 ⑤母子保健における課題とヘルスケアを説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	・母性の概念：母性とは、父性とは、母性の身体的・心理的・社会的特徴 ・母性看護に関する理論：母子相互作用、愛着理論、母子関係と家族の発達、ウエルネス看護論	①	皮野	講義	「母性とは」・「母子相互作用」についてテキストを読んでおく 120分	「母性とは」・「母子相互作用」についてまとめる 120分
2	・ジェンダー、セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス/ライツ、ヘルスプロモーション(セックス、ジェンダー、セクシュアリティに関するGW・発表) ・母性看護の役割、母性看護における倫理、母性看護における安全・事故防止	① ② ③	皮野	講義	「セックス・ジェンダー・セクシュアリティ」に関する自己の考えをまとめて授業に参加する 120分	「セックス・ジェンダー・セクシュアリティとは」のレポート作成・提出 120分
3	母子保健の歴史の変遷・母子保健の動向 母子保健に関する法律	②	皮野	講義	「母子保健法」・「労働基準法(母子関係)」のまとめ作成 120分	母子保健の動向 母子保健に関する法律に関する国家試験問題解説学習 120分
4	母子保健に関する組織と施策、周産期医療ネットワーク、母性看護におけるチーム医療、今後の課題	②	皮野	講義 演習	周産期医療ネットワークについてまとめる 120分	・母子保健の動向、母子保健に関する法律 母子保健に関する組織と施策、周産期医療ネットワーク、母性看護におけるチーム医療に関する国家試験問題解説学習・提出 120分
5	思春期女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化 ・思春期女性のライフサイクル各期における心身及び社会的特徴・健康問題と看護	②	皮野	講義	「性ホルモンの働き」についてまとめる 120分	思春期に関する国家試験問題解説学習 120分
6	・成人期・更年期・老年期女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化 ・成人期・更年期・老年期女性のライフサイクル各期における心身及び社会的特徴・健康問題と看護	④	皮野	講義	「成人期・更年期・老年期の特徴」についてテキストを読んでおく 120分	女性のライフサイクル各期における心身及び社会的特徴・健康問題に関する国家試験問題解説学習・提出 120分
7	・リプロダクティブヘルスケア：家族計画、人工妊娠中絶と看護、遺伝相談と看護、不妊治療と看護	⑤	皮野	講義	「人工妊娠中絶・不妊治療」に関する自己の意見をまとめる 120分	「家族計画・人工妊娠中絶・遺伝相談・不妊治療」に関する国家試験問題解説学習 120分
8	・リプロダクティブヘルスケア：喫煙女性の健康と看護、性暴力を受けた女性に対する看護、児童虐待と看護、性感染症と看護、国際化社会と看護、災害時の看護	⑤	皮野	講義	性感染症と看護、国際化社会と看護、災害時の看護についてテキストを読んでまとめる 120分	「家族計画、人工妊娠中絶、遺伝相談、不妊治療、性暴力を受けた女性に対する看護、児童虐待と看護、性感染症と看護」に関する国家試験問題解説学習・提出 120分
9	筆記試験		皮野			

評価基準・評価方法	
認知領域（知識）：レポート等の課題（30%）、筆記試験（60%） 精神運動領域（技術・態度）：事前学習の発表・授業参加状況（10%）	
使用教科書	
母性看護学概論（母性看護学1） / 森 恵美ほか. --第14版第2刷--医学書院, 2022年, ISBN978-4-260-04225-3	
参考図書	
厚生労働統計協会：国民衛生の動向 2023/2024年 その他講義の中で提示します。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	事前学習課題は、授業中のグループワーク等で発表する。事後学習レポートは指定に期日までに提出してください。評価を行います。
備考	講義順及び内容・評価基準がレポート課題の追加等により、変更になる場合があります。

授業科目名		担当教員				
母性看護活動論 I		皮野 さよみ・清水 ゆかり・田中 季果・平野 聡子 (代表教員 皮野 さよみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	2年 前学期	2単位(30時間)		講義・演習 オムバス		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)の達成に寄与している。		皮野さよみ(助産師・看護師)、清水ゆかり(助産師・看護師)、田中季果(助産師・看護師)、平野 聡子(医師)				
授業概要						
女性のライフサイクルにおける妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある人と家族の健康を支えるために必要な看護を学ぶ。						
学修の到達目標						
①妊娠期の看護について説明できる。 ②分娩期の看護について説明できる。 ③産褥期の看護について説明できる。 ④新生児期の看護について説明できる。 ⑤母子関係・親子関係・家族関係をはぐむための支援を説明できる。 ⑥正常から逸脱した対象の看護を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	妊娠期の看護：妊娠の定義，妊婦の特徴，妊娠期の母児のアセスメント (NST他)	① ⑤	皮野	講義	妊娠期の母児のアセスメントの要点の予習 120分	妊娠期の母児のアセスメントの要点のまとめ 120分
2	妊娠期の看護：妊娠期の健康課題に基づいた妊婦の看護	① ⑤	皮野	講義	妊婦の看護の要点の予習 120分	妊婦の看護に関する国家試験問題の解説学習・提出 120分
3	分娩期の看護：分娩期の定義，分娩の経過，産婦の特徴，分娩各期の母児のアセスメント	② ⑤	清水	講義	産婦の身体的・心理的特徴の予習 120分	産婦の身体的・心理的特徴のまとめ 120分
4	分娩期の看護：分娩各期の母児のアセスメントに基づいた看護	② ⑤	清水	講義	分娩期の看護の要点の予習 120分	産婦の看護に関する国家試験問題の解説学習・提出 120分
5	産褥期の看護：産褥期の定義，褥婦と家族の特徴(進行性変化・退行性変化)	③ ⑤	清水	講義	褥婦と家族の特徴の予習 120分	褥婦と家族の特徴のまとめ 120分
6	産褥期の看護：褥婦と家族のアセスメント	③ ⑤	清水	講義	褥婦と家族のアセスメントの予習 120分	褥婦と家族のアセスメントのまとめ 120分
7	産褥期の看護：入院中の褥婦の看護	③ ⑤	清水	講義	入院中の褥婦の看護の内容の予習 120分	入院中の褥婦の看護のまとめ 120分
8	産褥期の看護：入院中・退院後の褥婦の看護	③ ⑤	清水	講義	入院中・退院後の褥婦の看護の予習 120分	褥婦の看護に関する国家試験問題の解説学習・提出 120分
9	新生児の看護：新生児の定義，新生児の特徴，新生児の観察と計測	④ ⑤	皮野	講義	新生児の特徴，新生児の観察と計測の予習 120分	新生児の特徴，新生児の観察と計測のまとめ 120分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	新生児の看護：新生児のアセスメント	④ ⑤	皮野	講義	新生児のアセスメントの予習 120分	新生児のアセスメントのまとめ 120分
11	新生児の看護：出生直後～24時間以内の看護	④ ⑤	皮野	講義	出生直後～24時間以内の看護の予習 120分	出生直後～24時間以内の看護のまとめ 120分
12	新生児の看護：生後1日～退院までの看護	④ ⑤	田中	講義	生後1日～退院までの看護の予習 120分	新生児の看護に関する国家試験問題の解説学習・提出 120分
13	正常から逸脱した妊婦・産婦・褥婦・新生児の特徴、検査、治療	⑥	平野	講義	正常から逸脱した妊婦・産婦・褥婦・新生児の特徴、検査、治療の予習 120分	正常から逸脱した妊婦・産婦・褥婦・新生児の特徴、検査、治療のまとめ 120分
14	正常から逸脱した妊婦・産婦の看護	⑥	皮野	講義	正常から逸脱した妊婦・産婦の看護の予習 120分	正常から逸脱した妊婦・産婦の看護のまとめ 120分
15	正常から逸脱した褥婦・新生児の看護	⑥	清水	講義	正常から逸脱した褥婦・新生児の看護の予習 120分	正常から逸脱した妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護に関する国家試験問題解説学習・提出 120分
	試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）：課題・レポート内容（30%）、筆記試験（60%） 精神運動・情意領域（技術・態度）：レポート提出・意見発表等の参加度（10%）						
使用教科書						
母性看護学各論（母性看護学2） / 森恵美ほか、--第14版--医学書院、2021年、978-4-260-04223-9						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・太田操編：ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程，第3版，医歯薬出版，2021年，ISBN978-4-263-23687-1 ・医療情報科学研究所編：病気が見えるvol.10 産科，第4版，メディックメディア，ISBN978-4-89632-713-7 ・平澤美恵子他：新訂版写真でわかる母性看護技術アドバンス，インターメディカ，2020年，ISBN978-4-89996-410-0 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	各回の授業計画参照					
備考	質問等については、次の講義等で説明し、フィードバックします。講義順及び講義担当者が変更になる場合があります。さらに評価基準が変更になる場合があります。					

授業科目名		担当教員				
母性看護活動論Ⅱ		皮野 さよみ・清水 ゆかり・田中 季果 (代表教員 皮野 さよみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
看護ディプロマポリシー(2)(3)の達成に寄与している。		皮野さよみ(助産師・看護師)、清水ゆかり(助産師・看護師)、田中季果(助産師・看護師)				
授業概要						
母性看護の対象に応じた看護を実践するための観察・援助技術の習得について学習する。また、母性看護の対象の看護実践を行うための「科学的な思考」について正常経過をたどる褥婦と新生児の事例の展開を通して学習する。						
学修の到達目標						
①母性看護の実践に必要な妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護技術を習得する。 ②正常経過をたどる褥婦と新生児の看護過程の展開をととして科学的な思考ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	妊婦の観察とアセスメント レオポルド触診法, NST	①	皮野 清水 田中	演習	レオポルド触診法・ NSTの援助計画作成 30分	レオポルド触診法の 援助計画修正・提出 30分
2	産婦の観察とアセスメント 産痛緩和, CTG,	①	皮野 清水 田中	演習	動画視聴 30分	
3	褥婦の観察とアセスメント 全身状態・退行性変化の観察	①	皮野 清水 田中	演習	動画視聴 30分	
4	褥婦の観察とアセスメント 進行性変化の観察	①	皮野 清水 田中	演習	動画視聴 30分	
5	新生児の観察とアセスメント バイタルサイン・計測等	①	皮野 清水 田中	演習	新生児のバイタルサインの援助計画作成 30分	新生児のバイタルサインの援助計画修正・提出 30分
6	新生児の育児技術 抱き方・寝かせ方・オムツ交換・寝衣交換・沐浴	①	皮野 清水 田中	演習	沐浴の援助計画作成 30分	沐浴の援助計画修正・提出 30分
7	褥婦と新生児の看護過程の展開 ウェルネス看護とは、事例紹介	②	皮野 清水 田中	演習		事例の読み込み 30分
8	褥婦と新生児の看護過程の展開 妊娠期のアセスメント	②	皮野 清水 田中	演習	妊娠期のアセスメント作成 60分	妊娠期のアセスメント修正・提出 30分
9	褥婦と新生児の看護過程の展開 分娩期のアセスメント	②	皮野 清水 田中	演習	産婦のアセスメント作成 30分	産婦のアセスメント修正・提出 30分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	褥婦と新生児の看護過程の展開 出生直後の新生児のアセスメント	②	皮野 清水 田中	演習	出生直後の新生児の アセスメント作成 30分	出生直後の新生児の アセスメント修正・ 提出 30分
11	褥婦と新生児の看護過程の展開 産後1日目の褥婦のアセスメント	②	皮野 清水 田中	演習	産後1日目の褥婦の アセスメント作成 60分	産後1日目の褥婦の アセスメント修正・ 提出 30分
12	褥婦と新生児の看護過程の展開 出生後1日目の新生児のアセスメント	②	皮野 清水 田中	演習	出生後1日目の新生 児のアセスメント作 成 60分	出生後1日目の新生 児のアセスメント修 正・提出 30分
13	褥婦と新生児の看護過程の展開 2日目の褥婦と新生児の看護計画	②	皮野 清水 田中	演習	2日目の褥婦と新生 児の看護計画作成 30分	2日目の褥婦と新生 児の看護計画修正・ 提出 30分
14	褥婦と新生児の看護過程の展開 産後3日目の褥婦のアセスメント	②	皮野 清水 田中	演習	産後3日目の褥婦の アセスメント作成 30分	産後3日目の褥婦の アセスメント修正・ 提出 30分
15	褥婦と新生児の看護過程の展開 出生後3日目の新生児のアセスメント	②	皮野 清水 田中	演習	出生後3日目の新生 児のアセスメント作 成 30分	出生後3日目の新生 児のアセスメント修 正・提出 30分
	試験（筆記試験・沐浴技術試験）					
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）：筆記試験（35%）、メモノート（20%）、母性看護技術援助計画書（15%）、看護過程レポート（20%） 精神運動・情意領域（技術・態度）：母性看護技術（沐浴）試験（10%）						
使用教科書						
母性看護学各論（母性看護学2） / 森 恵美ほか. --第14版--医学書院, 2021年, 978-4-260-04223-9 根拠がわかる母性看護過程 / 中村幸代ほか. --第1版--南江堂, 2021年, 978-4-524-25513-9						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・平澤美恵子他：新訂版写真でわかる助産技術アドバンス，インターメディカ，2021年，ISBN978-4-89996-436-0 ・平澤美恵子他：新訂版写真でわかる母性看護技術アドバンス，インターメディカ，2020年，ISBN978-4-89996-410-0 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	各回の授業計画参照					
備考	質問等については、次の講義等で説明し、フィードバックします。講義順及び講義担当者が変更になる場合があります。さらに評価基準が変更になる場合があります。					

授業科目名		担当教員				
母性看護学実習		皮野 さよみ・清水 ゆかり・田中 季果 (代表教員 皮野 さよみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 後学期	2単位(60時間)	実習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		皮野さよみ(助産師・看護師)、清水ゆかり(助産師・看護師)、田中季果(助産師・看護師)				
授業概要						
妊婦・産婦・褥婦・新生児とその家族の健康を支えるために必要な看護を学び、母子と家族を支える多職種の連携・協働を理解し、チームの一員としての看護の役割を学ぶ。						
学修の到達目標						
①受け持ち褥婦の妊娠期のアセスメントを説明できる。 ②受け持ち褥婦の分娩期のアセスメントを説明できる。 ③受け持ち褥婦のアセスメントと必要な看護を一部実施できる。 ④受け持ち新生児のアセスメントと必要な看護を一部実施できる。 ⑤母子関係・親子関係・家族関係をはぐくむための多職種の連携・協働を説明できる。 ⑥生命の尊厳・母子と家族の人権・プライバシーに配慮した行動をとることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	1. 褥婦と新生児を受け持ち、退行性変化・進行性変化促進、母親役割適応過程及び児の胎外生活適応のアセスメント・看護計画の立案・看護計画に基づいて受け持ち褥婦の退行性変化・進行性変化を促進する看護を指導者と共に一部実施・評価すると共に、新生児の観察・環境調整・沐浴等の看護計画を立案し、指導者と共に一部実施・評価する。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	皮野 清水 田中	実習	褥婦の退行性変化・進行性変化促進、母親役割適応過程及び児の胎外生活適応のアセスメント・看護計画を立案し提出 60分	看護計画に基づいて指導者と共に一部実施し、評価・考察をレポートし、提出 60分
	2. 妊娠期から育児期の保健指導(母親学級・退院指導・沐浴指導、各種相談)の見学と見学記録における考察を行う。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	皮野 清水 田中	実習	退院指導・沐浴指導等の指導の要点をテキストにて確認する 60分	見学した退院指導・沐浴指導等の結果・考察をレポートし提出 60分
	3. NICUでは、長期・短期に医療依存度の高い子どもと家族に対する看護・治療に伴うストレスを軽減し、子どもの成長・発達を促進する環境づくりのための看護を見学し考察する。	④ ⑤ ⑥	皮野 清水 田中	実習	NICUにおける看護の要点をまとめる 60分	NICUにおいて見学した看護を考察し、レポートを提出 60分
	4. 母子と家族に関わる医師・助産師・外来看護職員・地域の保健師・小児科など多職種の連携・協働の見学・説明を受ける看護の役割を考察する。	⑤	皮野 清水 田中	実習	母子と家族に関わる多職種の連携・協働の要点についてまとめる 60分	見学した母子と家族に関わる多職種の連携・協働を考察し、レポート提出 60分
	5. 実習全体をとおして生命の尊厳への認識を深め、カンファレンスの発言・レポートに表現する。	⑥	皮野 清水 田中	実習	生命の尊厳・個人の尊厳を守るとはについて自己の考えをまとめておく 60分	生命の尊厳・個人の尊厳を守るとはについて自己の考えのレポート提出 60分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）：評価表（認知領域部分） 精神運動・情意領域（技術・態度）：評価表（精神運動・情意領域部分） 合計100%						
使用教科書						
母性看護学各論（母性看護学2），第14版 / 森恵美ほか.--医学書院，2022年，978-4-260-04223-9 根拠がわかる母性看護過程，第4版 / 中村幸代ほか.--南江堂，2021年，978-4-524-25513-9						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・医療情報科学研究所編：病気が見えるvol.10 産科，第4版，メディックメディア，ISBN978-4-89632-713-7 ・平澤美恵子他：新訂版写真でわかる助産技術アドバンス，インターメディカ，2021年，ISBN978-4-89996-436-0 ・平澤美恵子他：新訂版写真でわかる母性看護技術アドバンス，インターメディカ，2020年，ISBN978-4-89996-410-0 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法	実習中及び学内日に説明・実施等の指導を行う。					
備考	母性看護学オリエンテーション及び各施設ごとの実習オリエンテーションの内容に基づいて、学習をすすめましょう。					

授業科目名		担当教員				
精神看護学概論		三品 弘司				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		三品弘司(看護師)				
授業概要						
精神看護学概論では、対象の個性を捉えられるように、各ライフステージにおける成長・発達課題の理解を深め、自我の防衛機能とストレスコーピングの考え方、また患者の自己対処能力について学習する。そして、より健康な社会生活を営むため、或いは精神の不健康状態からの回復を支えるための看護について、その意義、目的、方法等について学習する。						
学修の到達目標						
①対象の個性を捉えられるように、パーソナリティの発達過程と各ライフステージにおける成長・発達課題を理解し、自我の防衛機能とストレス・コーピングの考え方、患者の自己対処能力について説明できる。 ②対象を取り巻く環境として、精神保健の動向や現代のストレス社会の理解と現行の精神保健福祉法の目指す目的が説明できる。 ③精神障害を持つ対象への看護のアプローチに基本的な考え方を身に付けることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	精神的健康の定義 脳の構造と認知機能	①	三品	講義		精神的健康の定義を理解すること 精神看護と精神科看護の違いを理解すること(120分)
2	精神力動と防衛機制	②	三品	講義	意識・前意識・無意識の違いを調べること 防衛機制「合理化」「同一視」「昇華」「転換」について調べてくること(180分)	講義で扱った防衛機制すべてを理解すること 「イド」「エゴ」「スーパーエゴ」の関係を理解すること(120分)
3	精神医療の変遷 精神看護の変遷	②	三品	講義	科書を参考に課題プリントの()を埋めてくること。(120分)	精神医療の変遷の概要を理解すること。(120分)
4	精神保健と法律 精神保健法について	③	三品	講義	入院形態(任意・医療保護・措置・緊急措置・応急)の違いについて調べてくること(120分)	精神保健福祉法について理解すること(180分)
5	ライフサイクルにおける心の発達(フロイトの理論、マラーの理論、エリクソンの理論)	①	三品	講義		各理論を理解すること(180分)
6	危機的状況にある人の理解(ストレスと危機)	③	三品	講義	「バーンアウト」「アパシー」「青い鳥症候群」「空の巣症候群」について調べてくること(120分)	各用語について覚えること ストレスマネジメントの考え方を理解すること(120分)
7	精神障害の理解 治療的環境の理解	③	三品	講義	閉鎖病棟・解放病棟の特徴について調べること(60分)	精神医療の治療的環境について理解すること(120分)
8	精神医療の現状と課題	②	三品	講義	教科書記載の統計等の資料を見ること(120分)	日本の精神医療について理解すること(120分)
	筆記試験					

評価基準・評価方法	
小テスト (20%)、筆記試験 (80%)	
使用教科書	
新体系看護学全書 精神看護学1 精神看護学概論・精神保健 / 岩崎弥生ほか. --第6版--メヂカルフレンド社, 2021年, 978-4-8392-3389-1 新体系看護学全書 精神看護学2 精神障害をもつ人の看護 / 岩崎弥生ほか. --第6版--メヂカルフレンド社, 2021年, 978-4-8392-3390-7	
参考図書	
<ul style="list-style-type: none"> ・武井麻子：精神看護学ノート 第2版, 医学書院, 2005年. ・舟島なをみ他：看護のための人間発達学 第5版, 医学書院, 2017年. ・末安民生他：系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 第3版, 医学書院, 2016年. 	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業終了時に授業全体を振り返り、感想や考えたこと、質問等を「レスポンスカード」に記載して提出してもらおう。質問の内容は次回の授業で説明する。 ・提出したレポートや小テストは、授業時間内に講評のうえ、必要に応じて解説をする。 ・小テストを計2回実施する。(第1回：入院形態と精神保健福祉法第2回：防衛機制と発達理論(フロイト/エリクソン)) ・小テストの内容の詳細や期日、各講の予習・復習する教科書の該当ページは、第1講で詳細を説明する。
備考	授業中に携帯電話に触れる行為や飲食、他の学生に迷惑をかけるような行為を見かけた場合は、退室を命じ、かつ欠席扱いとする。

授業科目名		担当教員				
精神看護活動論 I		三品 弘司・出口 睦雄・川崎 友香・小森 あゆみ・森 敏幸 (代表教員 三品 弘司)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 後学期	2単位(45時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		三品弘司(看護師・保健師)、出口睦雄(看護師)、川崎友香(看護師)、小森あゆみ(音楽療法士)				
授業概要						
精神看護活動論 I では、精神疾患を理解し、看護の実践方法について学ぶ。そのために、まず、精神疾患あるいは状態ごとの症状の表れ方を理解し、問題解決に向けた具体的援助の方法について学習する。次いで、コミュニケーション技法や芸術療法などの演習を通し、精神看護の基礎的技術を習得する。						
学修の到達目標						
①主な精神疾患とその看護について説明できる。 ②精神看護における観察の意義および視点を説明できる。 ③看護師－患者関係の意義について説明できる。 ④精神障害をもちながらもその人らしく生きることについてリカバリーの視点から考えることができる。 ⑤精神障害者の地域生活を支える保健医療福祉の実際について説明できる。 ⑥精神医療に携わる専門職とその役割と多職種連携における看護師の役割について説明できる。 ⑦関わりの方場の再構成を通して、そこで何が起きているのかを表現できる。(自己洞察の重要性が理解できる)						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	統合失調症の理解と看護(1)	① ②	三品	講義	教科書②p72-77を読み、統合失調症の疫学、病因、症状、治療等を理解すること。(120分)	教科書②p274-288を読み、統合失調症患者への看護実践を理解すること。授業の教授内容を復習すること。(60分)
2	統合失調症の理解と看護(2)	① ②	三品	講義		第1回の事前・事後学習や授業で教授した内容を国試過去問題を利用しながら復習すること。(120分)
3	気分障害の理解と看護	① ②	出口	講義	教科書②p77-88を読み、気分障害の疫学、病因、症状、治療等を理解すること。(60分)	教科書②p288-304を読み、気分障害患者への看護実践を理解すること。授業の教授内容を復習すること(60分)
4	不安障害・強迫性障害・心的外傷の理解と看護	① ②	出口	講義	教科書②p88-104までを読み、不安障害、強迫性障害、心的外傷の疫学、病因、症状、治療等を理解すること。(60分)	教科書②p328-333を読み、強迫性障害患者への看護実践を理解すること。授業の教授内容を復習すること。(60分)
5	解離性障害・解離性障害・注意欠陥多動症の理解と看護	① ②	出口	講義	教科書②p104-112を読み、解離性障害、身体症状の疫学、病因、症状、治療等を理解すること。(60分)	教科書②p322-328を読み、注意欠如・他動性障害患者への看護実践を理解すること。授業の教授内容を復習すること。(160分)
6	摂食障害・睡眠覚醒障害の理解と看護	① ②	出口	講義	教科書②p112-122を読み、摂食障害、睡眠覚醒障害の病因、症状、治療等を理解すること。(60分)	教科書②p333-337を読み、摂食障害患者への看護実践を理解すること。授業の教授内容を復習すること。(60分)
7	物質関連障害(薬物・アルコール)の理解と看護	① ②	三品	講義	教科書②p122-129を読み、物質関連障害の病因、症状、治療等を理解すること。(60分)	教科書②p305-310を読み、アルコール依存症患者への看護実践を理解すること。授業の教授内容を復習すること。(60分)
8	パーソナリティ障害・神経認知症候群の理解と看護	① ②	三品	講義	教科書②p130-147を読み、パーソナリティ障害とてんかんの病因、症状、治療等を理解すること。(60分)	教科書②p316-322を読み、自閉症スペクトラム障害患者への看護実践を理解すること。授業の教授内容を復習すること。(60分)
9	精神障害をもつ人への検査と治療① 心理検査 薬物療法	② ⑥	出口	講義	教科書②p152-170を読み、精神疾患の主な治療法のうち、薬物療法と電気けいれん療法について理解すること。(60分)	講義で説明した内容を国試過去問題も用いながら復習すること。(60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	精神障害をもつ人への検査と治療② 精神療法 電気けいれん療法 他	② ⑥	三品	講義	教科書②p171-190を読み、精神疾患の主な治療法のうち、リハビリテーション療法と精神療法について理解すること。 教科書②p467-479を読み、災害時の精神看護について理解すること。(60分)	講義で説明した内容を国試過去問題も用いながら復習すること。(60分)
11	精神障害をもつ人への治療③/芸術療法	② ⑥	三品 小森	演習		芸術療法に関するレポート課題(60分)
12	リエゾン精神看護/精神科医療における多職種連携	② ⑥	川崎	講義	教科書②p428-442を読み、リエゾン精神看護について目を通す。 予習資料・教科書②p381-386を読み、精神科医療における各職種の役割について目を通す。(60分)	リエゾン看護に関するレポート課題(60分)
13	プロセスレコードの書き方(1)	⑦	出口	講義 演習	教科書②p215-223を読み、プロセスレコードについて目を通す。(60)	プロセスレコードの加筆修正する。(60分)
14	プロセスレコードの書き方(2)	⑦	出口	演習		プロセスレコードの加筆修正する。(60分)
15	当事者との交流会	④ ⑤	三品 森	講義 演習	教科書②p371-374「D.当事者の力量を活かす相互作用」を読み、ピアについて理解する。(60分)	精神医療保健福祉におけるリカバリーの考え方、ピア活動の目的と意義、地域でのピア活動の実際、交流会の感想をレポートにまとめて提出する。(60分)
16	精神障害を持つ人のリカバリー	④ ⑤	三品	講義	教科書①p15-18、教科書②p8-15, 19, 171, 196を読み、精神保健医療福祉におけるリカバリーとは何か整理してくる。(60分)	予習内容および授業で教授した内容を国試過去問題も用いながら復習する。(60分)
17	精神障害を持つ人の地域における生活への支援	④ ⑤	出口	講義	精神障害をもつ人の地域における生活への支援ほどのようなものがあるかを意識しながら教科書②p356-386を読むこと。(60分)	予習内容および授業で教授した内容を国試過去問題も用いながら復習する。(60分)
18	司法精神医療と看護	④ ⑤	三品	講義	司法精神看護および災害看護について教科書②443-467を読み理解すること(60分)	講義で説明した内容を国試過去問題も用いながら復習すること。(60分)
19	災害時の精神看護	④ ⑤	出口	講義	司法精神看護および災害看護について教科書②443-467を読み理解すること(60分)	講義で説明した内容を国試過去問題も用いながら復習すること。(60分)
20	精神科病棟における事故防止・安全管理と倫理的配慮	⑤	出口	講義	教科書②p258-274を読み、精神障害をもつ人の治療的環境と生活の場としての環境のあり方について理解する。また、精神障害をもつ人の入院および治療の特殊性とそこにある倫理的問題を理解する。(60分)	講義で説明した内容を国試過去問題も用いながら復習すること。(60分)
21	症状別看護	① ②	三品	講義	妄想、意欲の低下、抑うつ、不安、希死念慮、多飲水など、各疾患の症状を把握して講義に臨むこと(120分)	
22	シミュレーション演習② メンタルステータスイグザミネーション	① ②	出口	①②	教科書や授業プリントを読み、統合失調症(急性期)の理解を深めること(60分)	
23	シミュレーション演習② メンタルステータスイグザミネーション	① ②	出口	講義 演習	教科書や授業プリントを読み、統合失調症(慢性期)の理解を深めること(60分)	演習プリントを仕上げ提出すること(60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	定期試験					
評価基準・評価方法						
認知領域（知識）： 最終試験で評価する。（70%） 精神運動・情意領域（技術・態度）：「演習参加状況」「レポート」で評価（20%）、小テスト（10%）						
使用教科書						
新体系看護学全書 精神看護学1 精神看護学概論・精神保健--第6版--2021年 / 岩崎弥生ほか.--メヂカルフレンド社, 978-4-8392-3389-1 新体系看護学全書 精神看護学2 精神障害をもつ人の看護--第6版--2021年 / 岩崎弥生ほか.--メヂカルフレンド社, 978-4-8392-3390-7						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 上島国利：最新図解 やさしくわかる最新医学, ナツメ社, 2017年, 978-4816362682. ・ 末安民生他：系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 第3版, 医学書院, 2016年, 978-4260021852. ※他の図書は授業内で紹介する 						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業終了時に授業全体を振り返り、感想や考えたこと、質問等を「レスポンスカード」に記載して提出してもらう。質問の内容は次回の授業で説明する。 ・ 提出したレポートや小テストは、授業時間内に講評のうえ、必要に応じて解説をする。 					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席確認は、パトグラと「レスポンスカード」にて行う。出席カードの代筆や途中退室は、欠席扱いとする。 ・ 授業中に携帯電話に触れる行為や飲食、他の学生に迷惑をかけるような行為を見かけた場合は、退室を命じ、かつ欠席扱いとする。 ・ 小テストを計2回実施する。（第1回：統合失調症に関する内容、第2回：精神障害をもつ人の地域における生活への支援） ・ 小テストの内容の詳細や期日、各講の予習・復習する教科書の該当ページは、第1講で詳細を説明する。 					

授業科目名		担当教員				
精神看護活動論Ⅱ		三品 弘司・出口 陸雄 (代表教員 三品 弘司)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 前学期	1単位(15時間)	講義			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		三品弘司(看護師・保健師)、出口陸雄(看護師)				
授業概要						
<p>精神看護活動論Ⅱでは、精神科看護における看護過程の展開方法についてオレム・アンダーウッド理論とストレングスモデルを用いながら事例を実際に展開し、対象を理解するためのアセスメント、患者の夢や希望、そしてストレングスを用いた看護援助計画の立案を行う能力を習得する。</p> <p>また、精神の健康障害をもつ人との治療的関係を築くための必要な援助を修得し、その人らしく地域で生活できるためのリカバリーを大切にされた支援の在り方について理解する。</p>						
学修の到達目標						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達段階を踏まえた対象者のアセスメントができる。 2. 精神症状が日常生活に与える影響についてアセスメントができる。 3. オレム・アンダーウッド理論に基づいた看護展開が説明できる。 4. 精神科におけるリカバリーのあり方について説明できる。 5. 精神疾患およびその疾患を有する患者への看護について説明できる。 6. プロセスレコードを通して自分の言動を考察し、コミュニケーション能力の向上を図ることができる。 						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オレム・アンダーウッド理論 / 普遍的セルフケア要素の視点とアセスメントの考え方	③	三品	講義	オレム・アンダーウッド理論とセルフケア要素の説明を読むこと。(教科書②p238-247) (60分)	オレム・アンダーウッド理論とセルフケア要素について復習すること。(教科書②p238-247、授業資料) (60分)
2	統合失調症患者の看護過程展開(1) 発達の特性についての解説	① ②	三品	講義 演習	発達の特性についての分析をしていくこと。(180分)	発達の特性についてのレポートを修正すること(120分)
3	統合失調症患者の看護過程展開(2) 疾病の特性についての解説	① ②	三品	講義 演習	疾患の特性についての分析をしていくこと。(180分)	疾患の特性についてのレポートを修正すること(120分)
4	統合失調症患者の看護過程展開(3) セルフケア要素 各項目の解説①	① ② ③ ⑤	三品	講義 演習	オレム・アンダーウッド理論を用いて情報整理・分析をしていくこと。(180分)	セルフケアの各項目についてのレポートを修正すること(120分)
5	統合失調症患者の看護過程展開(4) セルフケア要素 各項目の解説②	① ② ③ ⑤	三品	講義 演習	オレム・アンダーウッド理論を用いて情報整理・分析をしていくこと。(180分)	セルフケアの各項目についてのレポートを修正すること(120分)
6	統合失調症患者の看護過程展開(5) ストレングスモデルを用いた看護展開の解説	① ② ③ ⑤	三品	講義 演習	ストレングスモデルを用いて普遍的セルフケア要素の査定と情報の統合を行うこと。(180分)	レポートの加筆修正をして提出する。(120分)
7	プロセスレコードを用いた自己分析(1)	⑥	出口	演習	プロセスレコードの書き方を理解しておくこと。(教科書②pp215-223、精神看護活動論Ⅰ授業資料) (60分)	レポートの加筆修正をして提出する。(60分)
8	プロセスレコードを用いた自己分析(2)	⑥	出口	演習		レポートの加筆修正をして提出する。(60分)
	定期試験					

評価基準・評価方法	
認知領域（知識）： 最終試験で評価する。（60%） 精神運動・情意領域（技術・態度）： レポート・態度で評価する。（40%）	
使用教科書	
新体系看護学全書 精神看護学1 精神看護学概論・精神保健--第6版--2021年 / 岩崎弥生ほか.--メヂカルフレンド社, 978-4-8392-3389-1 新体系看護学全書 精神看護学2 精神障害をもつ人の看護 --第6版--2021年 / 岩崎弥生ほか.--メヂカルフレンド社, 978-4-8392-3390-7	
参考図書	
<ul style="list-style-type: none"> ・萱間真美：リハビリ・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル活用術, 医学書院, 2016年, 978-4260027984. ・萱間真美：パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 第2版, 照林社, 2015年, 978-4796523417. ※他の図書は授業内で紹介する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業終了時に授業全体を振り返り、感想や考えたこと、質問等を「レスポンスカード」に記載して提出してもらおう。質問の内容は次回の授業で説明する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・出席確認は、「レスポンスカード」にて行う。レスポンスカードの代筆や途中退室は、欠席扱いとする。 ・授業中に携帯電話に触れる行為や飲食、他の学生に迷惑をかけるような行為を見かけた場合は、退室を命じ、かつ欠席扱いとする。

授業科目名		担当教員				
精神看護学実習		三品 弘司・他 (代表教員 三品 弘司)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 前学期	2単位(90時間)	実習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		三品弘司(看護師)				
授業概要						
精神疾患によって、日常生活や対人関係に困難をきたしている対象を受け持ち、オレム・アンダーウッド理論を用いて看護過程を展開していく。対象者との関わりを通して対象・自己理解を深め、その人らしい生活が送れるための援助方法や社会復帰に向けての働きかけについて学び、精神看護の役割および機能を理解する。						
学修の到達目標						
①精神健康上の問題が、対象の身体・行動・対人関係にどのように表れているのか状況理解を深める。その理解に基づいて、対象者の抱えている課題や問題の解決に向けた個別性のある看護を実践することができる。 ②精神に障害を持つ人への治療の実際と治療に必要な看護の実際を説明できる。 ③対象者への関わりを通して、自己の関わりを振り返り、援助技術としてのコミュニケーションのあり方を述べることができる。 ④地域における精神障害者の生活の自立や社会参加を支援するための方法について学び、看護職に求められる役割と援助方法について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	I. 実習施設				(1) 以下の疾患の理解 ①統合失調症(急性期、慢性期)	実習記録をまとめること
	岐阜大学医学部附属病院、黒野病院、のぞみの丘ホスピタル				②気分〔感情〕障害(双極性障害〔躁うつ病〕、単極性障害〔うつ病])	カンファレンスの準備
	II. 実習方法				③摂食障害(神経性やせ症、神経性過食症) ④境界性パーソナリティ障害	
	1. 学生40名を1グループ3～4名で編成し、3医療機関のいずれかの精神科病棟で2週間実習を行う。	① ② ③ ④	三品	実習	(2) 電気けいれん療法(ECT) ※修正型電気けいれん療法(m-ECT)も調べる	
	2. 実習についてオリエンテーション(施設などの概要、諸注意、事前学習等)を受ける。	① ② ③ ④	三品	実習	(3) 精神保健福祉法(①入院形態、②精神保健指定医、③特定医師、④隔離・身体拘束、	
	3. 事前学習は、①精神障害と法制度、②主な精神疾患の治療と看護、③地域で精神障害者を支援するための制度について紙面にて課題の提示を行う。	① ② ③ ④	三品	実習	⑤精神障害者保健福祉手帳制度、⑥通信・面会の自由、	
	4. 対象者を学生1～2名で受け持ち、対象者の現在の心理状態や日常生活について関心を持ち、				⑦守秘義務、⑧退院請求と処遇改善を求める権利	
	対象者と関わる中で捉えた事柄について、実習指導者や教員の助言を受けながら、対象者の症状やリカバリー、ストレングスを理解する。	① ② ③ ④	三品	実習	(4) 精神科デイケア	
	5. 学生は、実習病棟の特徴を理解し、対象者のニーズに即した看護過程(ケアプランに基づく)の展開やレクリエーション活動を実施する。	① ② ③ ④	三品	実習	(5) 障害者総合支援法のサービス事業 ①地域活動支援センター	

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	6. 対象者への関わりを通して、自己の関わりをプロセスレコードを使用しながら振り返る。	① ② ③ ④	三品	実習	②自立訓練（生活訓練）の「宿泊型」「通所型」	
	7. 精神障害者が社会復帰するための社会資源や看護の役割・援助を実際に見学し、理解する。	① ② ③ ④	三品	実習		
	8. 学生は、適時、各実習場所でカンファレンスを行う。内容は、教員、実習指導者とともに対象の理解、関わり方などについて行う。	① ② ③ ④	三品	実習		
	9. 臨地実習最終日は、実習指導者、教員とともにまとめの会で2週間の実習の学びについて振り返る。	① ② ③ ④	三品	実習		
	10. 学生は、学内でグループ討議、発表、まとめを行い、実習目標に対する達成状況や学びを共有し、レポートにまとめ、提出する。	① ② ③ ④	三品	実習		
	詳細は、実習オリエンテーションで説明します					
評価基準・評価方法						
目標到達度、実習態度、実習記録など実習状況全体を把握し、本科目評価基準に基づいて評価する。						
使用教科書						
新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健 / 岩崎弥生他. --第5版--メヂカルフレンド社, 2019年, 978-4839233631 体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 / 岩崎弥生他. --第5版--メヂカルフレンド社, 2019年, 978-4839233648 精神医学ハンドブックー医学・保健・福祉の基礎知識 / 山下格. --第7版--日本評論社, 2010年, 978-4535983335						
参考図書						
・萱間真美：精神看護第2版（パーフェクト臨床実習ガイド），照林社，2015年。 ・長谷川雅美：自己理解・対象理解を深めるプロセスレコードープロセスレコードが書ける、読める、評価できる本第2版，日総研，2017年。 ・田中美恵子編著：精神看護学 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 第2版，医歯薬出版株式会社，2015年。 ・山本勝則他：看護実践のための根拠がわかる精神看護技術 第2版，メヂカルフレンド社，2015年。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	分からないことがあれば、担当教員もしくは臨地実習指導者に聞いてください。その都度、対応します。					
備考	履修前提条件：【看護の原理と基礎】全科目と精神看護学概論および精神看護活動論Ⅰの単位を修得済みであること。また、精神看護活動論Ⅱを履修登録済みであること。					

授業科目名		担当教員				
課題研究		熊田 ますみ・他 (代表教員 熊田 ますみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 後学期	1単位(15時間)	演習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		熊田ますみ(看護師)皮野さよみ(助産師・看護師)眞田正世(看護師) 三品弘司(保健師・看護師)中齋二三博(司書)				
授業概要						
看護研究を行うための研究の目的・目標及びプロセスを学び、看護領域における研究の概要と研究の方法・看護研究を実践できる基礎的能力を養う。						
学修の到達目標						
①看護領域における研究の目的・目標・研究倫理・方法を説明できる。 ②文献検索をして、研究課題を見つけることができる。 ④文献リスト・文献カードの作成ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	看護研究とは何か、看護研究の手順	①	眞田	講義	領域別実習で興味や関心をもった内容についてまとめる 120分	講義内容を振り返り、研究テーマ(案)についてまとめる 120分
2	看護研究のクリティーク	① ②	眞田	講義	テキストの該当箇所を熟読する120分	講義内容を振り返り、看護研究の手順をまとめる120分
3	研究の方法(質的研究・量的研究)	①	熊田	講義	テキストの該当箇所を熟読する120分	講義内容を振り返り、質的・量的研究の違いをまとめる 120分
4	研究の方法(看護研究計画書作成、看護研究の倫理的問題)	①	皮野	講義	テキストの該当箇所を熟読する120分	研究計画書の作成及び倫理的問題についてまとめる120分
5	研究の方法(研究のまとめと研究発表)	①	皮野	講義	テキストの該当箇所を熟読する120分	研究発表の方法についてまとめる120分
6	文献検索の方法	③	中齋	演習	自己の研究テーマ(案)に関するキーワードを3つ考える 30分	自己の研究テーマ(案)に関する文献を1つ探す150分
7	文献検索	③	三品	講義 演習	自己の研究テーマ(案)に関する文献を2つ探す120分	自己の研究テーマ(案)に関する文献を探し、文献リストを作成する120分
8	文献リスト・文献カード作成	④	三品 他	演習	1文献について文献カードを作成する 120分	文献リストを作成し提出する。文献カード1文献のみ作成し提出する180分
	文献リスト・文献カード提出					

評価基準・評価方法	
文献カード（50％） 文献リスト（40％） 演習への参加態度（10％）にて評価する。	
使用教科書	
基本がわかる 看護研究ビギナーズNOTE / 古橋洋子. --学研メディカル秀潤社, 2011年,	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	第1講から5講においては配布資料と教科書を対比させる。質問等に対しては次の講義で対応する。
備考	

授業科目名		担当教員				
安全管理論		眞田 正世				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	2年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学デザインポリシー(2)(3)看護デザインポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		眞田正世(看護師)				
授業概要						
医療の質と安全の確保は、患者、医療従事者をはじめとする多くの国民が願っていることである。近年、医療の安全確保に対する人々の関心が高くなり、医療安全は医療界の最優先課題となっている。看護の主要な業務である日常生活援助や診療の補助技術などは、行為の最終実施者となることが多く、看護にとって医療安全や医療事故防止について修得することは必須である。まず医療安全管理を学ぶ意義を理解し、その上で人間がおこすエラーについての理解し、看護業務と医療事故との関連を学び、国、組織、個人における医療事故防止対策について学ぶ。医療事故やインシデントの分析手法を理解し、看護におけるKYTを行うことで、医療事故防止の感性を養う。また、多くの看護に関連した医療事故やインシデントを知ることで、臨場感のある医療事故防止について学ぶ。また、感染防止対策も医療事故防止の一つとして学ぶ。						
学修の到達目標						
知識：①医療安全の基本的考え方と医療事故防止について述べることができる。 技術：②医療事故の分析手法やKYTを活用し、考察することができる。 態度：③医療安全管理に興味を持ち、取り組む姿勢を持つことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	医療安全を学ぶ意義	① ③	眞田	講義	医療事故のニュースを調査し、発表できるようにする 120分	医療安全を学ぶ意義についてまとめる 60分
2	医療事故とヒューマンエラー	① ③	眞田	講義 演習	日常生活で自己がおこす間違いをまとめてくる 120分	ヒューマンエラーとは何かをまとめる 60分
3	ヒューマンエラーの原因	① ③	眞田	講義 演習	ヒューマンエラーについて復習する 60分	医療事故とヒューマンエラーの関係をレポートし、提出する 180分
4	医療事故と看護業務	① ③	眞田	講義	看護の役割と看護業務についてまとめる 60分	看護業務と医療事故との関連についてレポートし、提出する 180分
5	医療事故防止の考え方	① ③	眞田	講義 演習	看護に関する医療事故ニュースについて調査しまとめる 120分	医療事故防止の基本的考え方についてまとめる 60分
6	個人における医療事故防止と分析手法	②	眞田	講義 演習	組織における医療事故防止対策について復習する 120分	医療事故分析手法についてまとめる 180分
7	医療事故発生時の対応 インシデントレポートと活用の実際	① ③	眞田	講義	事例を読んで理解する 120分	医療事故後の対応についてまとめる 120分
8	学生における医療安全	① ③	眞田	演習	学生における医療事故やインシデントには何かがあるか考えてくる 120分	学生における医療安全をまとめる 120分
	試験					

評価基準・評価方法	
提出レポート（20%）、履修態度（10%）、筆記試験（70%）での総合評価	
使用教科書	
系統看護学講座 専門 医療安全 看護の統合と実践2 / 川村治子.--医学書院, 978-4-260-05036-4	
参考図書	
系統看護学講座 専門 医療安全 看護の統合と実践2	
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	レポート等に関してはコメントを記入する。または次回講義で説明をする。
備考	授業は毎回、パワーポイント使用して進める。関連する教科と結び付けて学習し、単に知識に止まらず実践的能力として身につけてほしい。よって、積極的に学び取る姿勢で臨んでほしい。グループワークなどの演習も取り入れ出来るだけ参加型授業形態をとる。講義は教科書を持参する。

授業科目名		担当教員				
災害・国際看護論		松田 好美・瀬瀬 朋弥・杉山 清美・山下 浩司 (代表教員 松田好美)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)		開講形態		
必修	3年 後学期	1単位(30時間)		講義 小グループ		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		松田好美(看護師)、瀬瀬朋弥(看護師)、杉山清美(訪問看護認定看護師)、山下浩司(救急看護認定看護師)				
授業概要						
大規模地震・洪水等の自然災害や大型交通事故や大火災などの人的災害が人々の健康と生活に及ぼす影響、災害の準備期から中・長期に渡り必要となる看護活動について理解を深める。被災地という特殊な状況下で行われる緊急医療、感染症対策、避難施設の保健対策、精神的ケア等の実例から、災害時における保健活動の概要を理解し、被災者に必要とされる医療・看護の基本的知識・技術を学んでいく。また、私たちが生活している地域にも、いつ災害が降りかかるかわからない状況である。そのため、災害時の自らの生存・生活を整えるための基本的な知識・技術や判断・応用方法も考察する。						
学修の到達目標						
①災害時の自らの生存・生活を整えるための基本的な知識・技術を理解し、判断・応用を説明できる。 ②災害が人々の健康生活に及ぼす影響を述べることができる。 ③災害急性期における活動に必要な知識、判断、技術、行動を理解し、関連して述べることができる。 ④平常期から災害時期、災害復興期における看護活動について述べるができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス、災害概論	①	松田			講義内容を振り返る。(50分)
2	災害の分類、災害への備え：貴方はどうしますか(レポート課題の提示)	①	松田		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
3	災害サイクル、災害が人々の健康生活に及ぼす影響	②	松田		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
4	災害時に必要な看護技術：CSCA、トリアージ	③	松田		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
5	病院における災害看護：TTT	③ ④	松田		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
6	災害時に必要な看護技術：二次トリアージ(トリアージの実施)	③	松田		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
7	災害時の倫理的問題・法律問題、国家試験問題について	④	松田		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
8	災害被災者へのメンタルケア、災害援助者のストレスと緩和	④	松田		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
9	避難所、仮設住宅、復旧復興期、平常期における看護	④	瀬瀬		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	避難所、仮設住宅、復旧復興期、平常期における看護	④	額 額		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
11	災害時に必要な看護技術：成人への心肺蘇生	③	松田		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
12	災害時に必要な看護技術：成人のALS、小児・乳児の心肺蘇生	③	松田		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
13	災害時に必要な看護技術：演習（成人、乳児への心肺蘇生）3グループに分けて行う	③	松田		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
14	災害発災時のDMAT活動（ドクターヘリ活動を含む）	③	山下		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
15	災害発生地における被災者のケア	④	杉山		教科書の該当部分や資料を確認する。(20分)	講義内容を振り返る。(50分)
	定期試験（筆記）。講義、演習の順序は変更する可能性がある。					
評価基準・評価方法						
最終試験60%, レポート40% (2回)						
使用教科書						
救急蘇生法の指針2020 市民用・解説編 / 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会監修.--改訂6版 --へるす出版, 2021年, 978-4-86719-026-5 看護の統合と実践(3)：災害看護 / 酒井明子 他.--第5版--MCメディカ出版, 2022年, 978-4-8404-7545-7						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	レポート1：レポート提出後、課題について講義時間内に説明する。 レポート2：レポート課題は授業時間内に説明済みであり、学生の質問等に対しては掲示文章によりフィードバックする。					
備考	授業開始までに。消防署などで一般市民用の心肺蘇生の講習を受ける(3~4時間)。レポート(評価20%)する。 演習・講習に関しては、新型コロナウイルスの感染状況によっては中止し、内容・方法を変更する可能性がある。 授業時に質問調査紙を配付し、授業最後に回収する。資料にない内容であれば、次回の授業開始時に回答する。					

授業科目名		担当教員				
総合判断育成演習		熊田 ますみ・他 (代表教員 熊田 ますみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 後学期	2単位(30時間)	講義・演習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		熊田ますみ(看護師)、皮野さよみ(助産師・看護師)、眞田正世(看護師、三品弘司(保健師・看護師)他				
授業概要						
看護師として実践チームの中で機能するために、看護管理・チーム医療の基礎を学び、複数の看護の対象の日常生活援助・診療の補助行為等実際の場面を想定して演習を行い、対象及び場面に応じた判断力・看護技術を学ぶ。						
学修の到達目標						
①医療チームの一員として、看護におけるマネジメントの視点を説明できる。 ②チーム医療に関する連携協働を学び、多重課題に対する優先順位を説明できる。 ③医療安全における法律・指針・方針及び医療安全体制と医療安全活動を説明できる。 ④「実習における卒業時到達度Ⅰ」の項目を事例を用いて情報をアセスメントして立案した計画に基づいて実施できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	看護管理（組織の一員としての役割と行動・リーダーシップとフォロワーシップ・円滑な組織運営に必要な対人力）	①	皮野長屋	講義	テキストの該当箇所を読む 120分	配布資料・講義内容を振り返る 120分
2	看護管理（看護管理とは・看護管理システム・看護部門と他部門との連携）	①	山内長屋	講義	テキストの該当箇所を読む 120分	配布資料・講義内容を振り返る 120分
3	看護管理（人材資源の管理・看護ケアマネジメントとは・看護サービス管理のマネジメントとは）	①	山内長屋	講義	テキストの該当箇所を読む 120分	課題レポートを作成し提出する 120分
4	チーム医療（チーム医療に関する基本的な知識・一日の業務の組み立て方）	②	熊田松野	講義	テキストの該当箇所を読む120分	課題に取り組み提出する 120分
5	チーム医療（多重課題に対する優先順位のつけ方）	②	熊田松野	講義	事例を考察してまとめる 120分	多重課題の課題レポートを作成し提出する 120分
6	チーム医療（多重課題のシュミレーショントレーニング）	②	古田松野清水	演習	事前資料を読み、対象をアセスメントし援助の方向性をまとめる 120分	多重課題の課題レポートを作成し提出する 120分
7	チーム医療（事例を理解し、患者に必要な看護ケア、留意点を検討して、「一日の業務計画」を立案する）	②	古田松野清水	演習	事例を通して事例毎の留意点、優先順位をまとめる 120分	グループワークを実施して「一日の業務計画」を提出する 120分
8	医療組織における安全指針・方針及び医療安全体制	③	眞田林	講義	テキストの医療安全における法律・指針・方針及び医療安全体制を読んてくる 120分	医療安全における指針・方針及び医療安全体制の重点をまとめ提出する 120分
9	組織における医療安全指針・方針及び医療安全体制	③	眞田岩瀬	講義	組織における医療安全における指針・方針及び医療安全体制についてテキストを読んてくる 120分	組織における医療安全指針・方針及び医療安全体制についてまとめ提出する 120分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	医療安全活動：接遇・クレーム予防・5S・KYT	③	眞田岩瀬	講義演習	KYTについて予習する120分	接遇・クレーム予防・5S他の医療安全活動についてまとめ提出する 120分
11	統合的な看護技術の実施（事例に応じた治療・処置にその他に対する情報収集・留意点に基づいた看護技術の実施）	④	出口三品 森岡三輪 佐々木村 上坂本 田中	演習	事例に必要とされる援助技術の計画を作成する120分	実施した援助を振り返り、援助のポイントをまとめる120分
12	統合的な看護技術の実施（事例に応じた治療・処置にその他に対する情報収集・留意点に基づいた看護技術の実施）	④	出口三品 森岡三輪 佐々木村 上坂本 田中	演習	事例に必要とされる援助技術の計画を作成する120分	実施した援助を振り返り、援助のポイントをまとめる120分
13	統合的な看護技術の実施（事例に応じた治療・処置にその他に対する情報収集・留意点に基づいた看護技術の実施）	④	出口三品 森岡三輪 佐々木村 上坂本 田中	演習	事例に必要とされる援助技術の計画を作成する120分	実施した援助を振り返り、援助のポイントをまとめる120分
14	統合的な看護技術の実施（事例に応じた治療・処置にその他に対する情報収集・留意点に基づいた看護技術の実施）	④	出口三品 森岡三輪 佐々木村 上坂本 田中	演習	事例に必要とされる援助技術の計画を作成する120分	実施した援助を振り返り、援助のポイントをまとめる120分
15	統合的な看護技術の実施（事例に応じた治療・処置にその他に対する情報収集・留意点に基づいた看護技術の実施）	④	出口三品 森岡三輪 佐々木村 上坂本 田中	演習	事例に必要とされる援助技術の計画を作成する120分	実施した援助を振り返り、援助のポイントをまとめ提出する120分
評価基準・評価方法						
看護管理（15%） チーム医療（30%） 医療安全（15%） 看護技術（40%）						
使用教科書						
看護の統合と実践① 看護実践マネジメント／医療安全 / 高橋則子他、--小澤かおり--メジカルフレンド社, ISBN978-4-8392-3374-7						
参考図書						
必要時、参考文献等を紹介する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	演習での発表内容や課題については講評し、フィードバックする。					
備考	グループワーク等については、主体的に参加すること。講義の進行上、担当者・内容を変更することがある。					

授業科目名		担当教員				
看護の統合実習		熊田 ますみ・他 (代表教員 熊田 ますみ)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態			
必修	3年 後学期	2単位(60時間)	実習			
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)看護ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		熊田 ますみ(看護師)他				
授業概要						
各領域で学んだ知識・技術をもとに、医療チームの一員であることを認識し、自己の立場での責任と役割を果たす看護師の役割について学ぶ。さらに看護の継続性を理解し、患者に応じた看護のあり方を学ぶ。						
学修の到達目標						
①看護師長、チームリーダー、チームメンバーの役割と業務や他部門との調整や連携の実際と看護管理の在り方を説明できる。 ②複数の受け持ち患者の状態を把握し、多重課題に対し優先順位を考えながら安全・安楽に看護を実施することができる。 ③患者の24時間の生活状況を知り、継続看護の在り方を説明できる。 ④看護の統合実習で学んだことを通して、看護師としての自己の目標や課題を明確にし表現できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	I. 実習施設					
	平野総合病院、山内ホスピタル、岩砂病院・岩砂マタニティ、関中央病院、各務原リハビリテーション病院、松波総合病院、岐阜清流病院					
	II. 実習方法					
	1. 学生は、1グループ4～6名で編成し、病院のいずれかの病棟で2週間実習を行う。					
	2. 実習についてのオリエンテーション(施設の概要、諸注意、事前学習等)を受ける。					
	3. 看護師長、チームリーダー、チームメンバーと行動を共にし、見学を通して各々の役割と業務を知る。また、多職種連携についても知る。				視聴覚教材や教科書より実習に活かせるように学習する。 ・看護管理 ・チームナーシング ・多職種連携	実習記録をまとめる
	4. 学生は複数の患者を受け持ち、優先順位を考え看護師と共にして看護を実施する。				・多重課題への対応	看護展開にあたり必要な学習をする
	5. 夕方から早朝の時間帯の患者の様子や看護の実際について説明を受け、対象の状況及び看護師の動きを知る。また、継続看護について考察する。				・継続看護	
	6. カンファレンスを実施し、実習目標が到達できるように問題の解決や学習内容の共有をする。					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	7. 実習終了後、実習目標に対するまとめの学習を行い、達成状況や自己の課題をレポートにまとめる。					
	8. 自己の看護観について考え、レポートにまとめる。					
	9. 事前学内実習として、看護管理・多職種連携・チーム医療について学生間で意見交換を行う。受け持ち患者を想定した日常生活援助技術演習を行う。					
	10. 臨地実習終了後の学内実習は、看護の統合実習で学んだ内容に関する意見交換を行う（看護管理・医療安全・チーム医療・多職種連携）。					
	11. 3年間で経験できていない日常生活援助技術及び診療時の援助技術演習を行う。					
評価基準・評価方法						
目標到達度、実習態度、実習記録など実習状況全体を把握し、本科目評価基準に基づいて評価する。						
使用教科書						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバックの方法	実習中その都度、記録へのコメントを残し、口頭でも質問し学習を活かした看護が行えるよう指導する。実習最後のまとめ時に教員より学習内容に対してコメントする。					
備考	履修前提条件：【看護の原理と基礎】【ライフサイクル別看護】の全科目、安全管理論、成人看護学実習、成人・高齢者看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習・精神看護学実習、地域・在宅看護論実習の単位を修得済みであること。総合判断育成演習、災害・国際看護論を履修中であること。					

看護学科 授業担当者索引

…あ行…

足立 哲夫	非常勤講師
安藤 彰浩	非常勤講師
飯沼 温美	非常勤講師
伊原 亮司	非常勤講師
岩瀬 桃子	看護学科講師
遠渡 絹代	非常勤講師
遠藤 明日香	非常勤講師
塩谷 滝雄	非常勤講師
大井 一高	非常勤講師
大井 修三	非常勤講師
大江 直行	非常勤講師
大藪 千穂	非常勤講師
岡本 知美	非常勤講師

…か行…

加藤 清人	作業療法専攻教授
亀山 泰永	非常勤講師
粥川 誠至	非常勤講師
河合 克尚	理学療法専攻教授
川崎 友香	非常勤講師
川崎 葉子	非常勤講師
皮野 さよみ	看護学科教授
木林 勉	非常勤講師
久保 和弘	非常勤講師
熊田 ますみ	看護学科教授
藏満 彩結実	非常勤講師
瀬瀬 朋弥	非常勤講師
神戸 博一	非常勤講師
越納 美和	看護学科准教授
小森 あゆみ	非常勤講師
近藤 富雄	非常勤講師
近藤 直実	顧問
近藤 ひろえ	非常勤講師

…さ行…

坂本 裕子	看護学科助教
佐々木 智恵	看護学科助教
佐竹 裕孝	非常勤講師
眞田 正世	看護学科教授
塩野 美里	非常勤講師
清水 美智子	非常勤講師
清水 ゆかり	看護学科助教
ジャリ マルジャン	非常勤講師
白木 大輔	非常勤講師
杉山 清美	非常勤講師
鈴木 留理子	非常勤講師

…た行…

高井 健太郎	非常勤講師
多田 晃司	非常勤講師
田中 季果	看護学科助教
塚田 敬義	非常勤講師
塚原 稔世	非常勤講師
出口 睦雄	看護学科講師

…な行…

中川 幸代	非常勤講師
中川 みのり	非常勤講師
中山 則之	非常勤講師
長屋 江見	看護学科講師
野瀬 早織	非常勤講師

…は行…

橋本 永貢子	非常勤講師
長谷部 武久	理学療法専攻教授
林 将大	非常勤講師
林 宗典	看護学科講師
平野 聡子	非常勤講師
福井 郁子	非常勤講師
福岡 大輔	非常勤講師
藤兼 大輔	非常勤講師
藤田 浩司	非常勤講師
武内 康雄	学長
古田 信宏	非常勤講師
古田 弥生	看護学科准教授
古林 晃	非常勤講師
細江 英夫	非常勤講師
堀 信宏	理学療法専攻教授

…ま行…

益川 優子	非常勤講師
松井 永子	非常勤講師
松田 好美	非常勤講師
松野 ゆかり	看護学科准教授
三品 弘司	看護学科教授
ミホト・セイト・モルト	非常勤講師
三輪 陽子	看護学科講師
武藤 恭昌	非常勤講師
武藤 吉徳	非常勤講師
村上 秀和	看護学科助教
村上 拓紀	非常勤講師
森 敏幸	非常勤講師
森岡 菜穂子	看護学科講師

…や行…

山内 久美子	非常勤講師
山下 浩司	非常勤講師
山田 剛司	非常勤講師
山田 宏尚	非常勤講師
山本 容正	非常勤講師

…わ行…

和田 恵子	非常勤講師
-------	-------

